

火 災 の 実 態 に つ い て

(令和5年中)

消 防 庁 予 防 課

目 次

第 一 章 住宅火災の実態について

1 序 説	2
2 住宅火災出火件数	3
(1) 建物火災のうち住宅火災の件数	3
(2) 発火源別火災件数	4
(3) 着火物別火災件数	5
(4) 出火箇所別火災件数	6
(5) 建物構造別火災件数	7
(6) 時間帯別火災件数	8
(7) 月別火災件数	9
(8) 都道府県別火災件数	10
3 住宅火災による死者数	13
(1) 建物火災による死者のうち住宅火災による死者数	13
(2) 発火源別死者数	14
(3) 着火物別死者数	16
(4) 出火箇所別死者数	17
(5) 建物構造別死者数	18
(6) 時間帯別死者数	19
(7) 月別死者数	20
(8) 都道府県別死者数	21
(9) 年齢別死者数	24
(10) 階別死者数	26
(11) 死に至った経過別死者数（年齢別）	27
(12) 死に至った経過別死者数（タイプ別）	29
(13) 発火源と出火箇所の関係	31
(14) 発火源と着火物の関係	32
(15) 出火箇所と着火物の関係	33
4 住宅火災による負傷者数	34
(1) 建物火災による負傷者のうち住宅火災による負傷者数	34
(2) 発火源別負傷者数	35
(3) 着火物別負傷者数	36
(4) 出火箇所別負傷者数	37
(5) 建物構造別負傷者数	38
(6) 時間帯別負傷者数	39
(7) 月別負傷者数	40
(8) 都道府県別負傷者数	41
5 3名以上の死者が発生した住宅火災	44
参考資料	45

第 二 章 火災による死者の実態について

1 序 説	52
2 火災による死者全体の実態について	53
(1) 出火件数と火災による死者数の推移	53
(2) 都道府県別の死者発生状況	54
(3) 月別の死者発生状況	58
(4) 時間帯別の死者発生状況	59
(5) 火災種別ごとの死者発生状況	60
(6) 建物用途別、階層別の死者発生状況	61
(7) 建物構造別の死者発生状況	62
(8) 建物用途別、構造別の火災発生件数、死者発生状況	64
(9) 防火対象物政令用途区分別の死者発生状況	67
(10) 年齢別、性別の死者発生状況	71
(11) 1 件で 3 人以上の死者を出した火災	72
(12) 出火原因別の死者発生状況	75
3 放火自殺者を除いた死者の実態について	76
(1) 放火自殺者を除いた月別の死者発生状況	76
(2) 放火自殺者を除いた時間帯別の死者発生状況	77
(3) 放火自殺者を除いた火災種別ごとの死者発生状況	78
(4) 放火自殺者を除いた建物用途別、階層別の死者発生状況	79
(5) 放火自殺者を除いた建物構造別の死者発生状況	80
(6) 放火自殺者を除いた建物用途別、構造別の死者発生状況	82
(7) 死因別の死者発生状況	83
(8) 死に至った経過と年齢別の死者発生状況	84
(9) 高齢者、身体不自由者等の建物用途別、階層別の死者発生状況	89
4 放火自殺者の実態について	90
(1) 放火自殺者の火災種別ごとの死者発生状況	90
(2) 放火自殺者の月別、時間帯別の死者発生状況	91
(3) 放火自殺者の年齢別、性別の死者発生状況	93
参考資料	94

第一章

住宅火災の実態について

1 序 説

令和5年中の建物火災は20,974件(放火の1,140件を含む。)(前年比807件増)発生し、全火災の54.2%(前年55.5%)を占めている。さらに、放火を除いた建物火災 19,834件(前年比679件増)のうち、住宅火災は11,361件(放火を除く。)(前年比578件増)で57.3%(前年56.3%)を占めている。

死者については、建物火災による死者の1,086人(放火自殺者等114人を除く。)(前年比22人増)のうち1,023人(放火自殺者等104人を除く。)(前年比51人増)(94.2%)(前年91.4%)、また、負傷者については建物火災による負傷者の4,513人(放火による262人を除く。)(前年比60人減)のうち3,223人(放火による224人を除く。)(前年比90人減)(71.4%)(前年72.4%)を住宅火災が占めている。

この資料は、火災による死者等の調査のうち、特に住宅火災について分析したものであり、今後の住宅防火対策推進に係る広報資料として活用願うために作成したものである。

なお、資料中の「住宅」とは火災報告取扱要領の一般住宅、共同住宅、併用住宅の総称である。また、「放火を除く。」とは、火災報告取扱要領の出火原因の経過中91「放火」に分類されるものを除いたものであり、「放火自殺者等を除く。」とは、火災による死者の調査表の「放火自殺者(心中の道づれを含む。）」、「放火自殺者の巻添者」及び「放火殺人の犠牲者」を除く総称である。

[概要表]

(令和5年中)

		火災件数(件)	死者数(人)	負傷者数(人)
全火災	建物火災	38,672 (36,177)	1,503 (1,228)	5,766 (5,442)
	住宅火災	20,974 (19,834)	1,200 (1,086)	4,775 (4,513)
	一般住宅火災	12,112 (11,361)	1,127 (1,023)	3,447 (3,223)
	共同住宅火災	8,087 (7,586)	903 (820)	2,359 (2,196)
	併用住宅火災	3,712 (3,469)	208 (187)	982 (921)
	併用住宅火災	313 (306)	16 (16)	106 (106)
	住宅以外の建物火災	8,862 (8,473)	73 (63)	1,328 (1,290)
建物火災以外の火災		17,698 (16,343)	303 (142)	991 (929)

- (注) 1 火災件数及び負傷者数における () 内の数値は、放火を除いた数値である。
 2 死者数における () 内の数値は、放火自殺者等を除いた数値である。
 3 合計欄の値が四捨五入により各値の合計と一致しない場合がある。以下、本章及び第2章において同じ。

2 住宅火災出火件数

(1) 建物火災のうち住宅火災の件数

建物火災件数(放火を除く。)は19,834件(前年比679件増)で、そのうち住宅火災が11,361件(前年比578件増)(57.3%)(前年56.3%)を占めている。

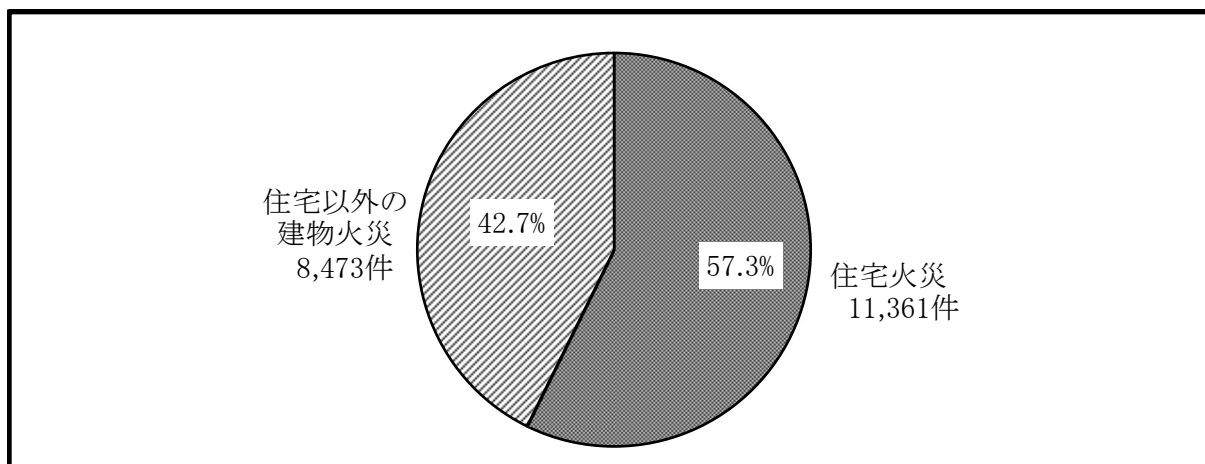
また、住宅火災のうち、一般住宅に係る火災が全体の66.8%(前年65.5%)を占めている。

建物火災のうち住宅火災の件数(放火を除く。)

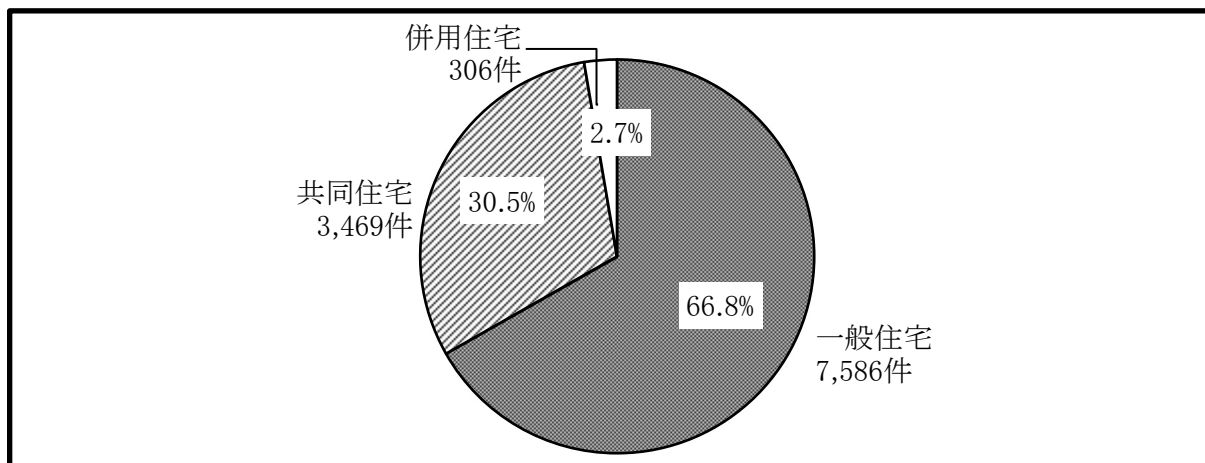
建物火災(件)	住宅火災(件)				住宅以外の建物火災(件)
	合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅	
19,834	11,361	7,586	3,469	306	8,473
100.0%	57.3%	[66.8%]	[30.5%]	[2.7%]	42.7%

(注)[]は、住宅火災の件数(11,361件)に占める割合。

建物火災のうち住宅火災の件数(放火を除く。)



住宅形態別の火災の件数(放火を除く。)



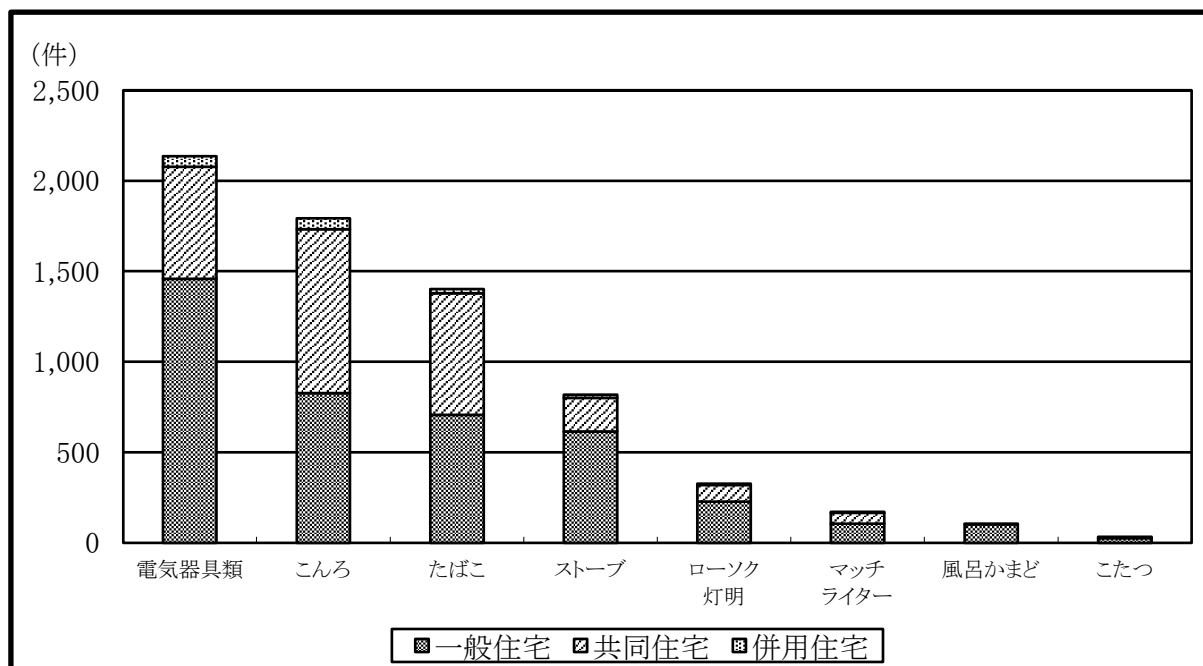
(2) 発火源別火災件数

住宅火災の発火源別火災件数は、多いものから順に「電気器具類」によるもの2,136件(18.8%)、「こんろ」によるもの1,792件(15.8%)、「たばこ」によるもの1,401件(12.3%)、「ストーブ」によるもの818件(7.2%)の順である。「電気器具類」「こんろ」による火災が、住宅火災のほぼ3件に1件を占めている。

発火源別火災件数(放火を除く。)

発火源	区分	建物火災 (件)	住宅火災(件)			
			合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅
電 気 器 具 類		4,470	2,136	1,458	620	58
こ ん ろ		2,769	1,792	826	906	60
た ば こ		1,925	1,401	707	671	23
ス ト ー ブ		977	818	614	187	17
ロ ー ソ ク ・ 灯 明		376	326	227	92	7
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー		261	170	106	60	4
風 呂 か ま ど		112	106	101	5	0
こ た つ		34	32	26	6	0
そ の 他		6,254	2,799	2,065	639	95
不 明		2,656	1,781	1,456	283	42
合 計		19,834	11,361	7,586	3,469	306

発火源別火災件数(放火を除く。)



(注) 発火源のその他、不明は除く。

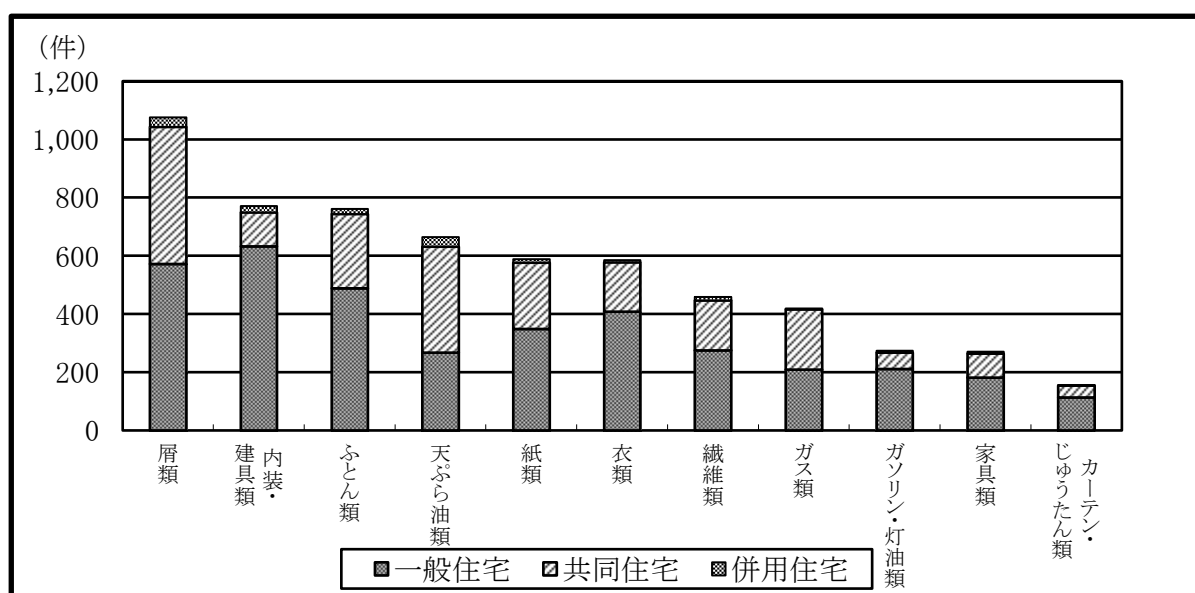
(3) 着火物別火災件数

住宅火災の着火物別火災件数は、多いものから「屑類」によるもの1,076件(9.5%)、「内装・建具類」によるもの771件(6.8%)、「ふとん類」によるもの761件(6.7%)である。「屑類」「内装・建具類」「ふとん類」による火災が、住宅火災のほぼ4件に1件を占めている。

着火物別火災件数(放火を除く。)

着火物	区分	建物火災 (件)	住宅火災(件)			
			合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅
屑	類	2,157	1,076	572	471	33
内 装 ・ 建 具 類		1,201	771	633	116	22
ふ と ん 類		871	761	488	256	17
天 ぷ ら 油 類		1,400	664	267	364	33
紙	類	934	589	349	227	13
衣	類	711	585	408	170	7
織 維 類		801	459	275	172	12
ガ ス 類		676	419	209	207	3
ガソリン・灯油類		720	274	211	56	7
家 具 類		372	270	181	83	6
カーテン・じゅうたん類		195	156	113	41	2
そ の 他		7,103	3,391	2,249	1,042	100
不 明		2,693	1,946	1,631	264	51
合 計		19,834	11,361	7,586	3,469	306

着火物別火災件数(放火を除く。)



(注) 着火物のその他、不明は除く。

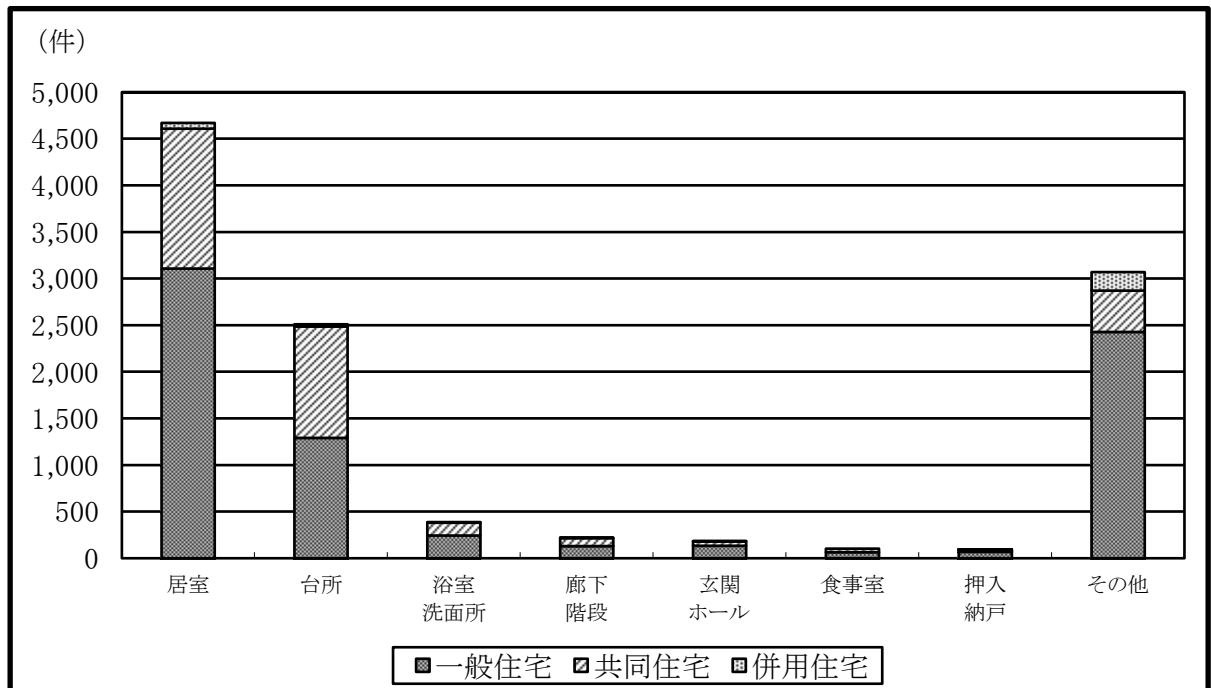
(4) 出火箇所別火災件数

住宅火災件数のうち「居室」を出火箇所とする火災が4,671件(41.1%)と最も多く、次いで「台所」を出火箇所とする火災が2,512件(22.1%)と前年と同じ順になっている。この「居室」または「台所」を出火箇所とする火災だけで全体の63.2%を占め、主な出火箇所となっている。

出火箇所別火災件数(放火を除く。)

出火箇所	区分	建物火災 (件)	住宅火災(件)			
			合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅
居 室		5,111	4,671	3,109	1,499	63
台 所		2,816	2,512	1,292	1,196	24
浴 室・洗 面 所		556	389	245	138	6
廊 下・階 段		359	220	132	86	2
玄 関・ホ ー ル		273	185	134	48	3
食 事 室		124	104	68	36	0
押 入・納 戸		99	92	71	20	1
そ の 他		10,334	3,071	2,428	443	200
不 明		162	117	107	3	7
合 計		19,834	11,361	7,586	3,469	306

出火箇所別火災件数(放火を除く。)



(注) 出火箇所の不明は除く。

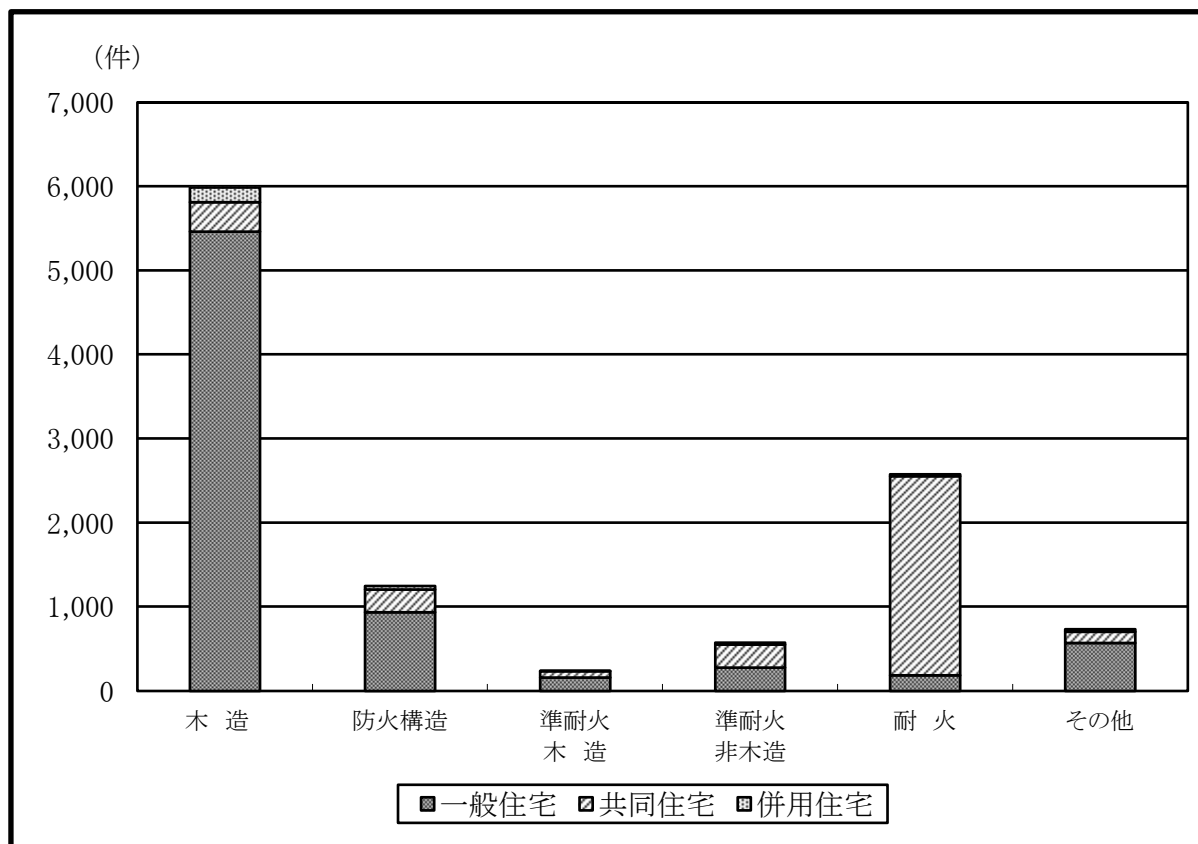
(5) 建物構造別火災件数

住宅火災件数のうち「木造建築物」が5,987件(52.7%)と住宅火災の5割以上を占めている。次いで「耐火建築物」が2,577件(22.7%)、「防火構造建築物」が1,249件(11.0%)となっている。

建物構造別火災件数(放火を除く。)

建物構造	建物火災 (件)	住宅火災(件)			
		合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅
木 造 建 築 物	7,296	5,987	5,462	347	178
防 火 構 造 建 築 物	1,613	1,249	935	272	42
準耐火木造建築物	317	237	157	76	4
準耐火非木造建築物	2,331	575	276	276	23
耐 火 建 築 物	5,944	2,577	185	2,367	25
そ の 他	1,977	735	570	131	34
不 明	356	1	1	0	0
合 計	19,834	11,361	7,586	3,469	306

建物構造別火災件数(放火を除く。)



(注) 建物構造の不明は除く。

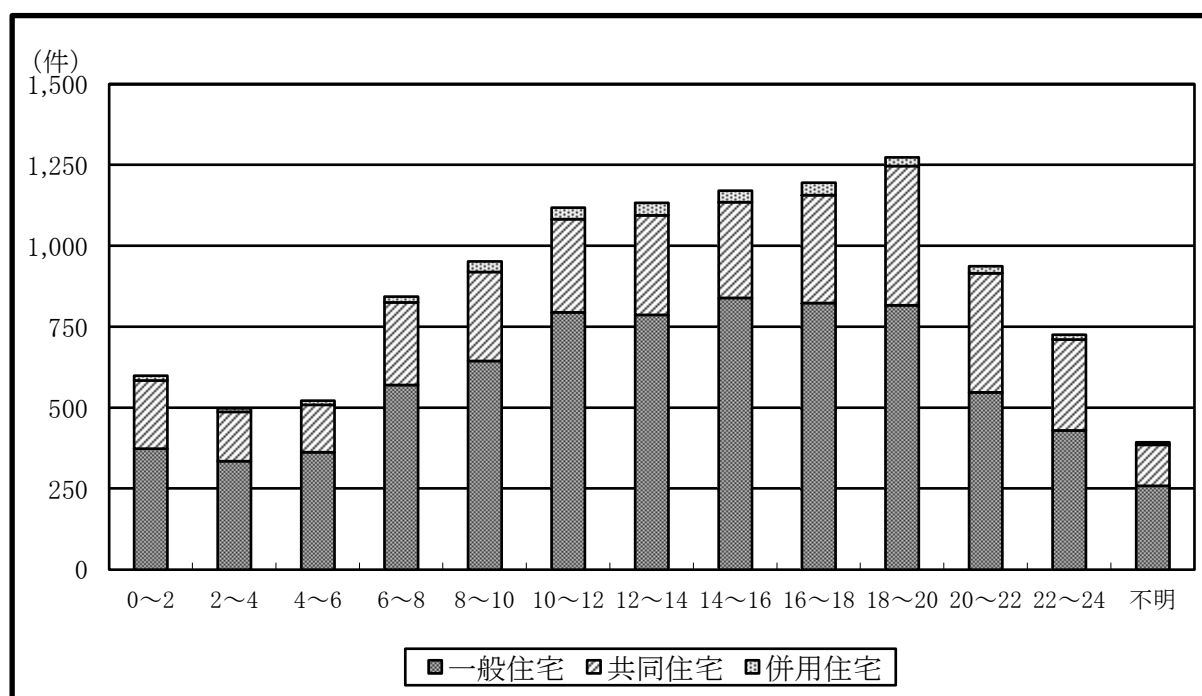
(6) 時間帯別火災件数

住宅火災の時間帯別火災件数は、就寝時間帯以外に多く発生しており、「18時から20時」が1,274件(11.2%)と最も多く、次いで「16時から18時」の1,195件(10.5%)、というように夕飯時に多くなっている。

時間帯別火災件数(放火を除く。)

区分 時間帯	建物火災 (件)	住宅火災(件)			
		合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅
0 ～ 2	984	599	374	210	15
2 ～ 4	831	498	335	152	11
4 ～ 6	861	522	363	146	13
6 ～ 8	1,240	843	570	256	17
8 ～ 10	1,774	952	645	275	32
10 ～ 12	2,231	1,118	795	288	35
12 ～ 14	2,134	1,133	787	308	38
14 ～ 16	2,157	1,171	839	296	36
16 ～ 18	2,038	1,195	824	333	38
18 ～ 20	2,002	1,274	817	430	27
20 ～ 22	1,575	937	548	368	21
22 ～ 24	1,189	726	430	281	15
不 明	818	393	259	126	8
合 計	19,834	11,361	7,586	3,469	306

時間帯別火災件数(放火を除く。)



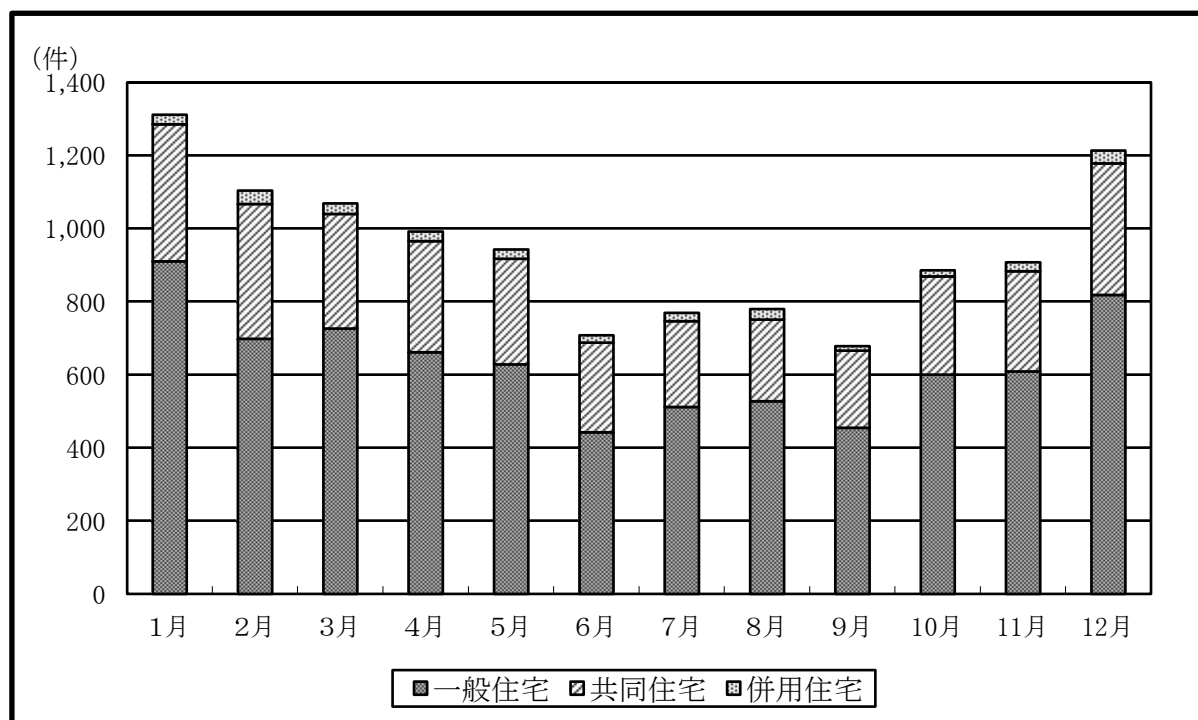
(7) 月別火災件数

住宅火災の月別火災件数は、「1月」から「3月」及び「12月」に多く、また、この期間に全体の4割(41.3%)を超える4,697件の火災が発生している。

月別火災件数(放火を除く。)

月	区分	建物火災 (件)	住宅火災(件)			
			合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅
1 月		2,060	1,311	910	375	26
2 月		1,795	1,104	698	369	37
3 月		1,884	1,069	726	314	29
4 月		1,704	992	661	304	27
5 月		1,609	943	628	289	26
6 月		1,320	708	442	246	20
7 月		1,490	769	512	234	23
8 月		1,516	780	527	224	29
9 月		1,294	678	455	211	12
10 月		1,593	886	600	269	17
11 月		1,573	908	609	274	25
12 月		1,996	1,213	818	360	35
合 計		19,834	11,361	7,586	3,469	306

月別火災件数(放火を除く。)



(8) 都道府県別火災件数

住宅火災の多い都道府県は、「東京都(1,299件)」、「大阪府(781件)」、「神奈川県(687件)」の順となっており、少ない都道府県は、「鳥取県(40件)」、「福井県(57件)」、「徳島県(58件)」の順となっている。

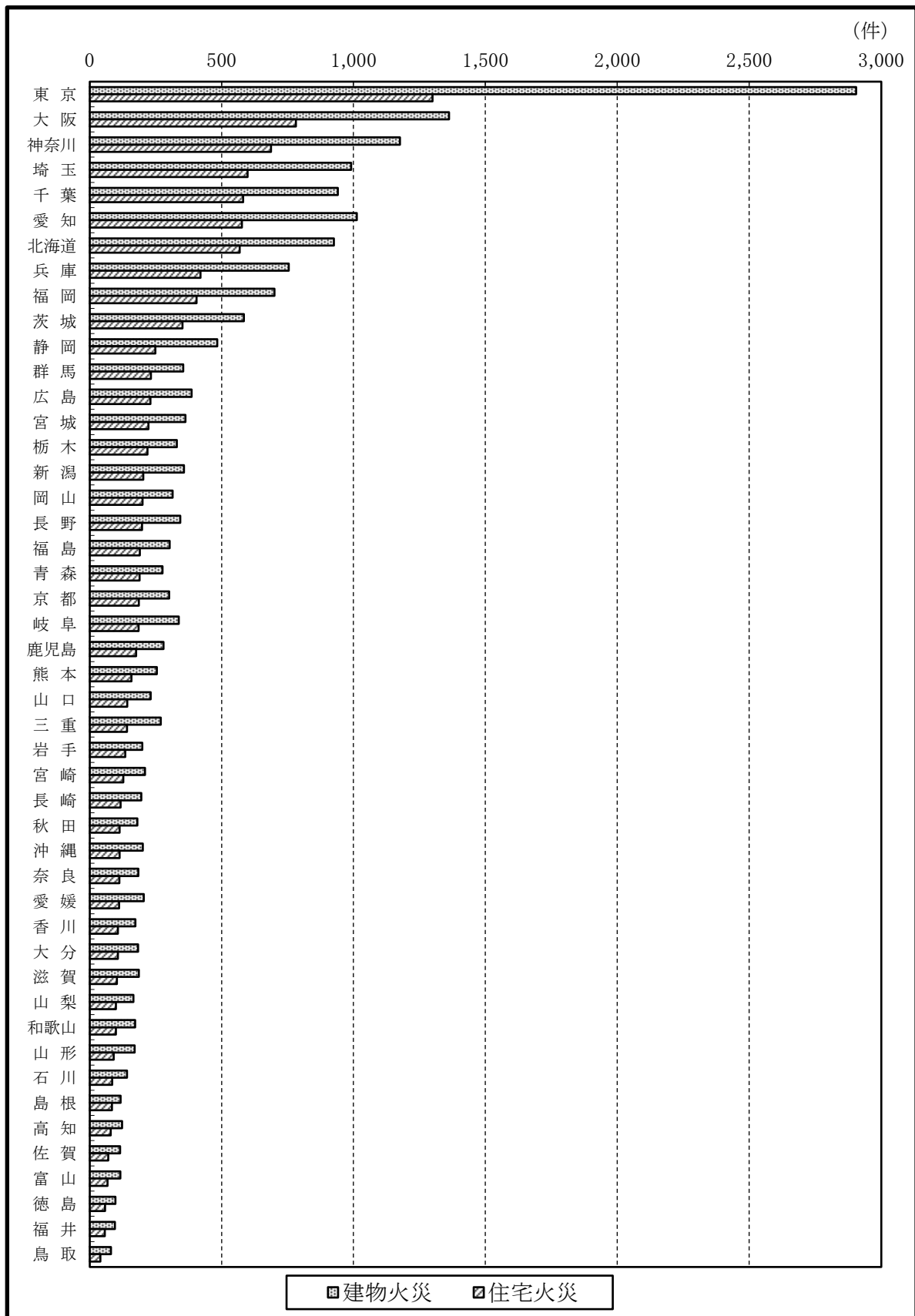
また、10万世帯当たりの住宅火災件数は「青森県(31.8件)」が最も多く、次いで「島根県(28.6件)」、「茨城県(27.0件)」となっている。

都道府県別出火件数(放火を除く。)

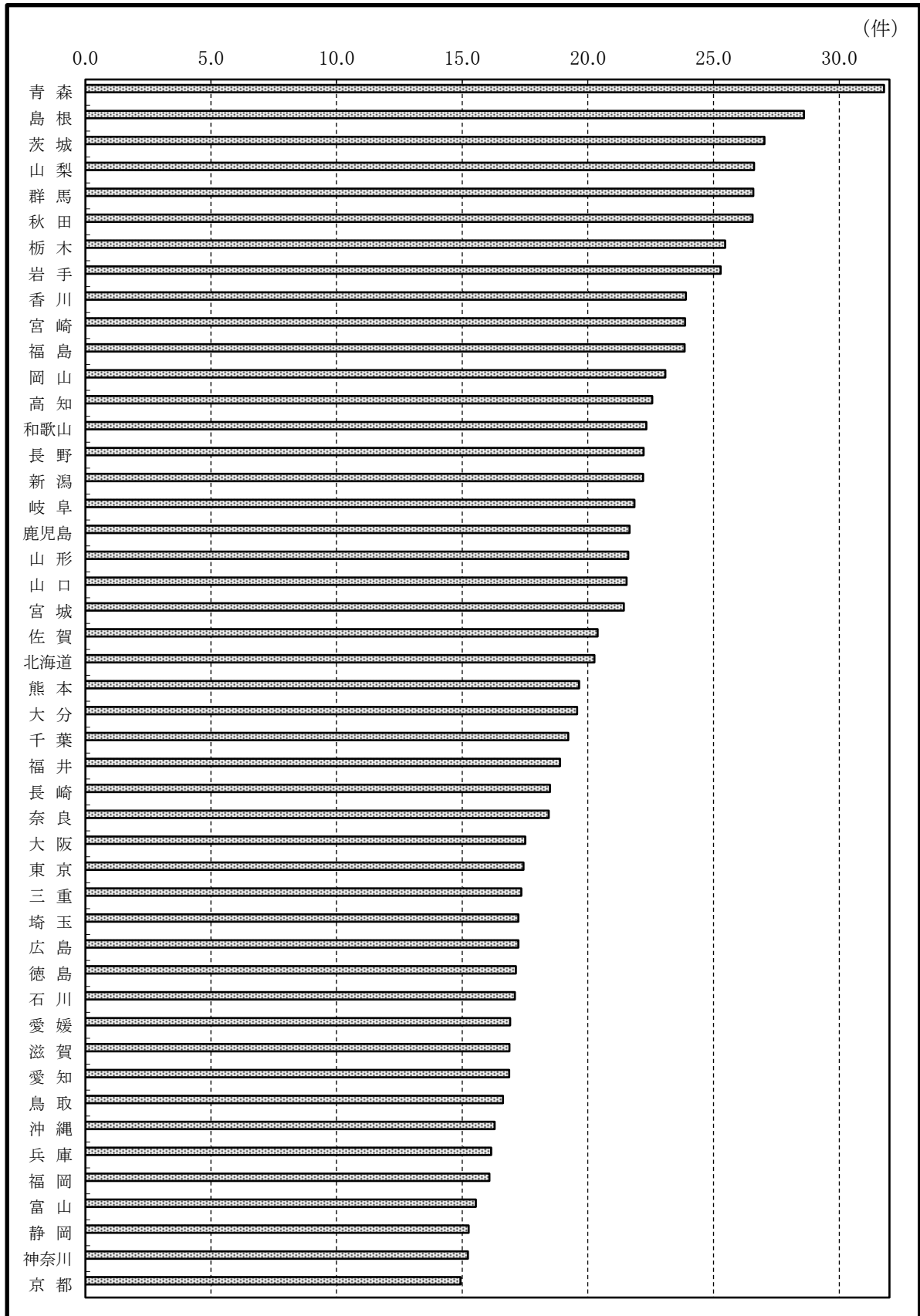
区分 都道府県名	建物火災 (件)	住宅火災(件)				10万世帯当たりの 住宅火災件数	世 帯 数
		合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅		
北海道	925	568	366	185	17	20.3	2,804,281
青 森	276	189	160	23	6	31.8	594,597
岩 手	199	135	118	10	7	25.3	533,908
宮 城	363	222	166	52	4	21.4	1,035,949
秋 田	180	113	103	6	4	26.6	425,607
山 形	170	91	80	9	2	21.6	421,275
福 島	303	190	161	23	6	23.9	796,575
茨 城	584	351	301	45	5	27.0	1,298,834
栃 木	330	219	185	30	4	25.5	860,314
群 馬	354	232	198	27	7	26.6	872,782
埼 玉	991	598	393	176	29	17.2	3,470,089
千 葉	940	581	398	174	9	19.2	3,023,394
東 京	2,905	1,299	492	803	4	17.4	7,451,051
神奈川	1,176	687	329	348	10	15.2	4,512,592
新 潟	357	203	171	29	3	22.2	914,487
富 山	116	67	57	6	4	15.5	431,110
石 川	141	85	61	21	3	17.1	497,350
福 井	95	57	46	8	3	18.9	301,715
山 梨	165	99	75	19	5	26.6	371,974
長 野	343	198	170	23	5	22.2	891,350
岐 阜	337	185	153	30	2	21.8	846,707
静 岡	483	249	198	42	9	15.3	1,632,671
愛 知	1,012	577	361	201	15	16.9	3,421,030
三 重	269	141	120	19	2	17.3	812,795
滋 賀	186	103	85	16	2	16.9	610,361
京 都	301	186	125	54	7	14.9	1,246,024
大 阪	1,362	781	381	368	32	17.5	4,462,498
兵 庫	754	420	234	166	20	16.1	2,601,174
奈 良	184	112	77	27	8	18.4	607,397
和歌山	172	99	80	18	1	22.3	443,470
鳥 取	80	40	32	7	1	16.6	240,643
島 根	117	84	70	12	2	28.6	293,719
岡 山	314	200	165	23	12	23.1	866,346
広 島	386	230	158	63	9	17.2	1,334,658
山 口	231	142	120	18	4	21.5	659,439
徳 島	97	58	53	4	1	17.1	338,467
香 川	173	107	94	12	1	23.9	447,775
愛 媛	205	111	81	29	1	16.9	656,678
高 知	122	79	57	17	5	22.6	350,142
福 岡	700	405	241	150	14	16.1	2,519,442
佐 賀	115	70	60	10	0	20.4	343,375
長 崎	195	117	94	21	2	18.5	632,920
熊 本	254	158	126	26	6	19.7	803,966
大 分	183	107	83	21	3	19.6	546,685
宮 崎	209	127	103	22	2	23.9	532,172
鹿児島	279	176	142	27	7	21.7	812,740
沖 縄	201	113	63	49	1	16.3	693,790
合 計	19,834	11,361	7,586	3,469	306	18.9	60,266,318

(注) 世帯数は、令和5年1月1日現在の住民基本台帳による。

都道府県別出火件数(放火を除く。)



都道府県別10万世帯当たりの住宅火災件数(放火を除く。)



3 住宅火災による死者数

(1) 建物火災による死者のうち住宅火災による死者数

建物火災による死者数(放火自殺者等を除く。)は1,086人(前年比22人増)で、このうち住宅火災による死者数は1,023人(前年比51人増)(94.2%)(前年91.4%)である。

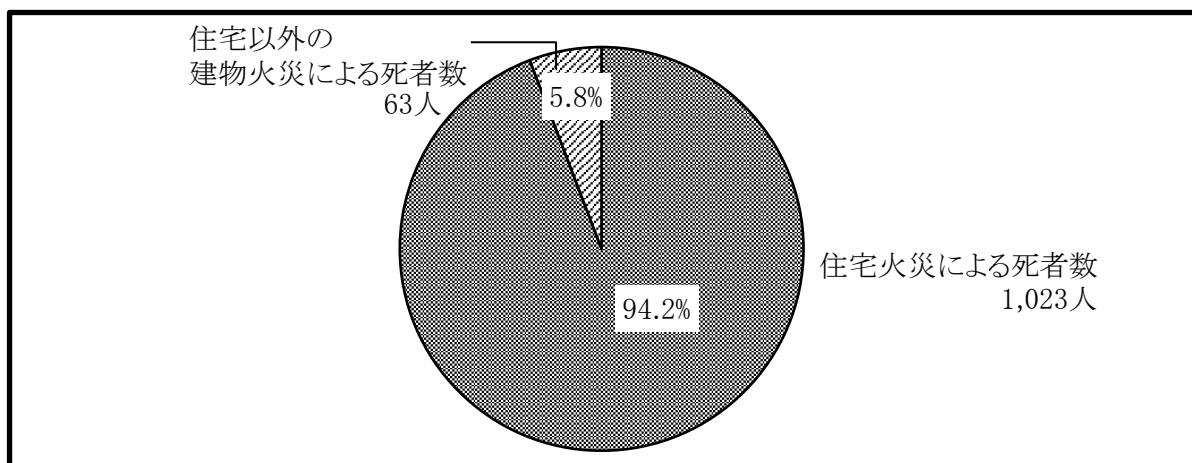
また、住宅火災による死者のうち820人(前年比41人増)(80.2%)(前年80.1%)は一般住宅において発生している。

建物火災の死者のうち住宅火災による死者数(放火自殺者等を除く。)

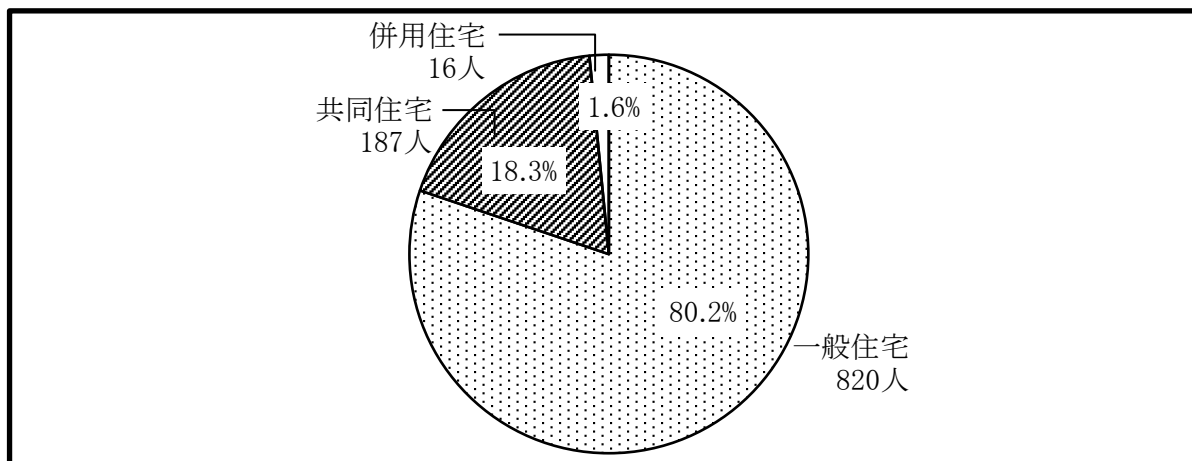
建物火災による 死者数(人)	住宅火災による死者数(人)				住宅以外の建物火災 による死者数(人)
	合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅	
1,086	1,023	820	187	16	63
100.0%	94.2%	[80.2%]	[18.3%]	[1.6%]	5.8%

(注)[]は、住宅火災による死者数(1,023人)に占める割合。

建物火災による死者発生状況(放火自殺者等を除く。)



住宅形態別の死者発生状況(放火自殺者等を除く。)



(2) 発火源別死者数

死者の発生した住宅火災の発火源は、「たばこ」によるもの144人(14.1%)、「ストーブ」によるもの95人(9.3%)、「電気器具類」によるもの79人(7.7%)である。また、65歳以上の高齢者については「たばこ」によるもの103人(13.5%)、「ストーブ」によるもの77人(10.1%)、次いで「電気器具類」によるもの65人(8.5%)となっている。

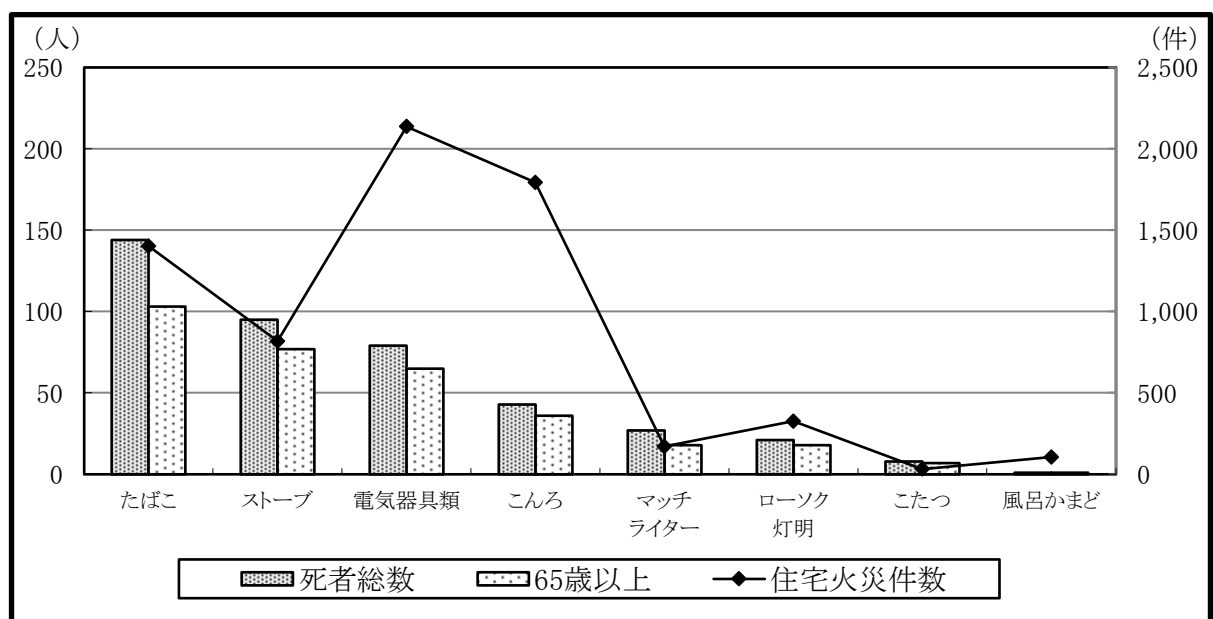
住宅火災の件数との関連をみると、「こんろ」は火災件数の割に死者数が少なくなっている。

発火源をエネルギー別にみると、「ストーブ」にあつては「電気」によるもの47人(49.5%)、「石油」によるもの41人(43.2%)でほぼ全体(92.6%)を占めている。また、「こんろ」にあつては、「ガス」が36人(83.7%)と最も多く、次いで「電気」の2人(4.7%)となっている。

発火源別死者数(放火自殺者等を除く。)

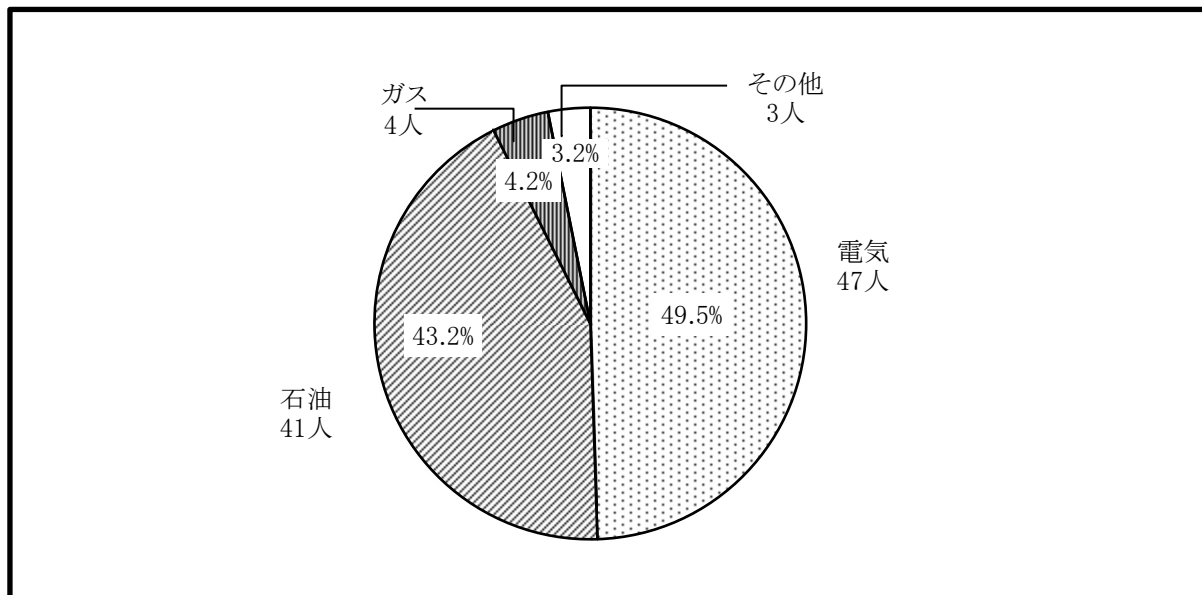
発火源	死者総数	5歳以下	6歳以上 64歳以下	65歳以上	不 明	住宅火災 件数
たばこ	144	0	41	103	0	1,401
ストーブ	95	0	18	77	0	818
電気器具類	79	0	14	65	0	2,136
こんろ	43	0	7	36	0	1,792
マッチ・ライター	27	0	8	18	1	170
ローソク・灯明	21	0	3	18	0	326
こたつ	8	0	1	7	0	32
風呂かまど	1	0	0	1	0	106
その他	51	0	16	35	0	2,799
不 明	554	1	148	402	3	1,781
合 計	1,023	1	256	762	4	11,361

発火源別死者数(放火自殺者等を除く。)

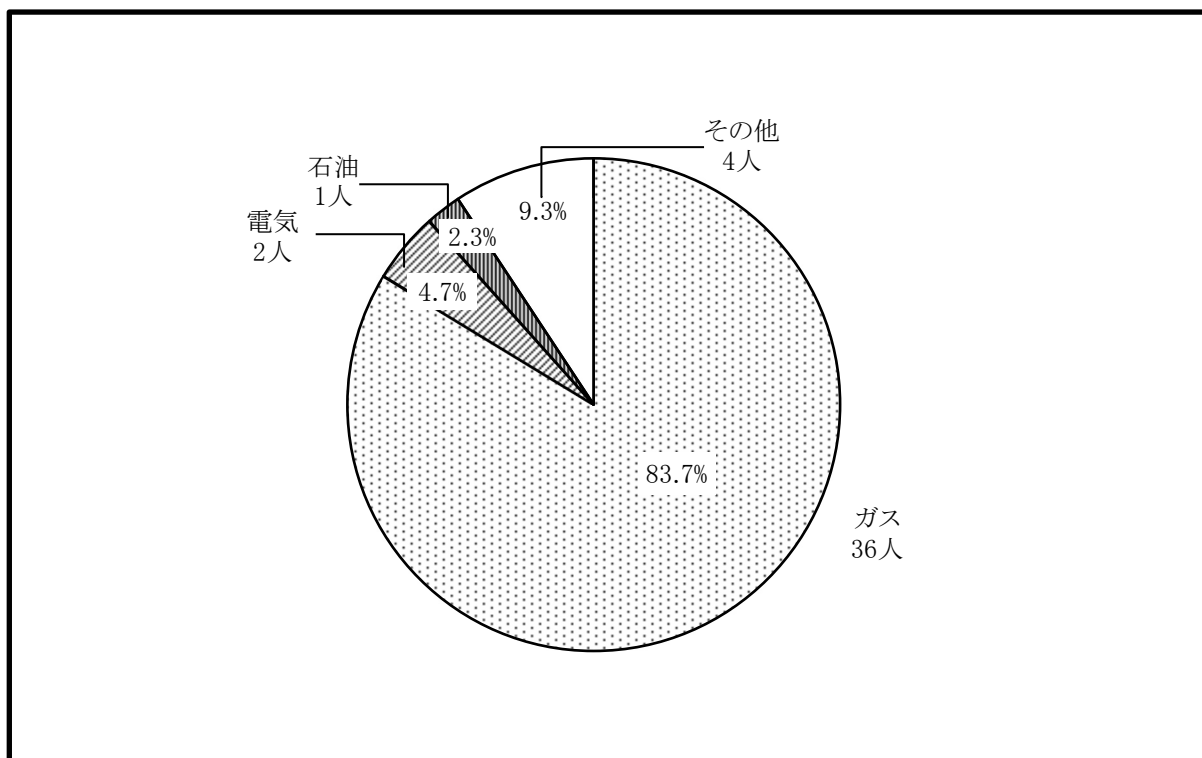


(注) 発火源のその他、不明は除く。

ストーブのエネルギー別死者数(放火自殺者等を除く。)



こんろのエネルギー別死者数(放火自殺者等を除く。)



(3) 着火物別死者数

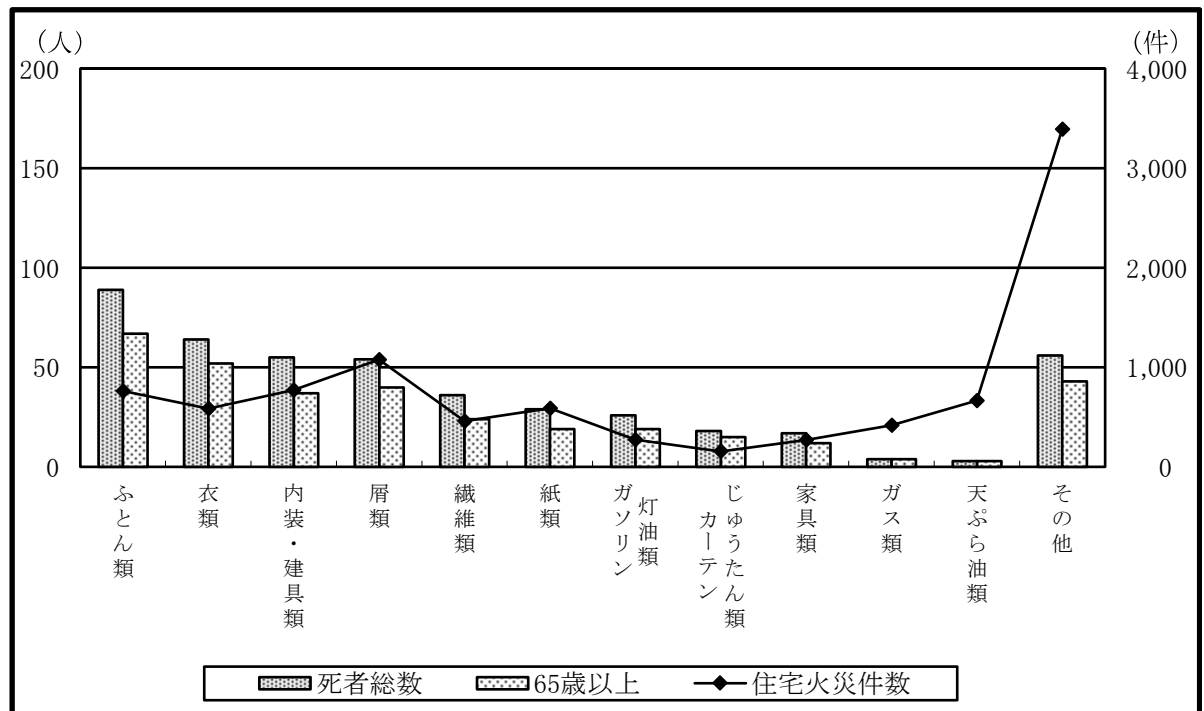
死者の発生した住宅火災の着火物は、多いものから順に「ふとん類」が89人(8.7%)、次いで「衣類」64人(6.3%)と前年と同じ順になっている。

住宅火災の件数との関連をみると、「天ぷら油類」は火災件数の割に死者数が少なくなっているが、「ふとん類」、「カーテン・じゅうたん類」は多くなっている。

着火物別死者数(放火自殺者等を除く。)

着火物 \ 年齢	死者総数	5歳以下	6歳以上 64歳以下	65歳以上	不 明	住宅火災 件数
ふ と ん 類	89	0	22	67	0	761
衣 類	64	0	12	52	0	585
内 装 ・ 建 具 類	55	0	18	37	0	771
屑 類	54	0	14	40	0	1,076
織 維 類	36	0	12	24	0	459
紙 類	29	0	10	19	0	589
ガソリン・灯油類	26	0	7	19	0	274
カーテン・じゅうたん類	18	0	3	15	0	156
家 具 類	17	0	5	12	0	270
ガ ス 類	4	0	0	4	0	419
天 ぷ ら 油 類	3	0	0	3	0	664
そ の 他	56	0	13	43	0	3,391
不 明	572	1	140	427	4	1,946
合 計	1,023	1	256	762	4	11,361

着火物別死者数(放火自殺者等を除く。)



(注) 着火物の不明は除く。

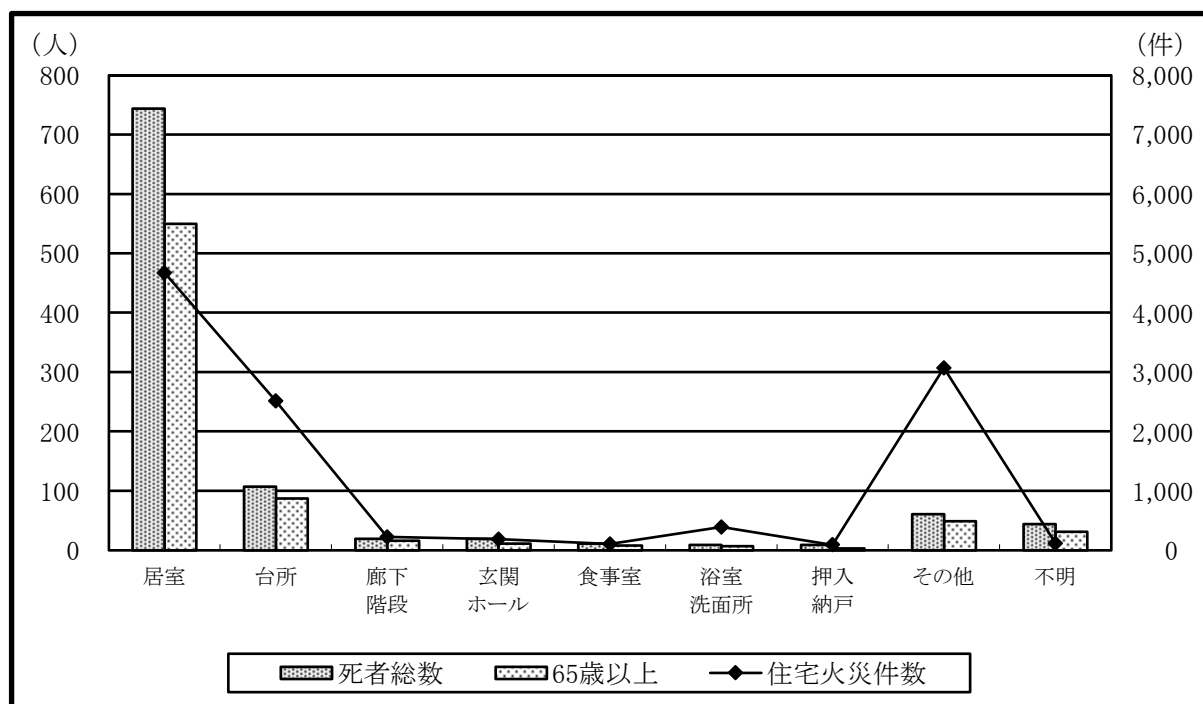
(4) 出火箇所別死者数

死者の発生した住宅火災のうち出火箇所として多いのは「居室」で、744人(前年比2人減)(72.7%)(前年76.7%)の死者が発生している。また、居室内での死者を年齢別にみると、65歳以上の高齢者が550人(73.9%)と7割以上を占めている。

出火箇所別死者数(放火自殺者等を除く。)

出火箇所	年齢	死者総数	5歳以下	6歳以上 64歳以下	65歳以上	不 明	住宅火災 件数
居 室		744	1	189	550	4	4,671
台 所		107	0	20	87	0	2,512
廊 下 ・ 階 段		19	0	3	16	0	220
玄 関 ・ ホール		19	0	8	11	0	185
食 事 室		11	0	3	8	0	104
浴 室 ・ 洗面所		9	0	2	7	0	389
押 入 ・ 納 戸		9	0	6	3	0	92
そ の 他		61	0	12	49	0	3,071
不 明		44	0	13	31	0	117
合 計		1,023	1	256	762	4	11,361

出火箇所別死者数(放火自殺者等を除く。)



(5) 建物構造別死者数

死者の発生した住宅火災を建物構造別にみると、前年と同じく「木造建築物」が最も多く684人(前年比25人減)(66.9%)(前年72.9%)となっており、その内512人(前年比28人減)(74.9%)(前年76.2%)が65歳以上の高齢者である。

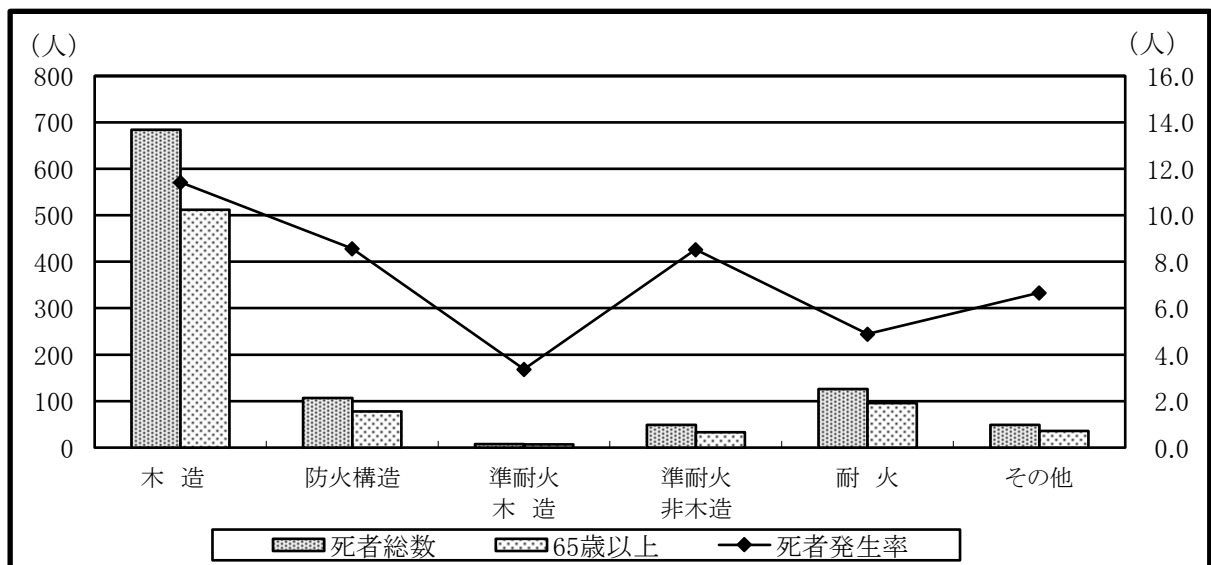
死者発生率をみると、「準耐火木造建築物」が3.4人(前年5.6人)に対し、「木造建築物」が11.4人(前年12.1人)と「木造建築物」で火災が発生した場合の死者発生率が高い値を示している。

建物構造別死者数(放火自殺者等を除く。)

建物構造	年齢	死者総数	5歳以下	6歳以上 64歳以下	65歳以上	不 明	住宅火災 件数	死者 発生率
木 造 建 築 物		684	0	169	512	3	5,987	11.4
防 火 構 造 建 築 物		107	0	29	78	0	1,249	8.6
準耐火木造建築物		8	0	1	7	0	237	3.4
準耐火非木造建築物		49	1	15	33	0	575	8.5
耐 火 建 築 物		126	0	30	96	0	2,577	4.9
そ の 他		49	0	12	36	1	735	6.7
不 明		0	0	0	0	0	1	0.0
合 計		1,023	1	256	762	4	11,361	9.0

(注) 死者発生率は、住宅火災100件当たりの死者数を示す。

建物構造別死者数(放火自殺者等を除く。)



(注) 建物構造の不明は除く。

(6) 時間帯別死者数

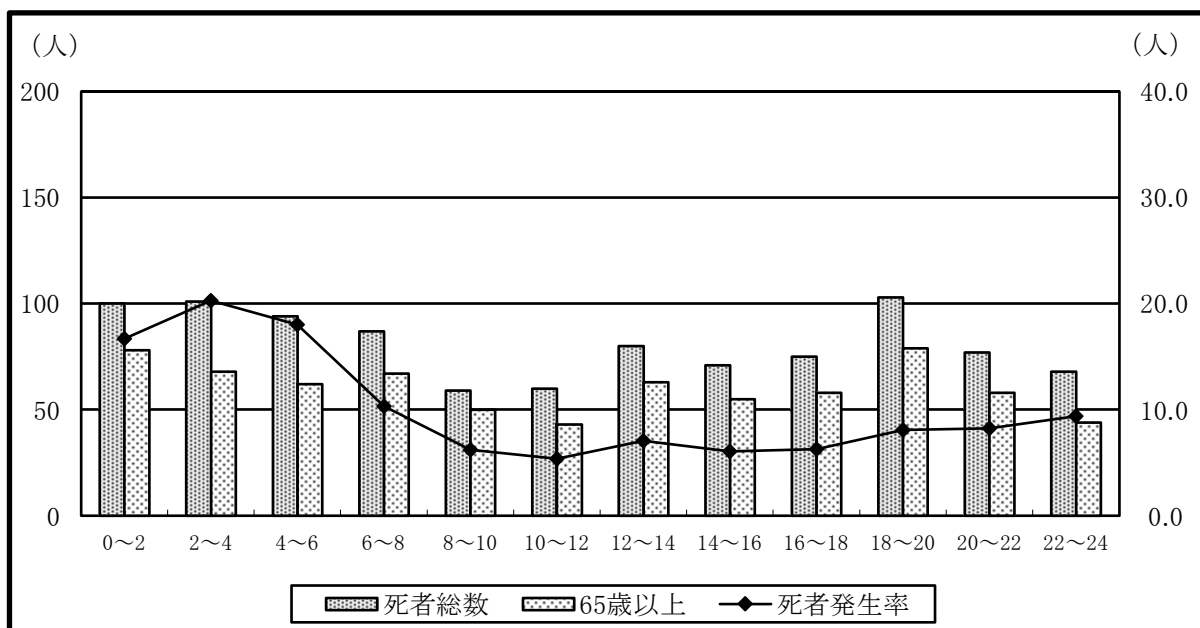
死者の発生した住宅火災を時間帯別にみると、0時から6時の深夜に295人(28.8%)と多くの死者が発生しているが、同時刻の住宅火災の件数は少なくなっており、死者発生率が高くなっている。

時間帯別死者数(放火自殺者等を除く。)

時間帯 \ 年齢	死者総数	5歳以下	6歳以上 64歳以下	65歳以上	不 明	住宅火災 件数	死者 発生率
0 ～ 2	100	0	22	78	0	599	16.7
2 ～ 4	101	0	33	68	0	498	20.3
4 ～ 6	94	1	31	62	0	522	18.0
6 ～ 8	87	0	19	67	1	843	10.3
8 ～ 10	59	0	9	50	0	952	6.2
10 ～ 12	60	0	16	43	1	1,118	5.4
12 ～ 14	80	0	16	63	1	1,133	7.1
14 ～ 16	71	0	16	55	0	1,171	6.1
16 ～ 18	75	0	17	58	0	1,195	6.3
18 ～ 20	103	0	23	79	1	1,274	8.1
20 ～ 22	77	0	19	58	0	937	8.2
22 ～ 24	68	0	24	44	0	726	9.4
不 明	48	0	11	37	0	393	12.2
合 計	1,023	1	256	762	4	11,361	9.0

(注) 死者発生率は、住宅火災100件当たりの死者数を示す。

時間帯別死者数(放火自殺者等を除く。)



(注) 時間帯の不明は除く。

(7) 月別死者数

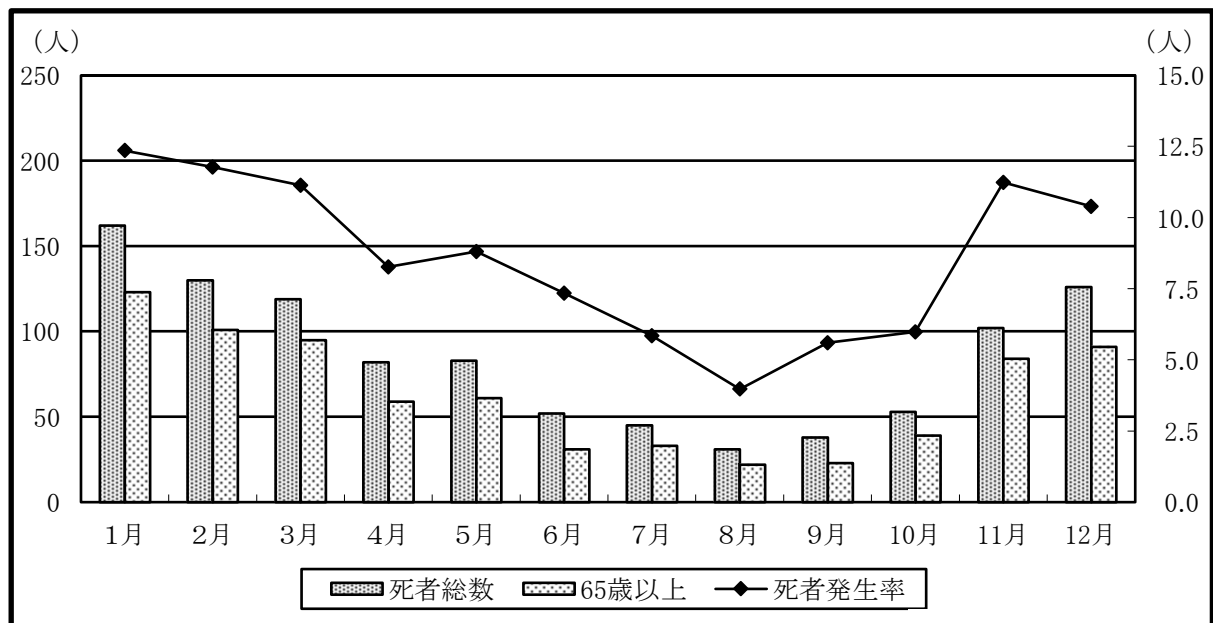
死者の発生した住宅火災を月別にみると、「1月」から「3月」及び「12月」の4ヶ月では537人(52.5%)と多くの死者が発生している。住宅火災の件数との関連をみると「1月」から「3月」、「11月」、「12月」は10人以上の死者発生率となっている。

月別死者数(放火自殺者等を除く。)

月	年齢	死者総数	5歳以下	6歳以上 64歳以下	65歳以上	不 明	住宅火災 件数	死者 発生率
1 月		162	1	38	123	0	1,311	12.4
2 月		130	0	28	101	1	1,104	11.8
3 月		119	0	24	95	0	1,069	11.1
4 月		82	0	23	59	0	992	8.3
5 月		83	0	22	61	0	943	8.8
6 月		52	0	21	31	0	708	7.3
7 月		45	0	12	33	0	769	5.9
8 月		31	0	9	22	0	780	4.0
9 月		38	0	14	23	1	678	5.6
10 月		53	0	14	39	0	886	6.0
11 月		102	0	17	84	1	908	11.2
12 月		126	0	34	91	1	1,213	10.4
合 計		1,023	1	256	762	4	11,361	9.0

(注) 死者発生率は、住宅火災100件当たりの死者数を示す。

月別死者数(放火自殺者等を除く。)



(8) 都道府県別死者数

死者の発生した住宅火災を都道府県別にみると、「埼玉県(57人)」が最も多く、次いで「北海道(54人)」、「東京都(53人)」となっている。一方、死者の少ない都道府県は、「高知県(4人)」、「滋賀県・島根県・徳島県(5人)」となっている。

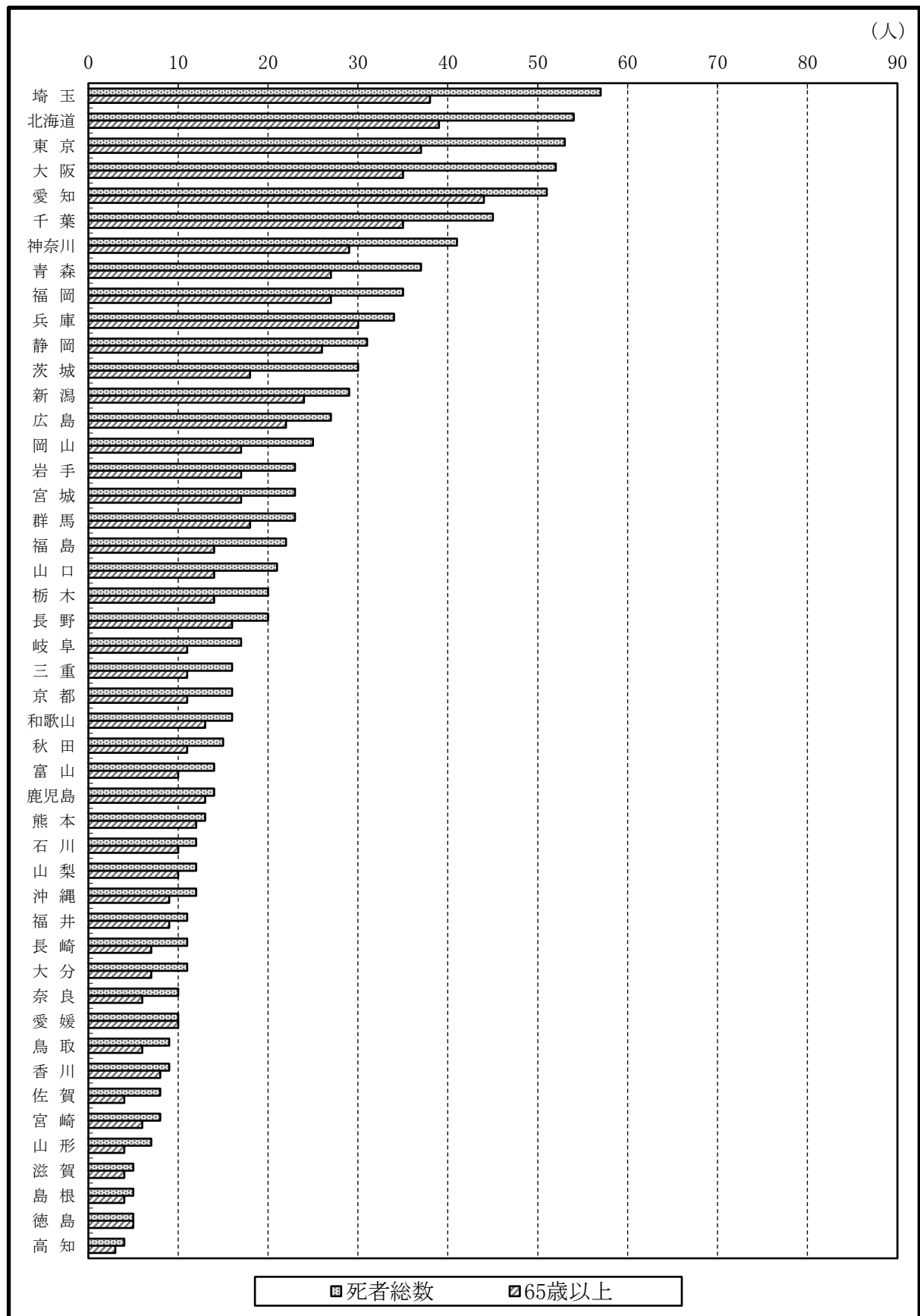
また、人口10万人当たりの死者数をみると、「青森県(3.02人)」が最も多く、次いで「岩手県(1.93人)」、「和歌山県(1.73人)」となっている。

都道府県別死者数(放火自殺者等を除く。)

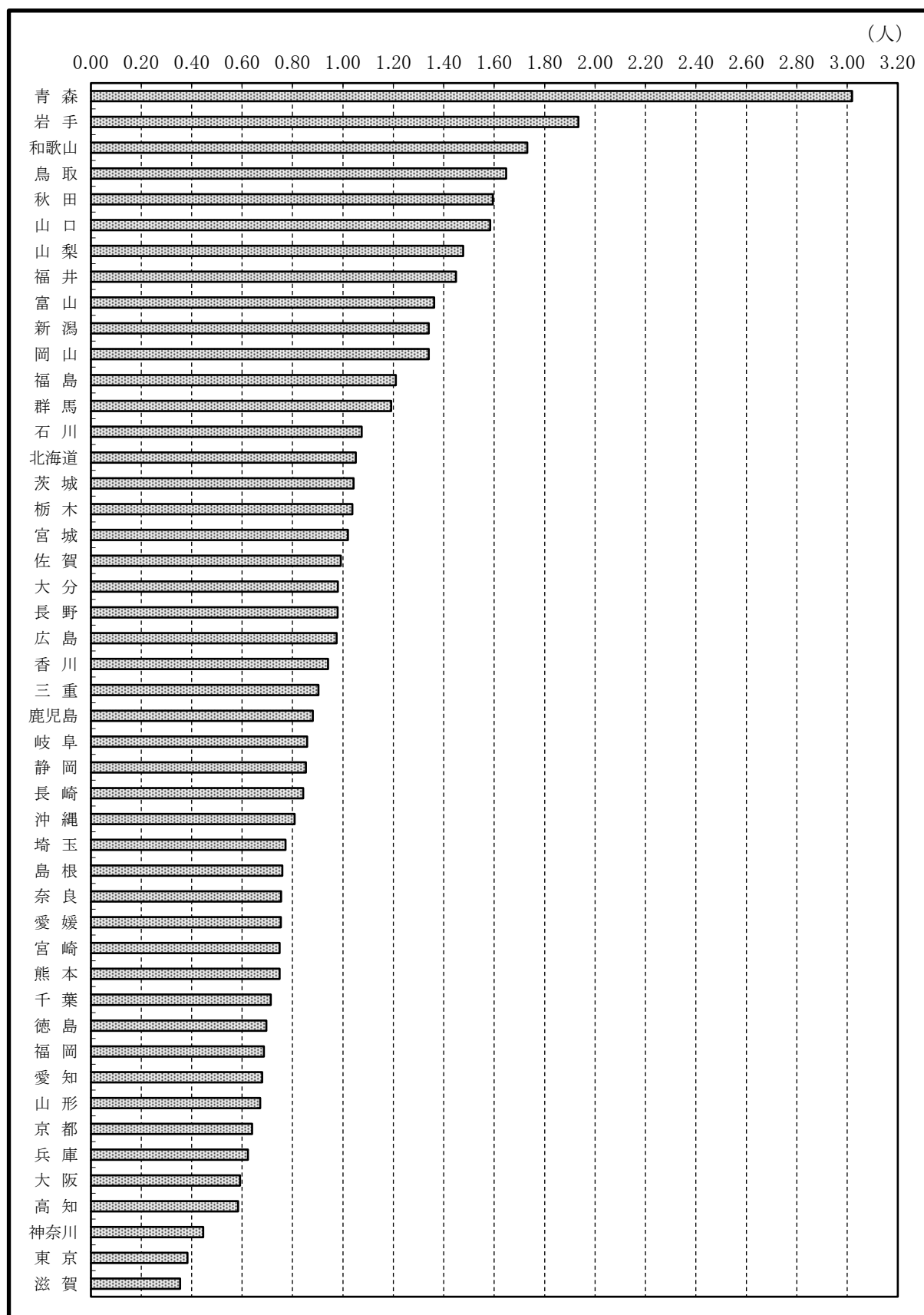
都道府県名	死者数	5歳以下	6歳以上 64歳以下	65歳以上	不 明	人口10万人当 たりの死者数	人 口
北海道	54		15	39		1.05	5,139,913
青 森	37		10	27		3.02	1,225,497
岩 手	23		6	17		1.93	1,189,670
宮 城	23		6	17		1.02	2,257,472
秋 田	15		4	11		1.59	941,021
山 形	7		3	4		0.67	1,042,396
福 島	22		7	14	1	1.21	1,818,581
茨 城	30	1	11	18		1.04	2,879,808
栃 木	20		6	14		1.04	1,929,434
群 馬	23		5	18		1.19	1,930,976
埼 玉	57		18	38	1	0.77	7,381,035
千 葉	45		8	35	2	0.71	6,310,075
東 京	53		16	37		0.38	13,841,665
神奈川	41		12	29		0.45	9,212,003
新 潟	29		5	24		1.34	2,163,908
富 山	14		4	10		1.36	1,028,440
石 川	12		2	10		1.07	1,117,303
福 井	11		2	9		1.45	759,777
山 梨	12		2	10		1.48	812,615
長 野	20		4	16		0.98	2,043,798
岐 阜	17		6	11		0.86	1,982,294
静 岡	31		5	26		0.85	3,633,773
愛 知	51		7	44		0.68	7,512,703
三 重	16		5	11		0.90	1,772,427
滋 賀	5		1	4		0.35	1,413,989
京 都	16		5	11		0.64	2,501,269
大 阪	52		17	35		0.59	8,784,421
兵 庫	34		4	30		0.62	5,459,867
奈 良	10		4	6		0.75	1,325,385
和歌山	16		3	13		1.73	924,469
鳥 取	9		3	6		1.65	546,558
島 根	5		1	4		0.76	658,809
岡 山	25		8	17		1.34	1,865,478
広 島	27		5	22		0.97	2,770,623
山 口	21		7	14		1.58	1,326,218
徳 島	5			5		0.70	718,879
香 川	9		1	8		0.94	956,787
愛 媛	10			10		0.75	1,327,185
高 知	4		1	3		0.58	684,964
福 岡	35		8	27		0.69	5,104,921
佐 賀	8		4	4		0.99	806,877
長 崎	11		4	7		0.84	1,306,060
熊 本	13		1	12		0.75	1,737,946
大 分	11		4	7		0.98	1,123,525
宮 崎	8		2	6		0.75	1,068,838
鹿児島	14		1	13		0.88	1,591,699
沖 縄	12		3	9		0.81	1,485,526
合 計	1,023	1	256	762	4	0.82	125,416,877

(注) 人口は、令和5年1月1日現在の住民基本台帳による。

都道府県別死者数(放火自殺者等を除く。)



都道府県別人口10万人当たりの死者数(放火自殺者等を除く。)



(9) 年齢別死者数

住宅火災における年齢別の死者は高齢者に多くみられ、65歳以上の高齢者の死者(762人)(前年比31人増)は全体の74.5%(前年75.2%)を占めている。

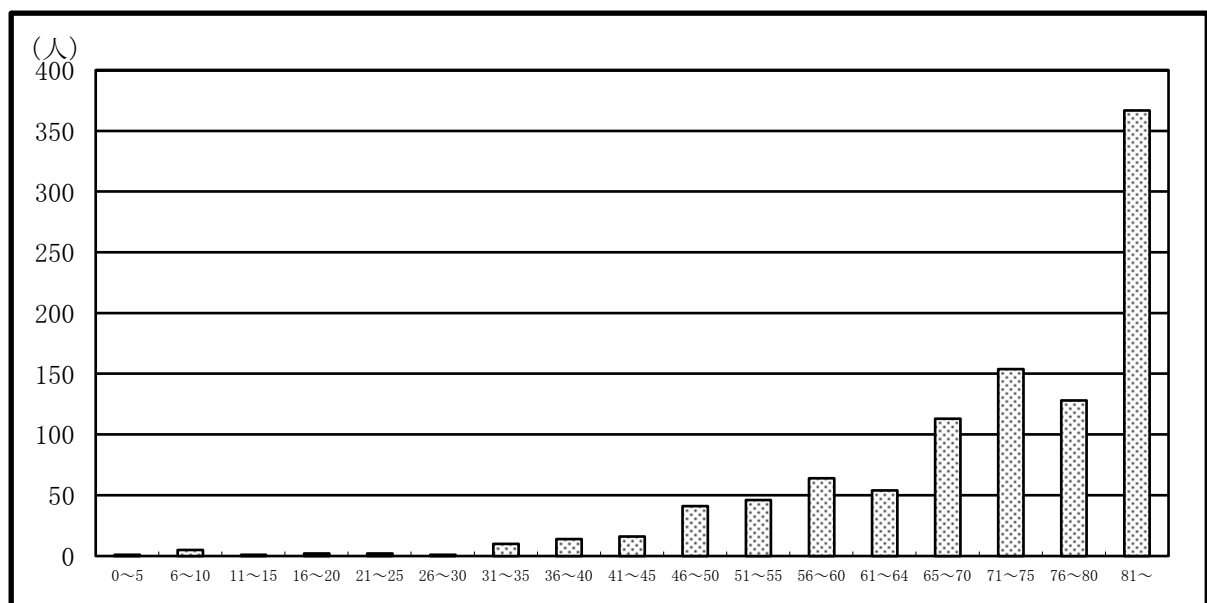
また、人口10万人当たりの死者数についても、同様の傾向がみられる。

年齢別死者数(放火自殺者等を除く。)

年 齢	死者数 (人)	比率 (%)	人口10万人当たり の死者数(人)
0 ～ 5	1	0.10	0.02
6 ～ 10	5	0.49	0.10
11 ～ 15	1	0.10	0.02
16 ～ 20	2	0.20	0.04
21 ～ 25	2	0.20	0.03
26 ～ 30	1	0.10	0.02
31 ～ 35	10	0.98	0.15
36 ～ 40	14	1.37	0.19
41 ～ 45	16	1.56	0.20
46 ～ 50	41	4.01	0.43
51 ～ 55	46	4.50	0.49
56 ～ 60	64	6.26	0.80
61 ～ 64	54	5.28	0.91
65 ～ 70	113	11.05	1.27
71 ～ 75	154	15.05	1.68
76 ～ 80	128	12.51	1.87
81 ～	367	35.87	3.25
不 明	4	0.39	—
合 計	1,023	100.0	—

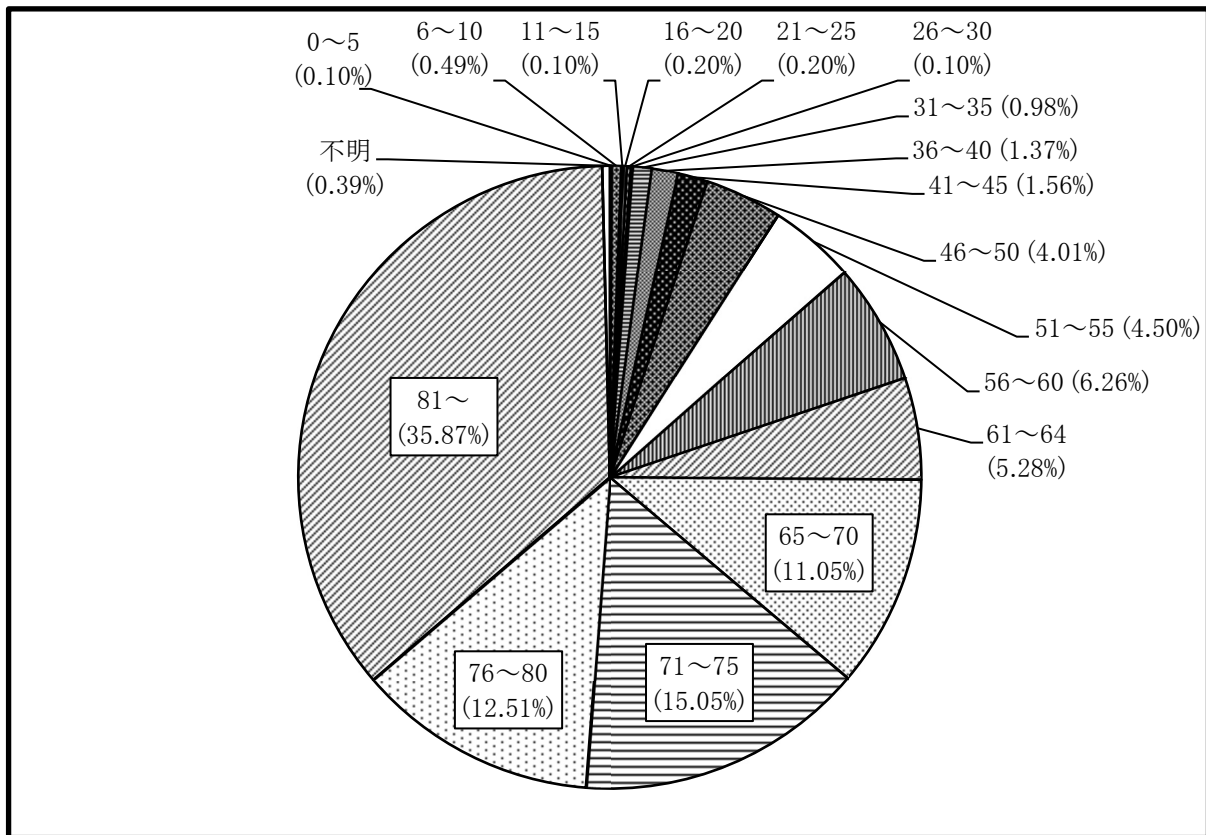
(注)人口は、令和5年10月1日現在の人口推計(総務省統計局)による。

年齢別死者数(放火自殺者等を除く。)

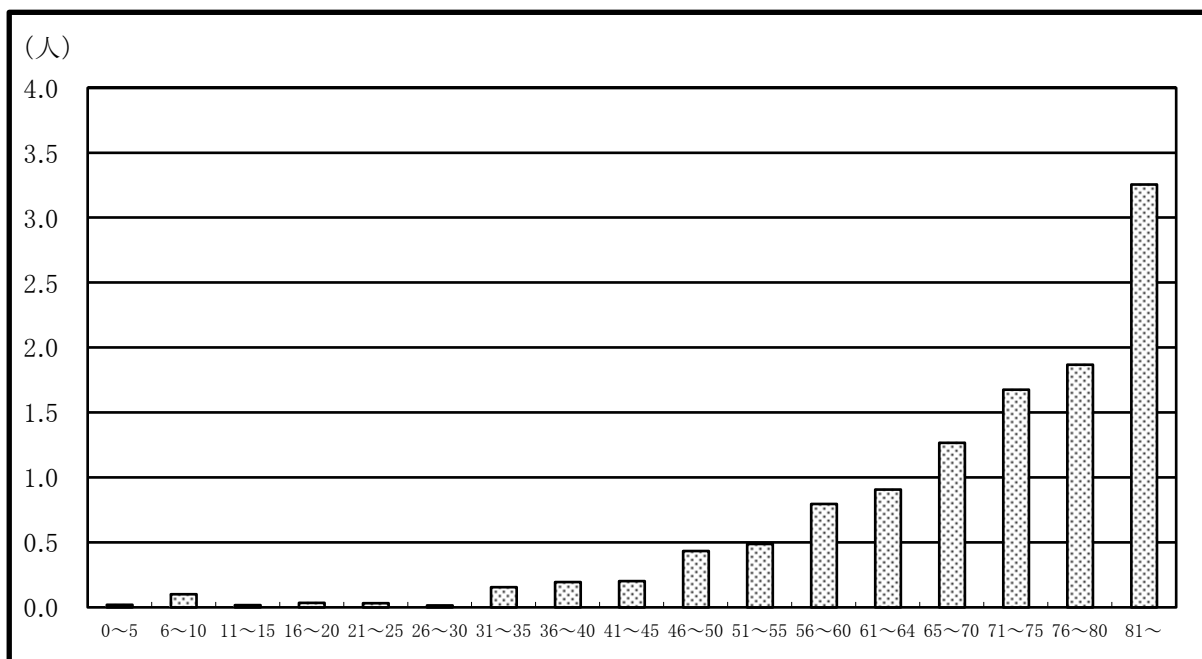


(注)年齢の不明は除く。

年齢別死者数(放火自殺者等を除く。)



年齢別人口10万人当たりの死者数(放火自殺者等を除く。)



(注) 年齢の不明は除く。

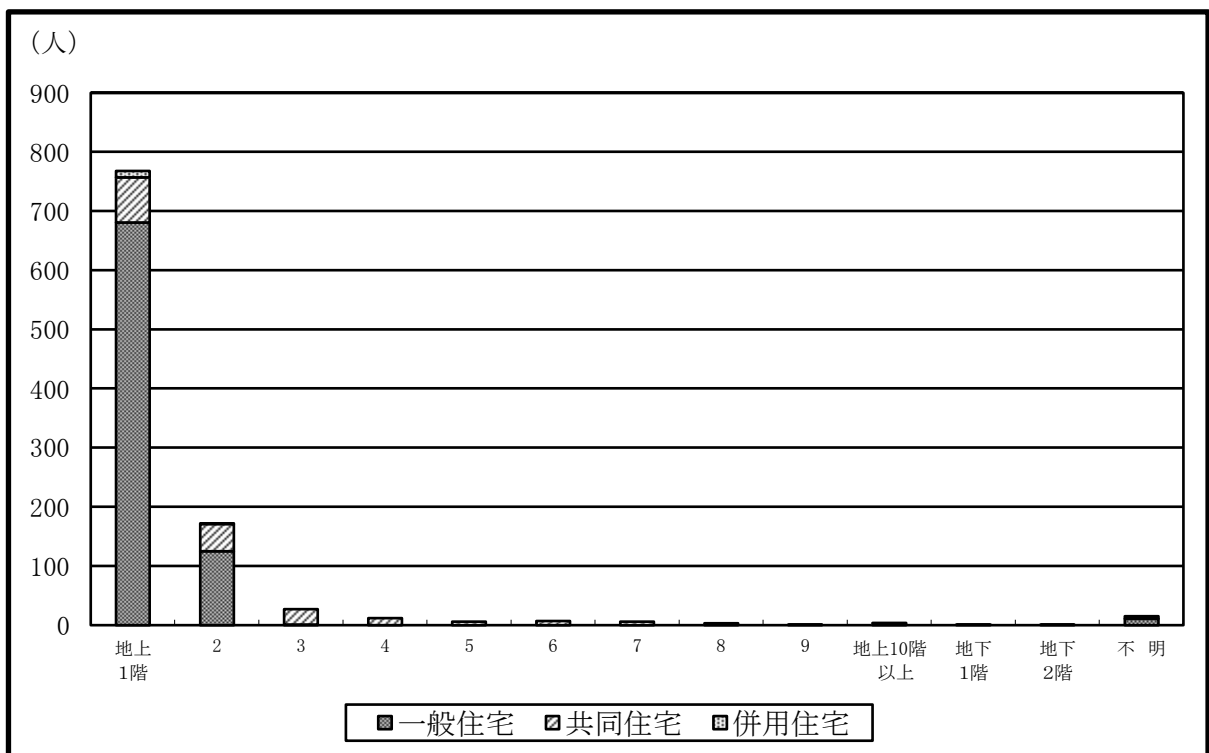
(10) 階別死者数

住宅火災における階別の死者数は、「1階」と「2階」で全体の91.9%(前年94.0%)に当たる940人(前年比26人増)となっている。

階別死者数(放火自殺者等を除く。)

階 数 \ 区 分	合 計	一般住宅	共同住宅	併用住宅
地上1階	768	681	76	11
2	172	125	46	1
3	27	1	26	0
4	12	0	12	0
5	6	0	6	0
6	7	0	7	0
7	6	0	6	0
8	3	0	3	0
9	1	0	1	0
地上10階以上	4	0	4	0
地下1階	1	1	0	0
地下2階	1	1	0	0
不 明	15	11	0	4
合 計	1,023	820	187	16

階別死者数(放火自殺者等を除く。)



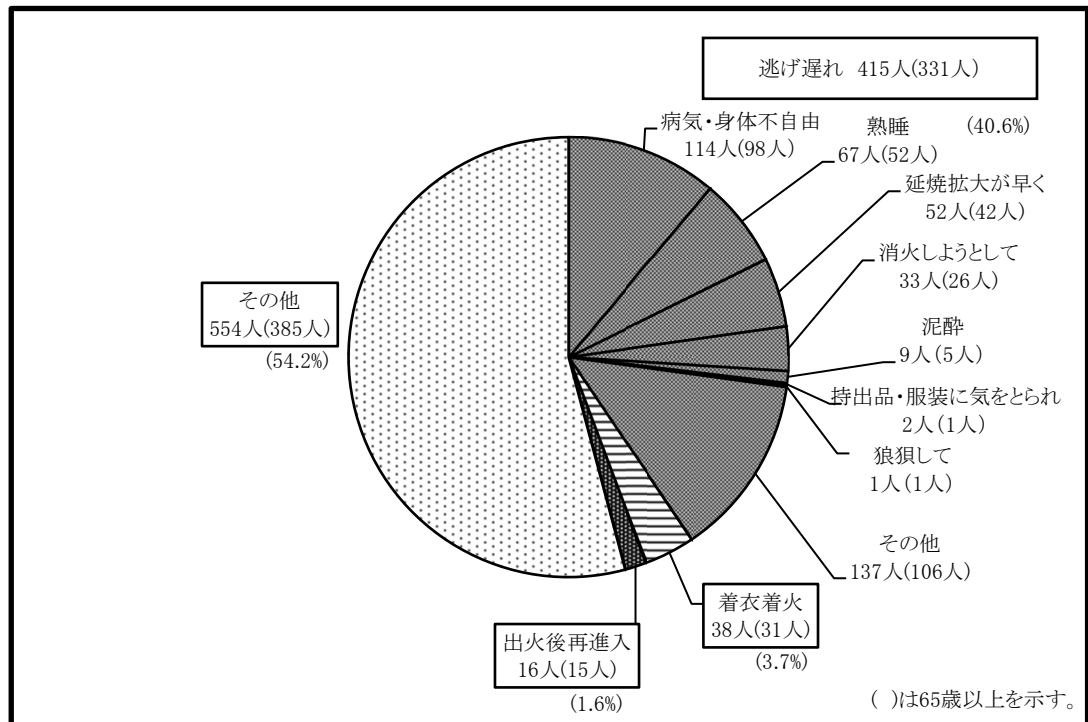
(11) 死に至った経過別死者数(年齢別)

住宅火災での死者数を経過別にみると、「逃げ遅れ」が415人(前年比11人減)(40.6%)(前年43.8%)と最も多く、以下「着衣着火」が38人(前年比3人減)(3.7%)(前年4.2%)、「出火後再進入」が16人(前年比1人増)(1.6%)(前年1.5%)と前年と同じ順になっている。

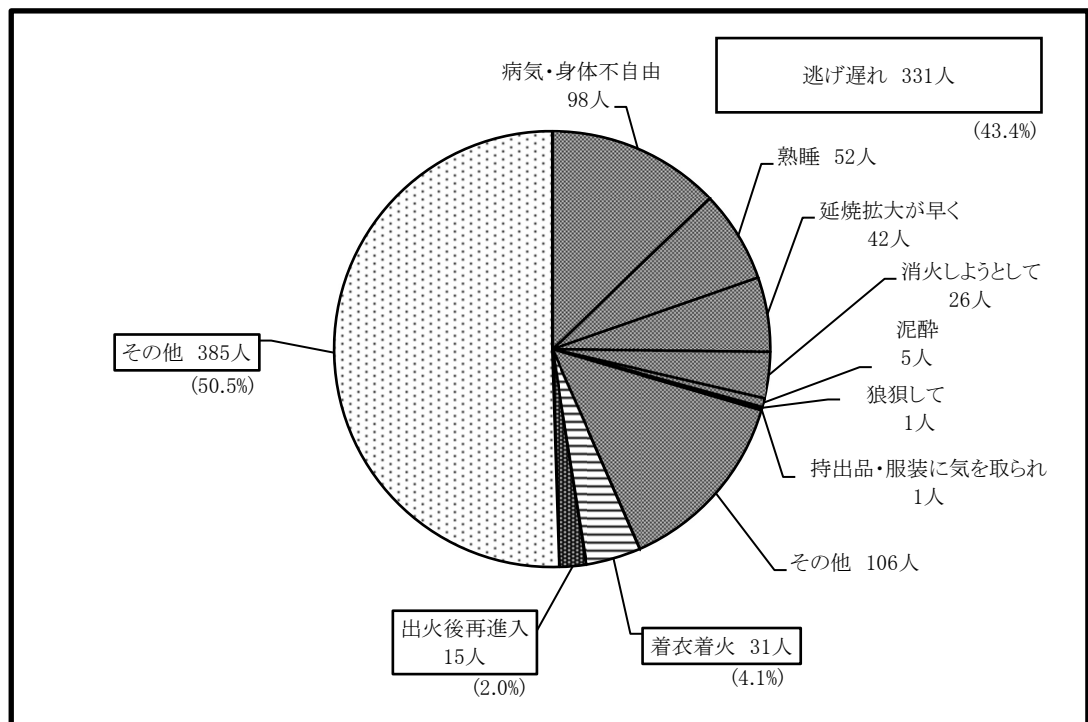
死に至った経過別死者数(放火自殺者等を除く。)

区 分			5歳以下	6歳以上 64歳以下	65歳以上	不 明	計 (%)	
逃げ遅れ	発見が遅れ、気づいた時は、火煙が回り、すでに逃げ道がなかったものと思われるもの。(全く気づかなかった場合を含む)	熟睡	1	14	52	0	67	148 (14.5)
		泥酔	0	4	4	0	8	
		病気・身体不自由	0	2	25	0	27	
		その他	0	10	36	0	46	
	判断力に欠け、あるいは体力的条件が悪く、ほとんど避難できなかったと思われるもの。	乳幼児	0	0	0	0	0	48 (4.7)
		泥酔	0	0	1	0	1	
		病気・身体不自由	0	7	28	0	35	
		老衰	0	0	5	0	5	
	延焼拡大が早かった等のため、ほとんど避難ができなかったと思われるもの。	その他	0	2	5	0	7	11 (1.1)
		ガス爆発のため	0	0	0	0	0	
		危険物燃焼のため	0	0	2	0	2	
	逃げれば逃げられたが、逃げる機会を失ったと思われるもの。	その他	0	3	6	0	9	48 (4.7)
		狼狽して	0	0	1	0	1	
		持出品・服装に気をとられ	0	1	1	0	2	
		火災をふれまわっているうちに	0	0	2	0	2	
		消火しようとして	0	7	26	0	33	
	避難行動を起こしているが、逃げ切れなかったと思われるもの。(一応自力避難したが、避難中火傷、ガス吸引し病院等で死亡した場合を含む)	人を救助しようとしていて	0	0	0	0	0	160 (15.6)
		その他	0	3	7	0	10	
		身体不自由のため	0	7	45	0	52	
		延焼拡大が早く	0	10	42	0	52	
		逃げ道を間違えて	0	1	1	0	2	
出火後再進入	出入口施錠のため	0	0	2	0	2	16 (1.6)	
	その他	0	12	40	0	52		
	救助・物品搬出のため	0	1	6	0	7		
着衣着火	一旦屋外避難後、再進入したと思われるもの。 出火時屋外にいて、出火後再進入したと思われるもの。	消火のため	0	0	3	0	3	38 (3.7)
		その他	0	0	6	0	6	
		喫煙中	0	1	5	0	6	
		炊事中	0	3	11	0	14	
		採暖中	0	0	2	0	2	
		たき火中	0	0	0	0	0	
		火遊び	0	0	0	0	0	
		その他火気取扱中	0	0	8	0	8	
その他	その他	0	3	5	0	8	554 (54.2)	
	上記以外の経過等	0	12	9	0	21		
合 計			1	256	762	4	1,023	

死に至った経過別死者発生状況(放火自殺者等を除く。)



65歳以上の死に至った経過別死者発生状況(放火自殺者等を除く。)



(12) 死に至った経過別死者数(タイプ別)

次のページは、高齢者、乳幼児及び病気・身体不自由者等と健常者とを次のようなタイプ（１～６）に分類し、死に至った経過を分析したもので、行動制約度が高いほど死者発生数が多いことがわかる。

- ①タイプ１；補助手薄な自力避難困難者
- ②タイプ２；補助手薄な行動制約者
- ③タイプ３；補助手薄でない自力避難困難者
- ④タイプ４；補助手薄でない行動制約者
- ⑤タイプ５；補助手薄な健常者
- ⑥タイプ６；補助手薄でない健常者

家族それぞれの火災時の対応能力を次の様に分類する。

自力避難困難者；火災時に自力で避難することが困難と思われる、寝たきりの人、歩行不可能な人、歩行困難な人、５歳以下の乳幼児又はこれらに準ずる人をいう。

補助手薄；補助可能者と同居していないか、又は同居していても一人になる時間が多い等のため火災時に補助可能者の手助けが期待できない状態をいう。

補助可能者；12歳以上65歳未満で火災時に初期消火、通報、避難補助等を的確に行うことができる人をいう。

高齢者；65歳以上の人をいう。

行動制約者；火災時に自分だけは何とか避難できるが、初期消火、通報、避難補助等が困難と思われる人で、歩行以外の身体障害のある人、高齢者又はこれに準ずる人をいう。

健常者；自力避難困難者又は行動制約者以外の人をいう。

死に至った経過別死者(タイプ別)(放火自殺者等を除く。)

区 分		1	2	3	4	5	6	計(%)		
殺人・自損行為による死者（心中の道づれ、巻添を含む）以外の死者	発見が遅れ、気づいた時は、火煙が回り、すでに逃げ道がなかったものと思われるもの。（全く気づかなかった場合を含む）	熟睡	7	30	5	13	3	9	67	148 (14.5)
		泥酔		4		1	2	1	8	
		病気・身体不自由	13	2	10	2			27	
		その他	7	17	1	15	2	4	46	
	判断力に欠け、あるいは体力的条件が悪く、ほとんど避難できなかったと思われるもの。	乳幼児							0	48 (4.7)
		泥酔		1					1	
		病気・身体不自由	20	6	7	2			35	
		老衰		1		4			5	
		その他		3		3		1	7	
	延焼拡大が早かった等のため、ほとんど避難ができなかったと思われるもの。	ガス爆発のため							0	11 (1.1)
		危険物燃焼のため		1		1			2	
		その他		3		3		3	9	
	逃げれば逃げられたが、逃げる機会を失ったと思われるもの。	狼狽して				1			1	48 (4.7)
		持出品・服装に気をとられ		1			1		2	
		火災をふれまわっているうちに		1	1				2	
		消火しようとして	2	11	1	15	2	2	33	
		人を救助しようとしていて							0	
		その他	4	2		3		1	10	
	避難行動を起こしているが、逃げ切れなかったと思われるもの。（一応自力避難したが、避難中火傷、ガス吸引し病院等で死亡した場合を含む）	身体不自由のため	32	2	17	1			52	160 (15.6)
		延焼拡大が早く		20	5	19	4	4	52	
		逃げ道を間違えて				2			2	
		出入口施錠のため		2					2	
		その他	5	24	1	12	8	2	52	
	一旦屋外避難後、再進入したと思われるもの。出火時屋外にいて、出火後進入したと思われるもの。	救助・物品搬出のため		1		5		1	7	16 (1.6)
		消火のため		1		2			3	
		その他		3		3			6	
	着衣着火し、火傷(熱傷)あるいはガス中毒により死亡したと思われるもの。	喫煙中	3	2		1			6	38 (3.7)
		炊事中		7	1	4	1	1	14	
		採暖中	1			1			2	
		たき火中							0	
		火遊び							0	
		その他火気取扱中	5		1	2			8	
		その他	1	1	1	3	1	1	8	
		その他								
	その他	上記以外の経過等	3	6		2	7	3	21	554 (54.2)
不明・調査中		44	226	26	120	75	42	533		
合 計		147	378	77	240	106	75	1,023		

(13) 発火源と出火箇所の関係

死者の発生した住宅火災における発火源と出火箇所の関係をみると、出火箇所が「居室」で発火源が「たばこ」での死者数が131人(12.8%)、「居室」と「ストーブ」が79人(7.7%)となっている。

発火源と出火箇所の関係(放火自殺者等を除く。)

発火源 出火箇所	た ば こ	ス ト ー ブ	電 気 器 具 類	こ ん ろ	ラ マ イ ツ タ チ ・	灯 ロ ー ソ ク 明 ・	こ た つ	風 呂 か ま ど	そ の 他	不 明	合 計
居 室	131 (12.8)	79 (7.7)	57 (5.6)	12 (1.2)	21 (2.1)	20 (2.0)	8 (0.8)	－	28 (2.7)	388 (37.9)	744 (72.7)
台 所	8 (0.8)	7 (0.7)	7 (0.7)	26 (2.5)	1 (0.1)	－	－	－	3 (0.3)	55 (5.4)	107 (10.5)
廊 下・階 段	1 (0.1)	2 (0.2)	－	－	3 (0.3)	－	－	－	1 (0.1)	12 (1.2)	19 (1.9)
玄関・ホール	1 (0.1)	－	1 (0.1)	1 (0.1)	－	－	－	－	2 (0.2)	14 (1.4)	19 (1.9)
食 事 室	－	5 (0.5)	－	－	－	－	－	－	－	6 (0.6)	11 (1.1)
浴室・洗面所	1 (0.1)	－	1 (0.1)	2 (0.2)	1 (0.1)	－	－	－	1 (0.1)	3 (0.3)	9 (0.9)
押 入・納 戸	－	1 (0.1)	－	－	－	－	－	－	1 (0.1)	7 (0.7)	9 (0.9)
そ の 他	2 (0.2)	1 (0.1)	13 (1.3)	2 (0.2)	1 (0.1)	1 (0.1)	－	1 (0.1)	14 (1.4)	26 (2.5)	61 (6.0)
不 明	－	－	－	－	－	－	－	－	1 (0.1)	43 (4.2)	44 (4.3)
合 計	144 (14.1)	95 (9.3)	79 (7.7)	43 (4.2)	27 (2.6)	21 (2.1)	8 (0.8)	1 (0.1)	51 (5.0)	554 (54.2)	1,023 (100.0)

(注)()内は死者全体に対する割合である。

(14) 発火源と着火物の関係

死者の発生した住宅火災における発火源と着火物の関係をみると、発火源が「たばこ」で着火物が「ふとん類」での死者が37人(3.6%)、「たばこ」と「屑類」の35人(3.4%)、「ストーブ」と「ふとん類」が25人(2.4%)の順となっている。

発火源と着火物の関係(放火自殺者等を除く。)

発火源 着火物	た ば こ	ス ト ー ブ	電 気 器 具 類	こ ん ろ	ラ マ イ ツ タ チ ・	灯 ロ ー ソ ク 明 ・	こ た つ	風 呂 か ま ど	そ の 他	不 明	合 計
ふ と ん 類	37 (3.6)	25 (2.4)	5 (0.5)	2 (0.2)	6 (0.6)	3 (0.3)	3 (0.3)	-	5 (0.5)	3 (0.3)	89 (8.7)
衣 類	2 (0.2)	24 (2.3)	4 (0.4)	18 (1.8)	3 (0.3)	6 (0.6)	-	-	3 (0.3)	4 (0.4)	64 (6.3)
内 装 ・ 建 具 類	17 (1.7)	3 (0.3)	14 (1.4)	2 (0.2)	-	1 (0.1)	-	-	13 (1.3)	5 (0.5)	55 (5.4)
屑 類	35 (3.4)	4 (0.4)	5 (0.5)	3 (0.3)	1 (0.1)	1 (0.1)	1 (0.1)	-	2 (0.2)	2 (0.2)	54 (5.3)
繊 維 類	8 (0.8)	11 (1.1)	1 (0.1)	4 (0.4)	3 (0.3)	2 (0.2)	3 (0.3)	-	2 (0.2)	2 (0.2)	36 (3.5)
紙 類	7 (0.7)	5 (0.5)	4 (0.4)	1 (0.1)	1 (0.1)	4 (0.4)	-	-	2 (0.2)	5 (0.5)	29 (2.8)
ガソリン・灯油類	-	8 (0.8)	-	-	5 (0.5)	-	-	-	2 (0.2)	11 (1.1)	26 (2.5)
カーテン・ じゅうたん類	7 (0.7)	2 (0.2)	5 (0.5)	-	-	-	1 (0.1)	-	1 (0.1)	2 (0.2)	18 (1.8)
家 具 類	7 (0.7)	1 (0.1)	4 (0.4)	-	1 (0.1)	3 (0.3)	-	-	-	1 (0.1)	17 (1.7)
ガ ス 類	1 (0.1)	1 (0.1)	-	-	-	-	-	-	1 (0.1)	1 (0.1)	4 (0.4)
天 ぷ ら 油 類	-	-	-	2 (0.2)	-	-	-	-	1 (0.1)	-	3 (0.3)
そ の 他	14 (1.4)	1 (0.1)	22 (2.2)	4 (0.4)	1 (0.1)	1 (0.1)	-	-	10 (1.0)	3 (0.3)	56 (5.5)
不 明	9 (0.9)	10 (1.0)	15 (1.5)	7 (0.7)	6 (0.6)	-	-	1 (0.1)	9 (0.9)	515 (50.3)	572 (55.9)
合 計	144 (14.1)	95 (9.3)	79 (7.7)	43 (4.2)	27 (2.6)	21 (2.1)	8 (0.8)	1 (0.1)	51 (5.0)	554 (54.2)	1,023 (100.0)

(注)()内は死者全体に対する割合である。

(15) 出火箇所と着火物の関係

死者の発生した住宅火災における出火箇所と着火物の関係をみると、出火箇所が「居室」で着火物が「ふとん類」での死者数が87人(8.5%)、「居室」と「屑類」が43人(4.2%)、「居室」と「衣類」が41人(4.0%)となっている。

出火箇所と着火物の関係(放火自殺者等を除く。)

出火箇所 着火物	居 室	台 所	廊 下 ・ 階 段	玄 関 ・ ホ ー ル	食 事 室	浴 室 ・ 洗 面 所	押 入 ・ 納 戸	そ の 他	不 明	合 計
ふ と ん 類	87 (8.5)	1 (0.1)	-	-	-	-	-	1 (0.1)	-	89 (8.7)
衣 類	41 (4.0)	18 (1.8)	1 (0.1)	-	-	2 (0.2)	1 (0.1)	1 (0.1)	-	64 (6.3)
内装・建具類	35 (3.4)	4 (0.4)	1 (0.1)	-	-	2 (0.2)	1 (0.1)	12 (1.2)	-	55 (5.4)
屑 類	43 (4.2)	5 (0.5)	1 (0.1)	-	1 (0.1)	1 (0.1)	-	3 (0.3)	-	54 (5.3)
繊 維 類	27 (2.6)	4 (0.4)	3 (0.3)	1 (0.1)	1 (0.1)	-	-	-	-	36 (3.5)
紙 類	21 (2.1)	2 (0.2)	-	1 (0.1)	-	-	2 (0.2)	3 (0.3)	-	29 (2.8)
ガソリン・灯油類	15 (1.5)	-	-	6 (0.6)	3 (0.3)	-	-	2 (0.2)	-	26 (2.5)
カーテン・ じゅうたん類	17 (1.7)	1 (0.1)	-	-	-	-	-	-	-	18 (1.8)
家 具 類	16 (1.6)	-	-	-	1 (0.1)	-	-	-	-	17 (1.7)
ガ ス 類	3 (0.3)	1 (0.1)	-	-	-	-	-	-	-	4 (0.4)
天 ぷ ら 油 類	-	2 (0.2)	-	-	-	-	-	1 (0.1)	-	3 (0.3)
そ の 他	35 (3.4)	5 (0.5)	-	1 (0.1)	-	3 (0.3)	-	11 (1.1)	1 (0.1)	56 (5.5)
不 明	404 (39.5)	64 (6.3)	13 (1.3)	10 (1.0)	5 (0.5)	1 (0.1)	5 (0.5)	27 (2.6)	43 (4.2)	572 (55.9)
合 計	744 (72.7)	107 (10.5)	19 (1.9)	19 (1.9)	11 (1.1)	9 (0.9)	9 (0.9)	61 (6.0)	44 (4.3)	1,023 (100.0)

(注)()内は死者全体に対する割合である。

4 住宅火災による負傷者数

(1) 建物火災による負傷者のうち住宅火災による負傷者数

建物火災による負傷者数(放火を除く。)は4,513人(前年比60人減)で、このうち住宅火災による負傷者は3,223人(前年比90人減)(71.4%)(前年72.4%)である。

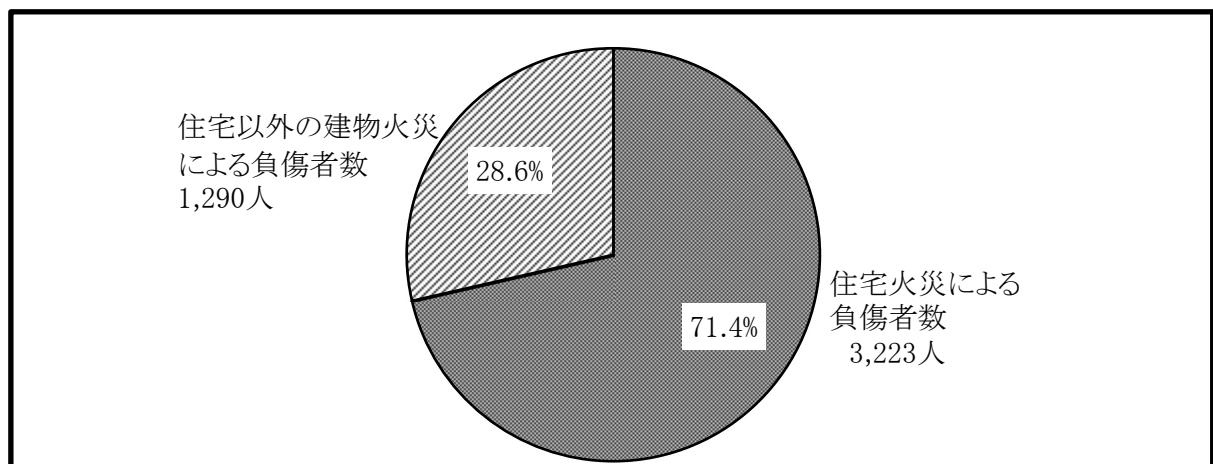
また、住宅火災による負傷者数のうち2,196人(前年比60人減)(68.1%)(前年68.1%)は一般住宅において発生している。

建物火災の負傷者のうち住宅火災による負傷者数(放火を除く。)

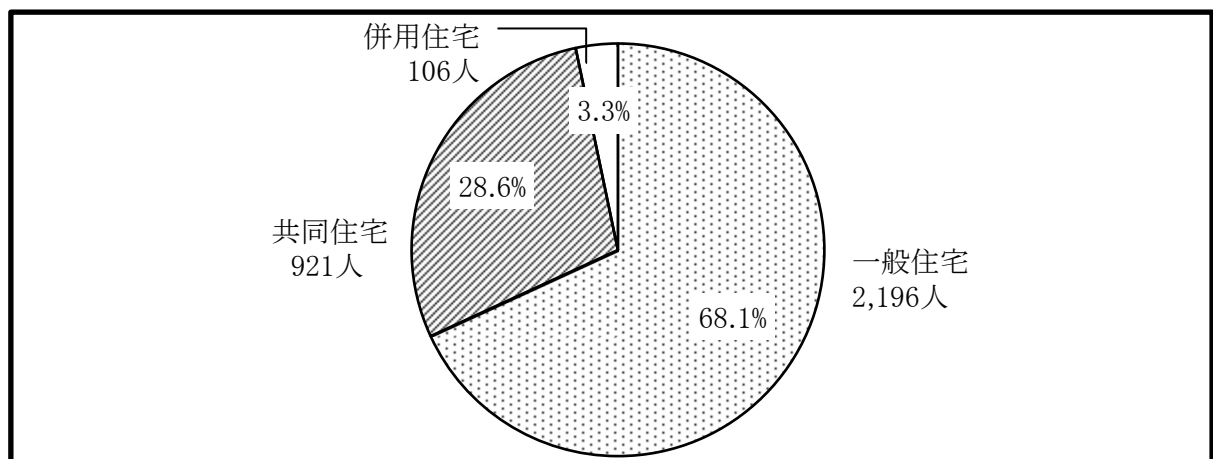
建物火災による 負傷者数(人)	住宅火災による負傷者数(人)				住宅以外の建物火災 による負傷者数(人)
	合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅	
4,513	3,223	2,196	921	106	1,290
100.0%	71.4%	[68.1%]	[28.6%]	[3.3%]	28.6%

(注)[]は、住宅火災による負傷者数(3,223人)に占める割合。

建物火災による負傷者発生状況(放火を除く。)



住宅形態別の負傷者発生状況(放火を除く。)



(2) 発火源別負傷者数

負傷者の発生した住宅火災の発火源は、「こんろ」によるものが689人(21.4%)と最も多く、次いで「電気器具類」によるもの444人(13.8%)、「ストーブ」によるもの394人(12.2%)となっている。

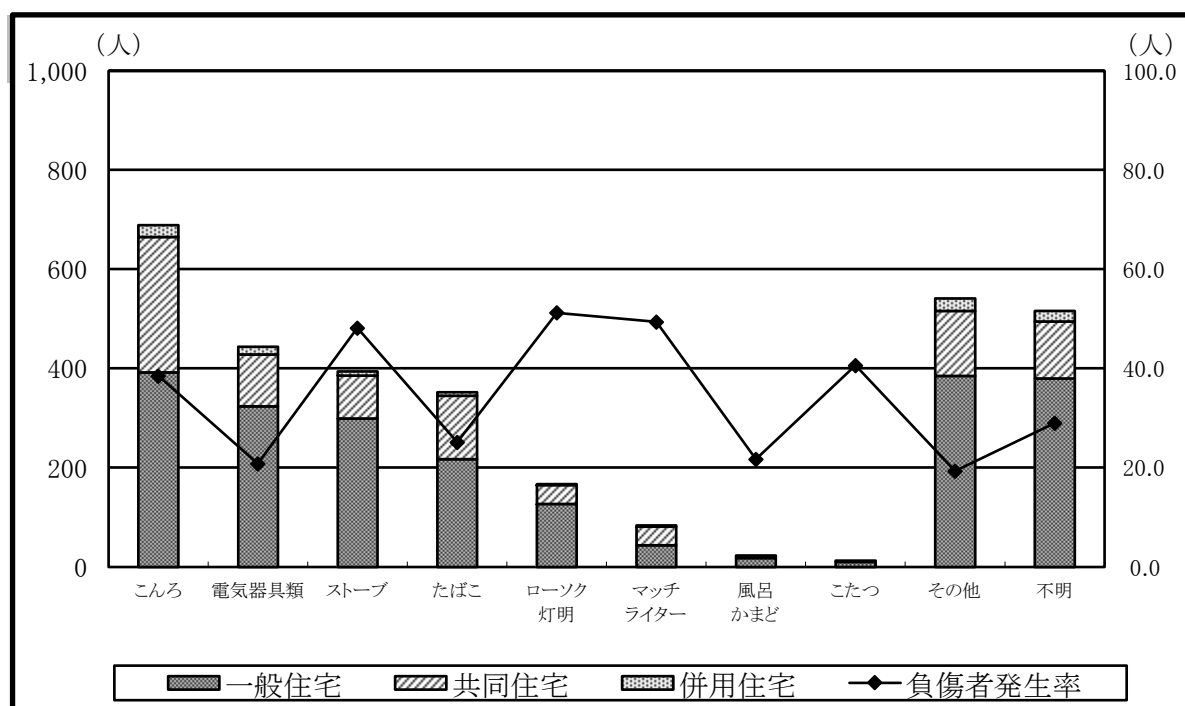
負傷者の発生率をみると、「ローソク・灯明」によるもの167人(51.2人)が、発生件数の割に多くなっている。

発火源別負傷者数(放火を除く。)

発火源	区分	建物火災 (人)	住宅火災(人)				住宅火災 件数	負傷者 発生率
			合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅		
こ　　ん　　ろ		940	689	392	273	24	1,792	38.4
電　　気　　器　　具　　類		640	444	324	104	16	2,136	20.8
ス　　ト　　ー　　ブ		445	394	299	87	8	818	48.2
た　　ば　　こ		419	352	217	128	7	1,401	25.1
ロ　ー　ソ　ク・灯　明		191	167	127	38	2	326	51.2
マ　ッ　チ・ライ　ター		129	84	44	37	3	170	49.4
風　　呂　　か　　ま　　ど		24	23	18	5	0	106	21.7
こ　　た　　つ		14	13	10	3	0	32	40.6
そ　　の　　他		1,041	541	385	131	25	2,799	19.3
不　　明		670	516	380	115	21	1,781	29.0
合　　計		4,513	3,223	2,196	921	106	11,361	28.4

(注)負傷者発生率は、住宅火災100件当たりの負傷者数を示す。

発火源別負傷者数(放火を除く。)



(3) 着火物別負傷者数

負傷者の発生した住宅火災の着火物は、「衣類」が442人(13.7%)で最も多く、次いで「屑類」279人(8.7%)、「ふとん類」254人(7.9%)の順になっている。

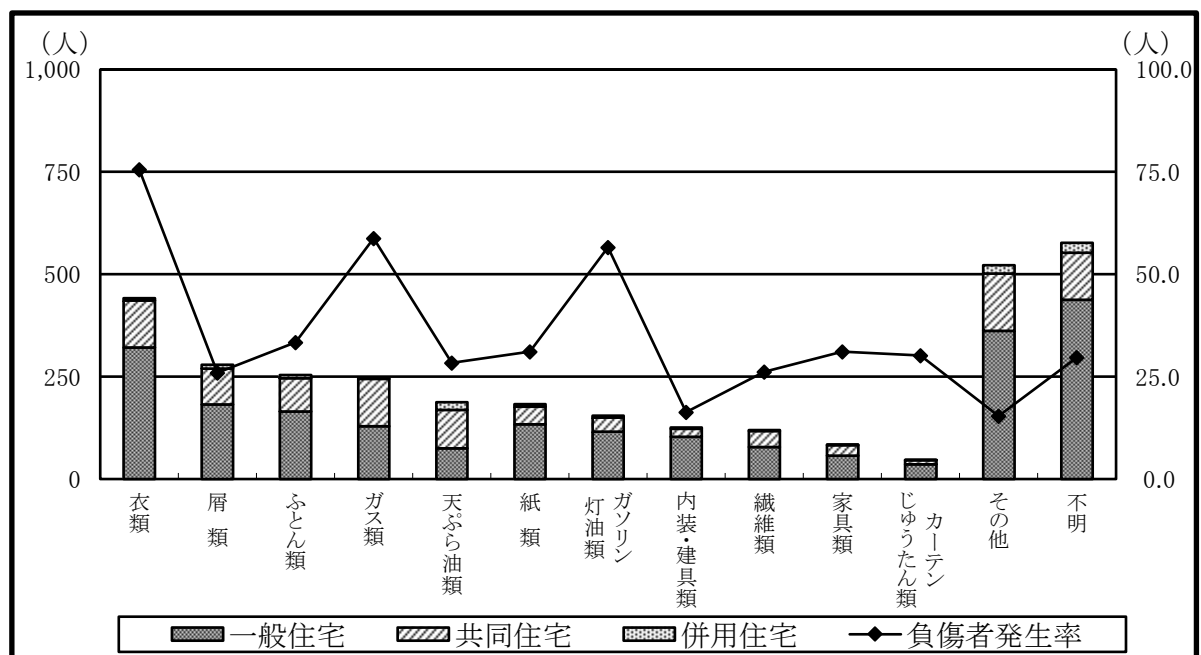
負傷者の発生率をみると「衣類」を着火物とする負傷者数が多くなっている。

着火物別負傷者数(放火を除く。)

着火物	区分	建物火災 (人)	住宅火災(人)				住宅火災 件数	負傷者 発生率
			合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅		
衣類	類	538	442	321	115	6	585	75.6
屑	類	374	279	182	88	9	1,076	25.9
ふとん	類	310	254	165	81	8	761	33.4
ガス	類	394	246	129	116	1	419	58.7
天ぷら油	類	396	188	75	94	19	664	28.3
紙	類	240	183	134	43	6	589	31.1
ガソリン・灯油	類	297	155	116	34	5	274	56.6
内装・建具	類	158	126	103	20	3	771	16.3
繊維	類	157	120	78	39	3	459	26.1
家具	類	90	84	57	26	1	270	31.1
カーテン・じゅうたん	類	53	47	36	10	1	156	30.1
その他		796	522	362	140	20	3,391	15.4
不明		710	577	438	115	24	1,946	29.7
合計		4,513	3,223	2,196	921	106	11,361	28.4

(注) 負傷者発生率は、住宅火災100件当たりの負傷者数を示す。

着火物別負傷者数(放火を除く。)



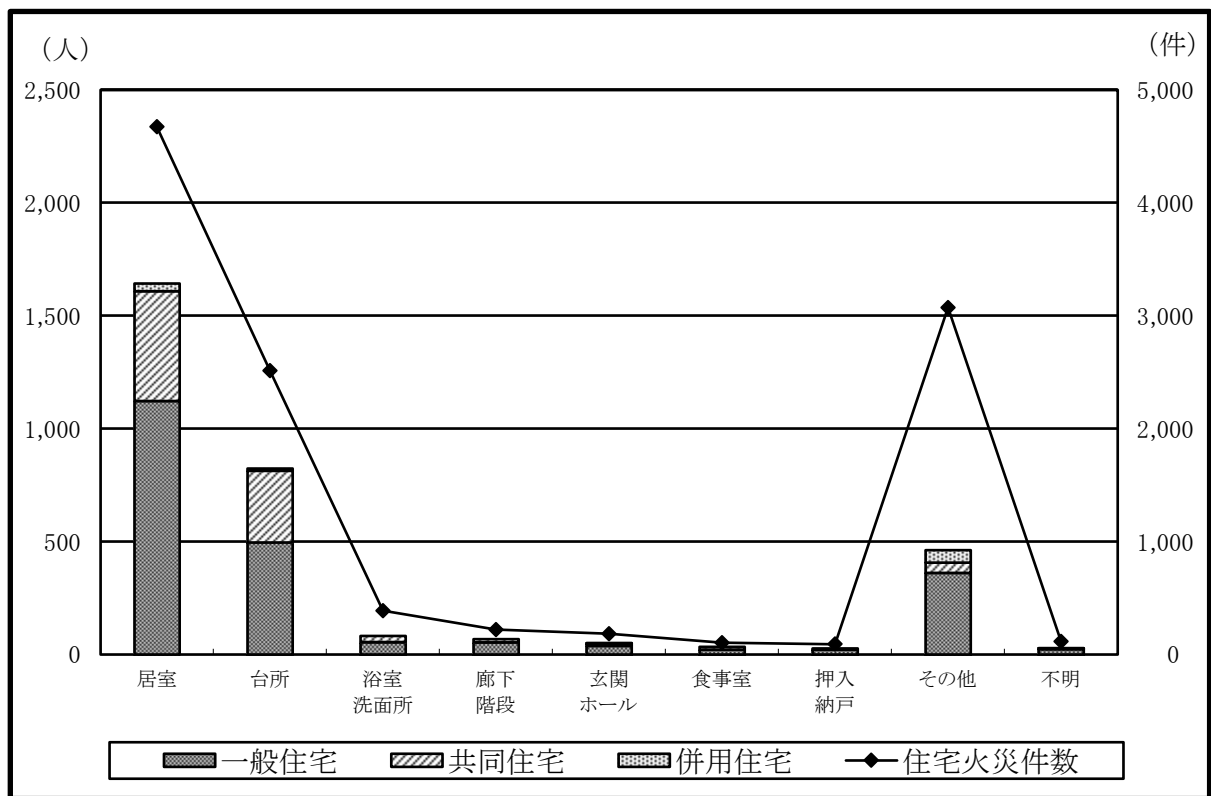
(4) 出火箇所別負傷者数

負傷者の発生した住宅火災の出火箇所は、多いものから「居室」の1,642人(50.9%)、「台所」の824人(25.6%)と前年と同じ順であり、上位2箇所で2,466人と全体の8割近く(76.5%)を占めている。

出火箇所別負傷者数(放火を除く。)

出火箇所	区分	建物火災 (人)	住宅火災(人)				住宅火災 件数
			合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅	
居 室		1,803	1,642	1,122	486	34	4,671
台 所		895	824	496	317	11	2,512
浴 室・洗 面 所		93	82	55	27	0	389
廊 下・階 段		80	69	54	15	0	220
玄 関・ホ ー ル		62	52	39	10	3	185
食 事 室		41	35	22	13	0	104
押 入・納 戸		33	28	22	6	0	92
そ の 他		1,452	462	361	46	55	3,071
不 明		54	29	25	1	3	117
合 計		4,513	3,223	2,196	921	106	11,361

出火箇所別負傷者数(放火を除く。)



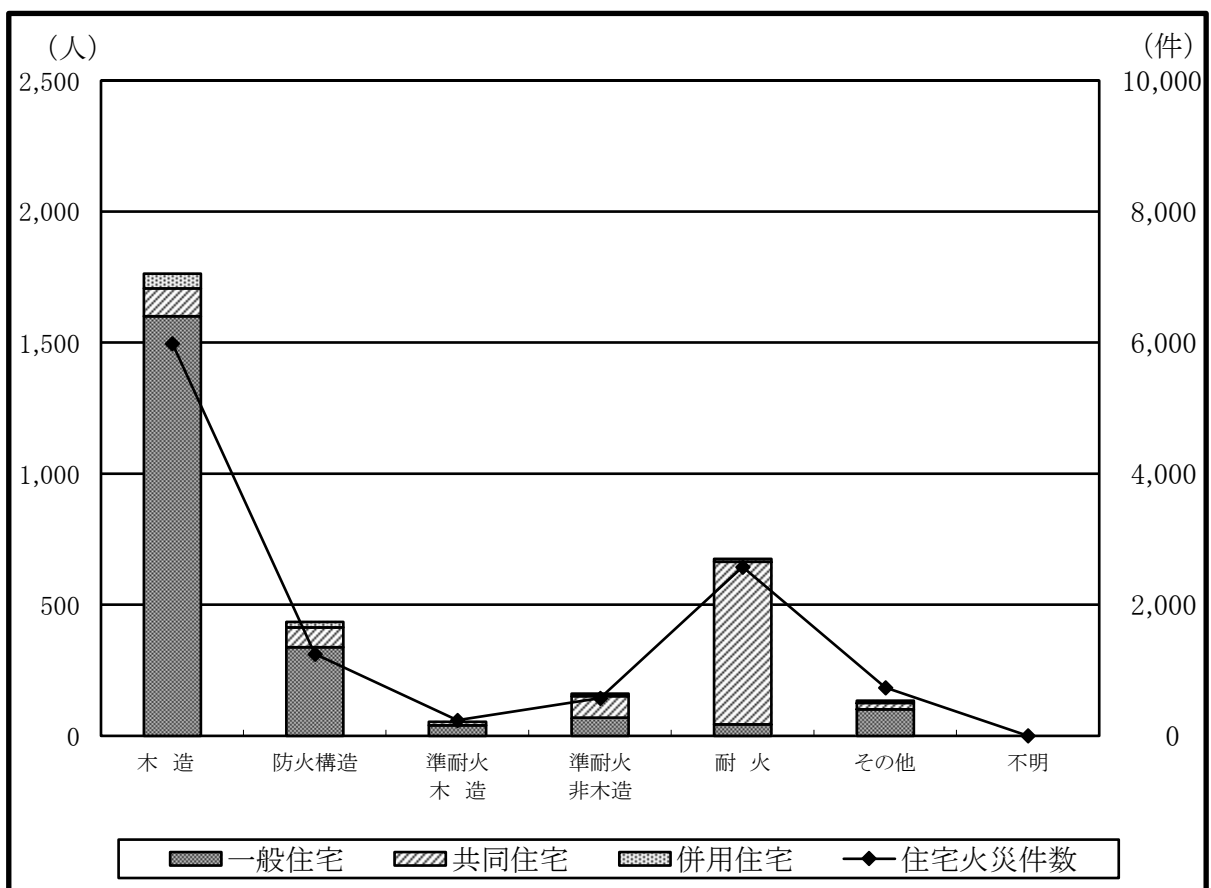
(5) 建物構造別負傷者数

住宅火災の建物構造別負傷者発生状況は、「木造建築物」が1,763人(前年比98人減)と負傷者全体の54.7%(前年56.2%)を占めている。

建物構造別負傷者数(放火を除く。)

建物構造	建物火災 (人)	住宅火災(人)				住宅火災 件数
		合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅	
木 造 建 築 物	1,962	1,763	1,601	106	56	5,987
防 火 構 造 建 築 物	531	435	338	76	21	1,249
準耐火木造建築物	88	54	41	13	0	237
準耐火非木造建築物	393	161	70	81	10	575
耐 火 建 築 物	1,209	676	44	621	11	2,577
そ の 他	285	134	102	24	8	735
不 明	45	0	0	0	0	1
合 計	4,513	3,223	2,196	921	106	11,361

建物構造別負傷者数(放火を除く。)



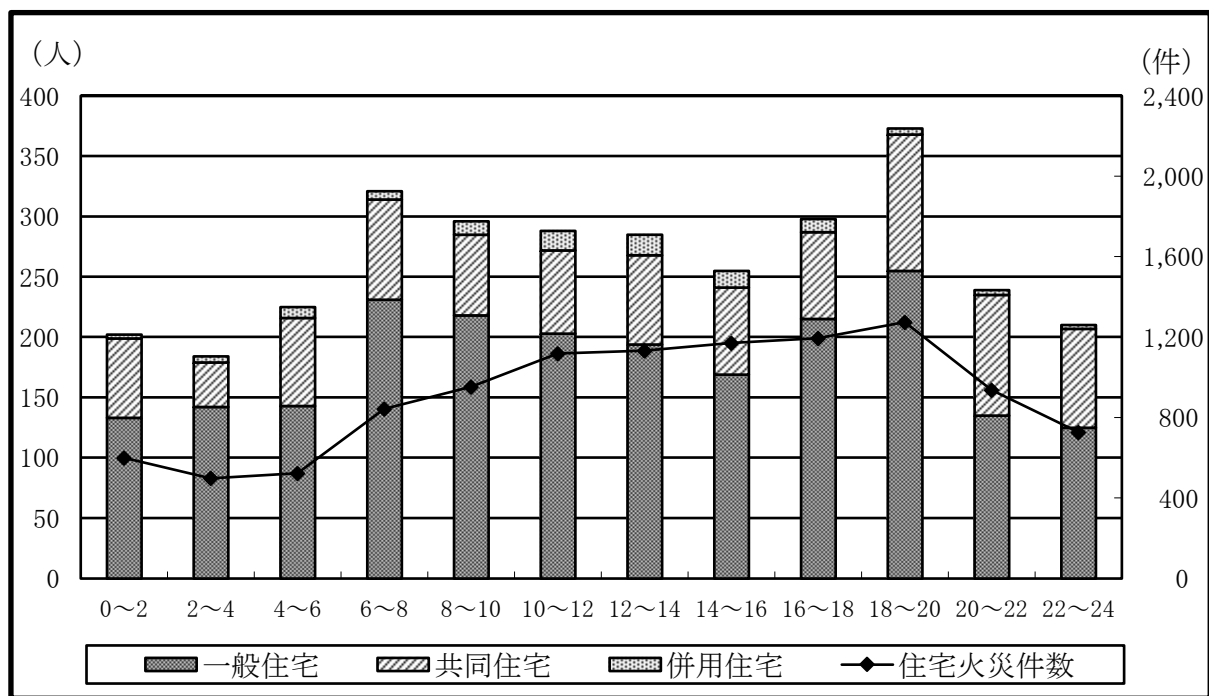
(6) 時間帯別負傷者数

住宅火災の時間帯別負傷者発生状況は、「18時から20時」が最も多く373人(11.6%)となっている。次いで「6時から8時」の321人(10.0%)、「16時から18時」の298人(9.2%)となっており、朝食、夕飯準備及び夕食の時間帯に多く発生している。

時間帯別負傷者数(放火を除く。)

区分 時間帯	建物火災 (人)	住宅火災(人)				住宅火災 件数
		合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅	
0 ～ 2	251	202	133	66	3	599
2 ～ 4	227	184	142	37	5	498
4 ～ 6	271	225	143	73	9	522
6 ～ 8	369	321	231	83	7	843
8 ～ 10	440	296	218	67	11	952
10 ～ 12	491	288	203	69	16	1,118
12 ～ 14	434	285	194	74	17	1,133
14 ～ 16	424	255	169	72	14	1,171
16 ～ 18	438	298	215	72	11	1,195
18 ～ 20	484	373	255	113	5	1,274
20 ～ 22	346	239	135	100	4	937
22 ～ 24	278	210	125	82	3	726
不 明	60	47	33	13	1	393
合 計	4,513	3,223	2,196	921	106	11,361

時間帯別負傷者数(放火を除く。)



(注) 時間帯の不明は除く。

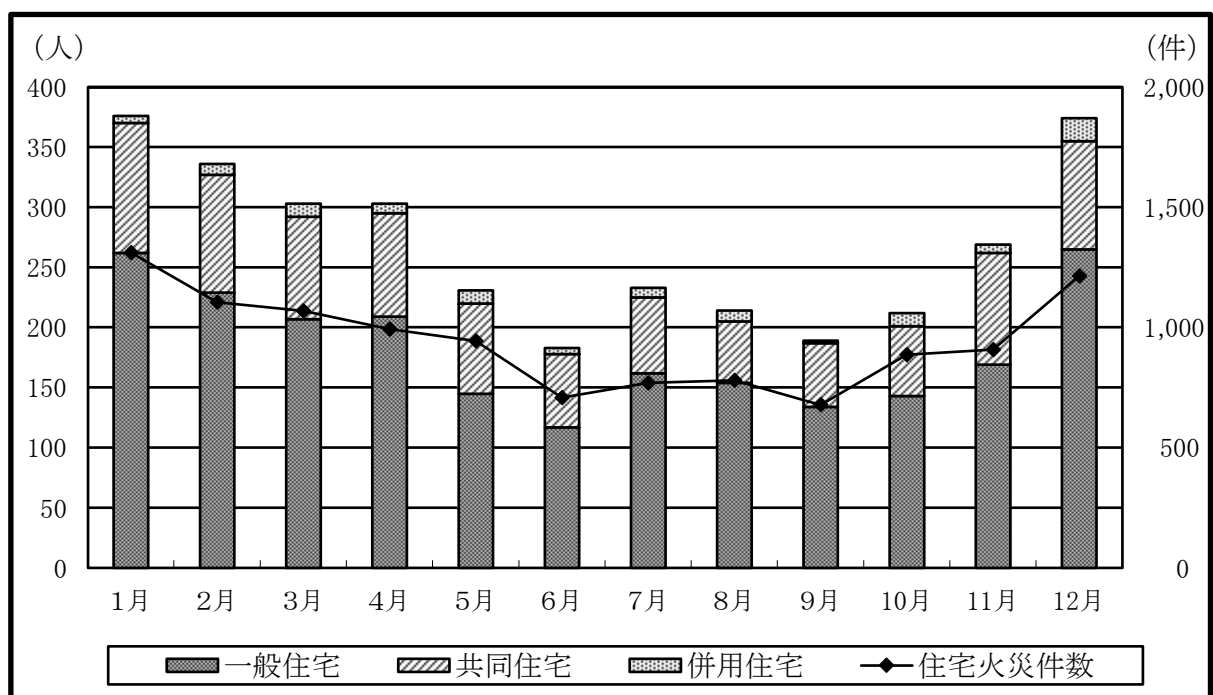
(7) 月別負傷者数

住宅火災の月別負傷者発生状況は、概ね住宅火災件数と比例して、「1月」から「4月」及び「12月」に多く、全体の52.5%(前年54.4%)にあたる1,692人(前年比109人減)の負傷者が発生している。

月別負傷者数(放火を除く。)

月	区分	建物火災 (人)	住宅火災(人)				住宅火災 件数
			合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅	
1 月		499	376	262	108	6	1,311
2 月		451	336	229	98	9	1,104
3 月		425	303	207	85	11	1,069
4 月		413	303	209	86	8	992
5 月		319	231	145	75	11	943
6 月		285	183	117	61	5	708
7 月		351	233	162	63	8	769
8 月		312	214	154	51	9	780
9 月		282	189	134	53	2	678
10 月		300	212	143	58	11	886
11 月		386	269	169	93	7	908
12 月		490	374	265	90	19	1,213
合 計		4,513	3,223	2,196	921	106	11,361

月別負傷者数(放火を除く。)



(8) 都道府県別負傷者数

住宅火災による負傷者数の多い都道府県は、「東京都(403人)」、「大阪府(249人)」、次いで「神奈川県(226人)」の順となっており、少ない都道府県は、「鳥取県(8人)」、「徳島県(10人)」、「福井県(15人)」の順となっている。

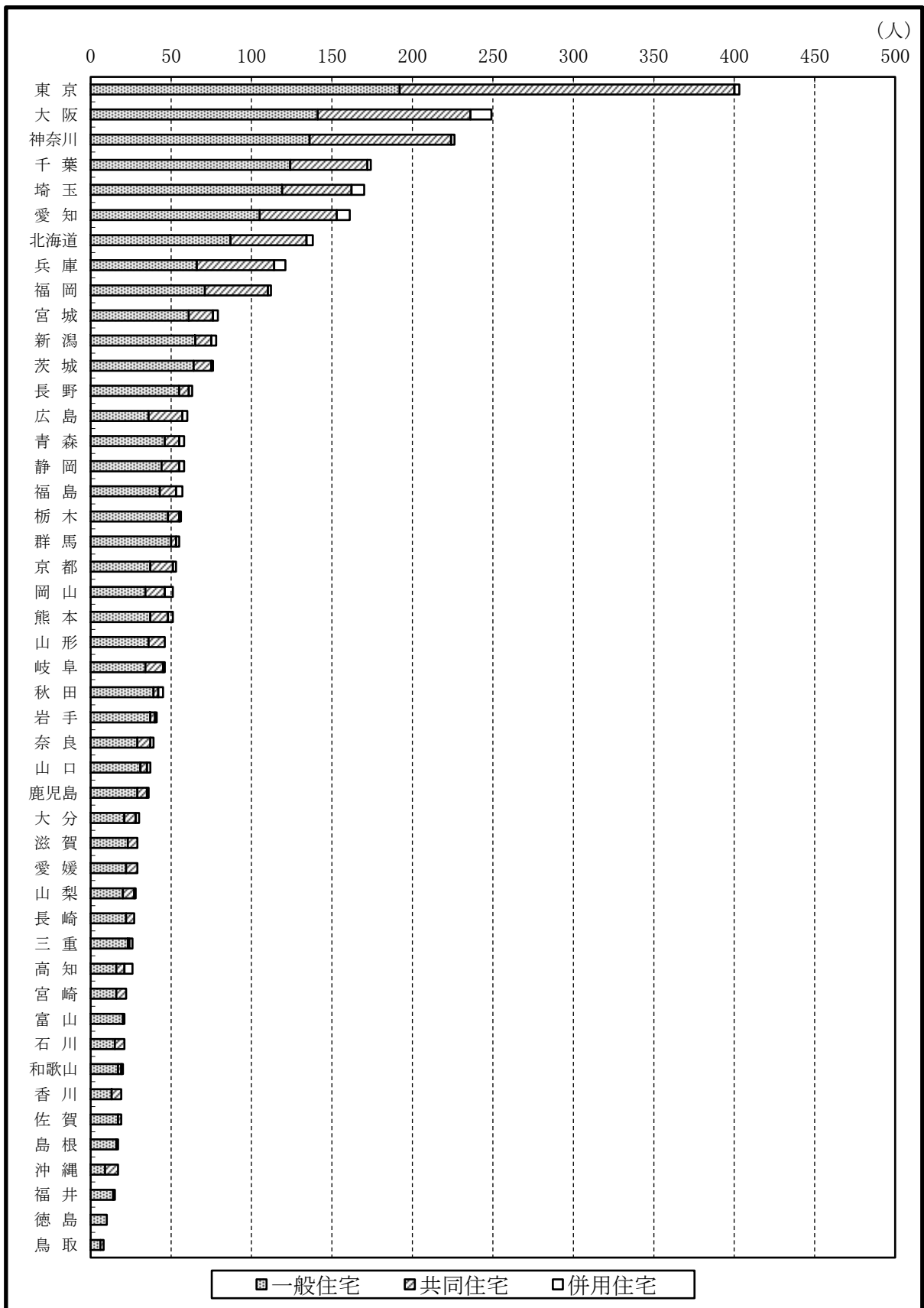
また、10万世帯当たりの負傷者数は、「山形県」の10.9人が最も多く、次いで「秋田県」の10.6人、「青森県」の9.8人になっている。

都道府県別負傷者数(放火を除く。)

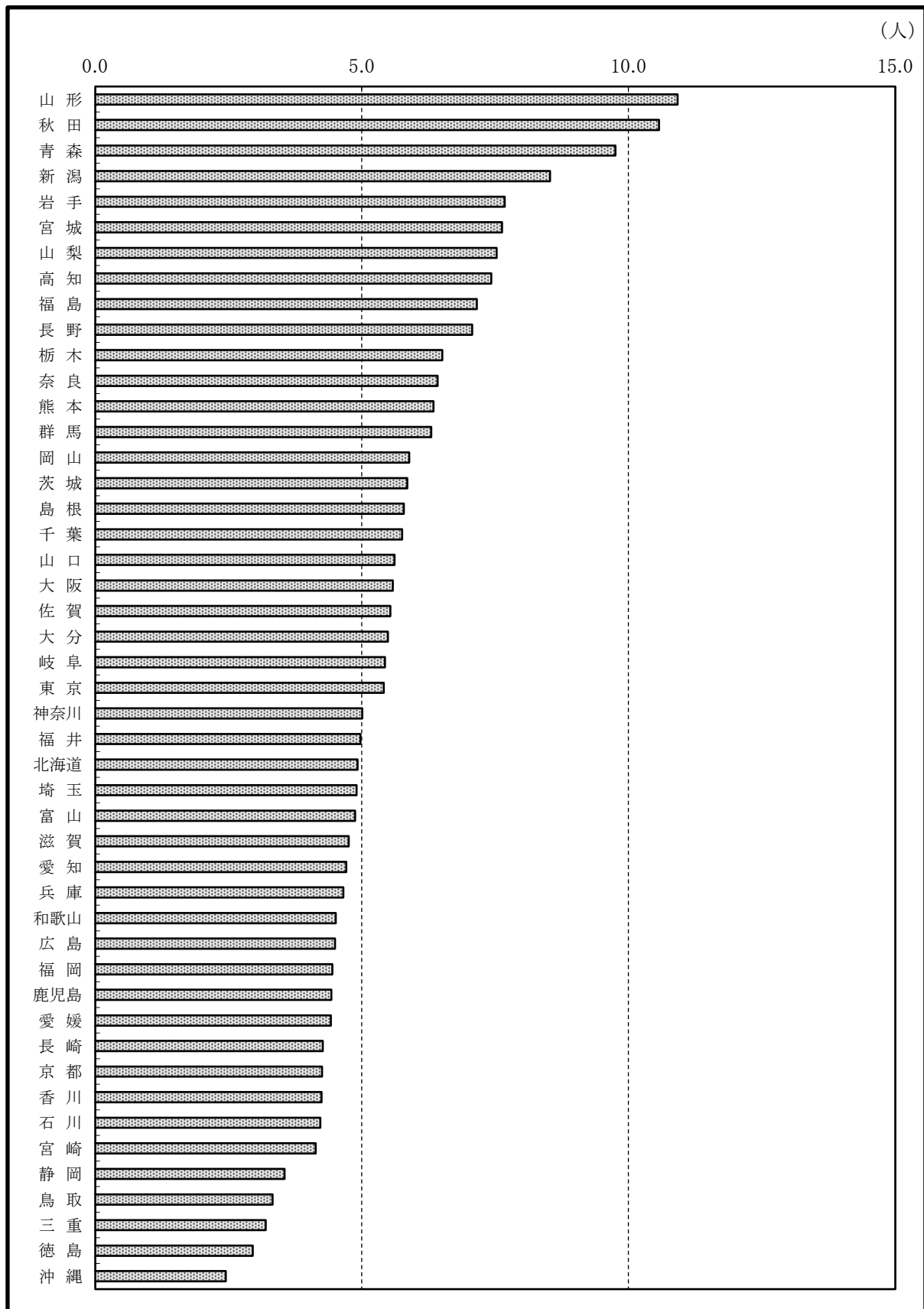
都道府県名	建物火災 (人)	住宅火災(人)				10万世帯当 たりの負傷者数	世帯数
		合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅		
北海道	189	138	87	47	4	4.9	2,804,281
青 森	69	58	46	9	3	9.8	594,597
岩 手	50	41	37	3	1	7.7	533,908
宮 城	89	79	61	15	3	7.6	1,035,949
秋 田	56	45	39	3	3	10.6	425,607
山 形	57	46	36	10	0	10.9	421,275
福 島	87	57	43	10	4	7.2	796,575
茨 城	93	76	64	11	1	5.9	1,298,834
栃 木	74	56	48	7	1	6.5	860,314
群 馬	75	55	50	3	2	6.3	872,782
埼 玉	236	170	119	43	8	4.9	3,470,089
千 葉	217	174	124	48	2	5.8	3,023,394
東 京	681	403	192	208	3	5.4	7,451,051
神奈川	293	226	136	88	2	5.0	4,512,592
新 潟	91	78	65	10	3	8.5	914,487
富 山	27	21	20	0	1	4.9	431,110
石 川	35	21	15	6	0	4.2	497,350
福 井	23	15	14	1	0	5.0	301,715
山 梨	32	28	20	7	1	7.5	371,974
長 野	89	63	55	6	2	7.1	891,350
岐 阜	79	46	34	11	1	5.4	846,707
静 岡	97	58	44	11	3	3.6	1,632,671
愛 知	240	161	105	48	8	4.7	3,421,030
三 重	36	26	23	1	2	3.2	812,795
滋 賀	39	29	23	6	0	4.8	610,361
京 都	69	53	37	14	2	4.3	1,246,024
大 阪	382	249	141	95	13	5.6	4,462,498
兵 庫	170	121	66	48	7	4.7	2,601,174
奈 良	49	39	29	8	2	6.4	607,397
和歌山	30	20	17	2	1	4.5	443,470
鳥 取	13	8	6	2	0	3.3	240,643
島 根	19	17	16	1	0	5.8	293,719
岡 山	63	51	34	12	5	5.9	866,346
広 島	85	60	36	21	3	4.5	1,334,658
山 口	47	37	31	4	2	5.6	659,439
徳 島	21	10	10	0	0	3.0	338,467
香 川	23	19	13	6	0	4.2	447,775
愛 媛	41	29	22	7	0	4.4	656,678
高 知	28	26	16	5	5	7.4	350,142
福 岡	163	112	71	39	2	4.4	2,519,442
佐 賀	21	19	17	2	0	5.5	343,375
長 崎	34	27	22	5	0	4.3	632,920
熊 本	64	51	37	11	3	6.3	803,966
大 分	38	30	21	7	2	5.5	546,685
宮 崎	31	22	16	6	0	4.1	532,172
鹿児島	44	36	29	6	1	4.4	812,740
沖 縄	24	17	9	8	0	2.5	693,790
合 計	4,513	3,223	2,196	921	106	5.3	60,266,318

(注) 世帯数は、令和5年1月1日現在の住民基本台帳による。

都道府県別負傷者数(放火を除く。)



都道府県別10万世帯当たりの負傷者数(放火を除く。)



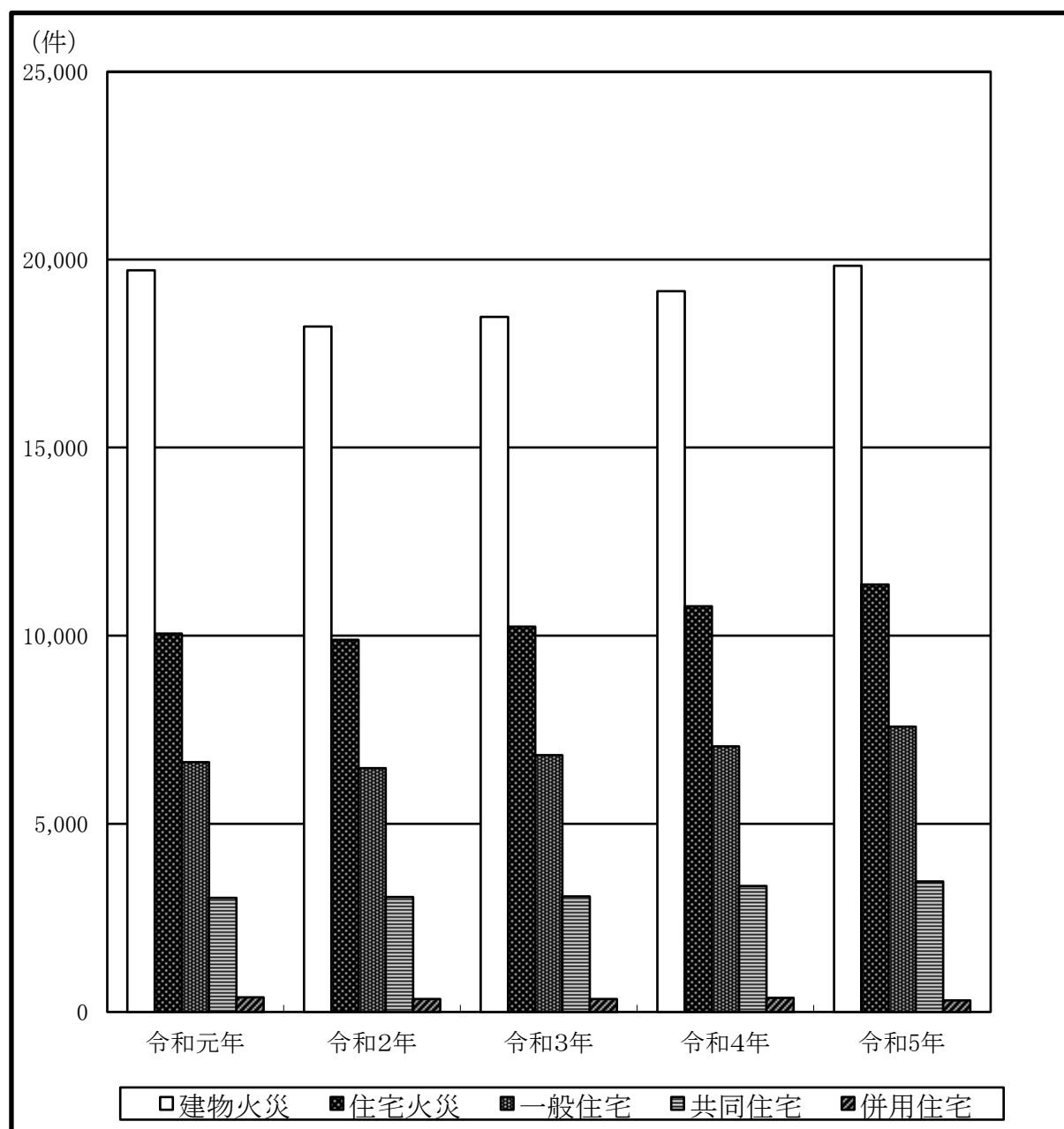
5 3名以上の死者が発生した住宅火災

番号	月 日	状 況
1	1月 22日	兵庫県神戸市兵庫区の共同住宅より出火。死者4人。負傷者4人。
2	1月 24日	茨城県行方市の住宅より出火。死者4人。
3	1月 28日	愛知県稲沢市の住宅より出火。死者3人。
4	3月 18日	長野県長野市の住宅より出火。死者3人。
5	4月 1日	三重県桑名市の住宅より出火。死者3人。
6	4月 13日	青森県六戸町の住宅より出火。死者5人。負傷者2人。
7	4月 29日	埼玉県川越市の住宅より出火。死者3人。
8	9月 11日	岡山県岡山市北区の共同住宅より出火。死者3人。
9	11月 9日	鳥取県日南町の住宅より出火。死者3人。
10	12月 29日	北海道伊達市の共同住宅より出火。死者3人。

(参考資料 1)

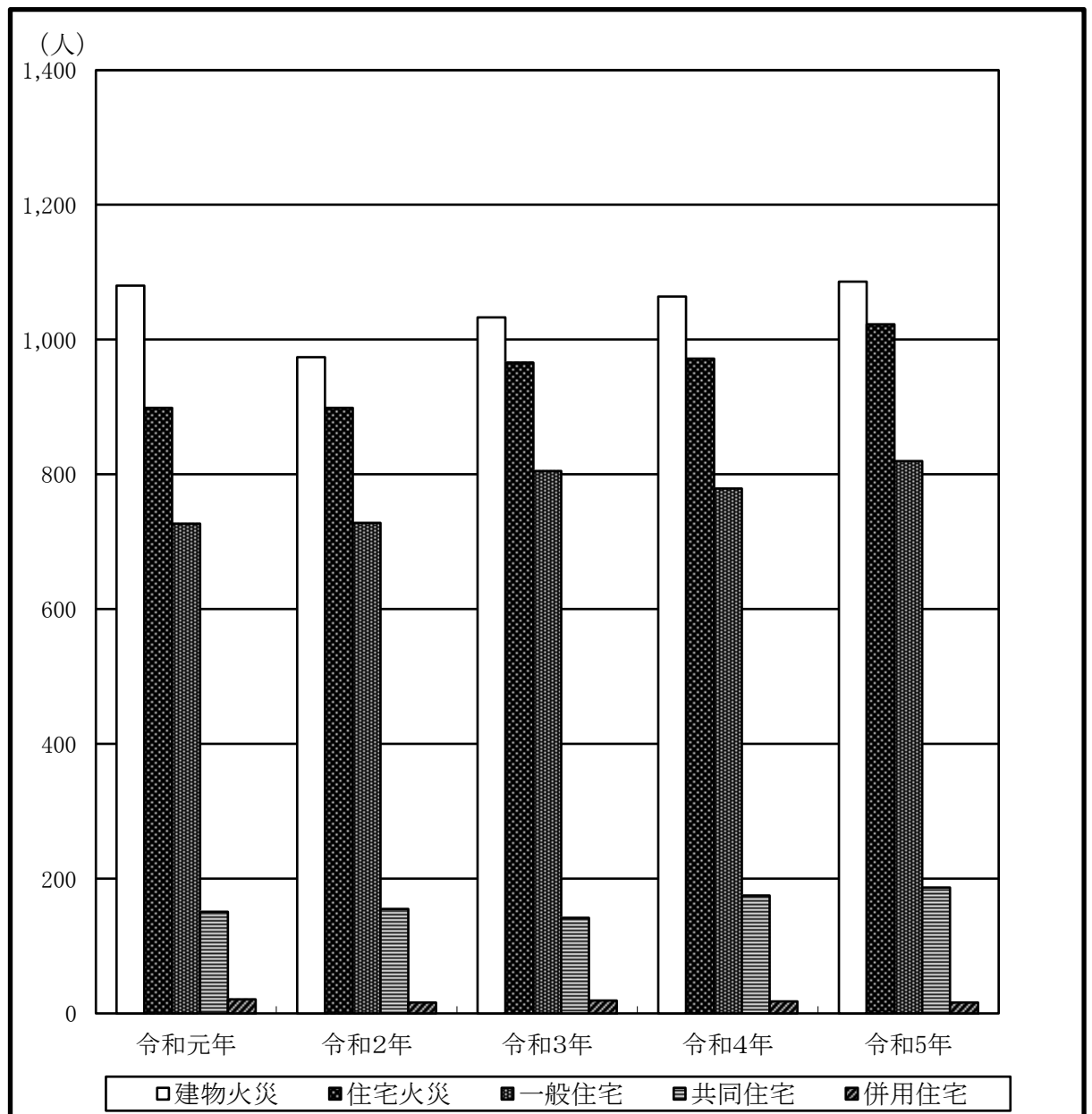
過去5年間の出火件数の推移(放火を除く。)

種 別 \ 年		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
建 物 火 災	建 物 火 災	19,716	18,216	18,477	19,155	19,834
	住 宅 火 災	10,058	9,890	10,243	10,783	11,361
	一 般 住 宅	6,642	6,485	6,824	7,058	7,586
	共 同 住 宅	3,030	3,058	3,073	3,351	3,469
	併 用 住 宅	386	347	346	374	306



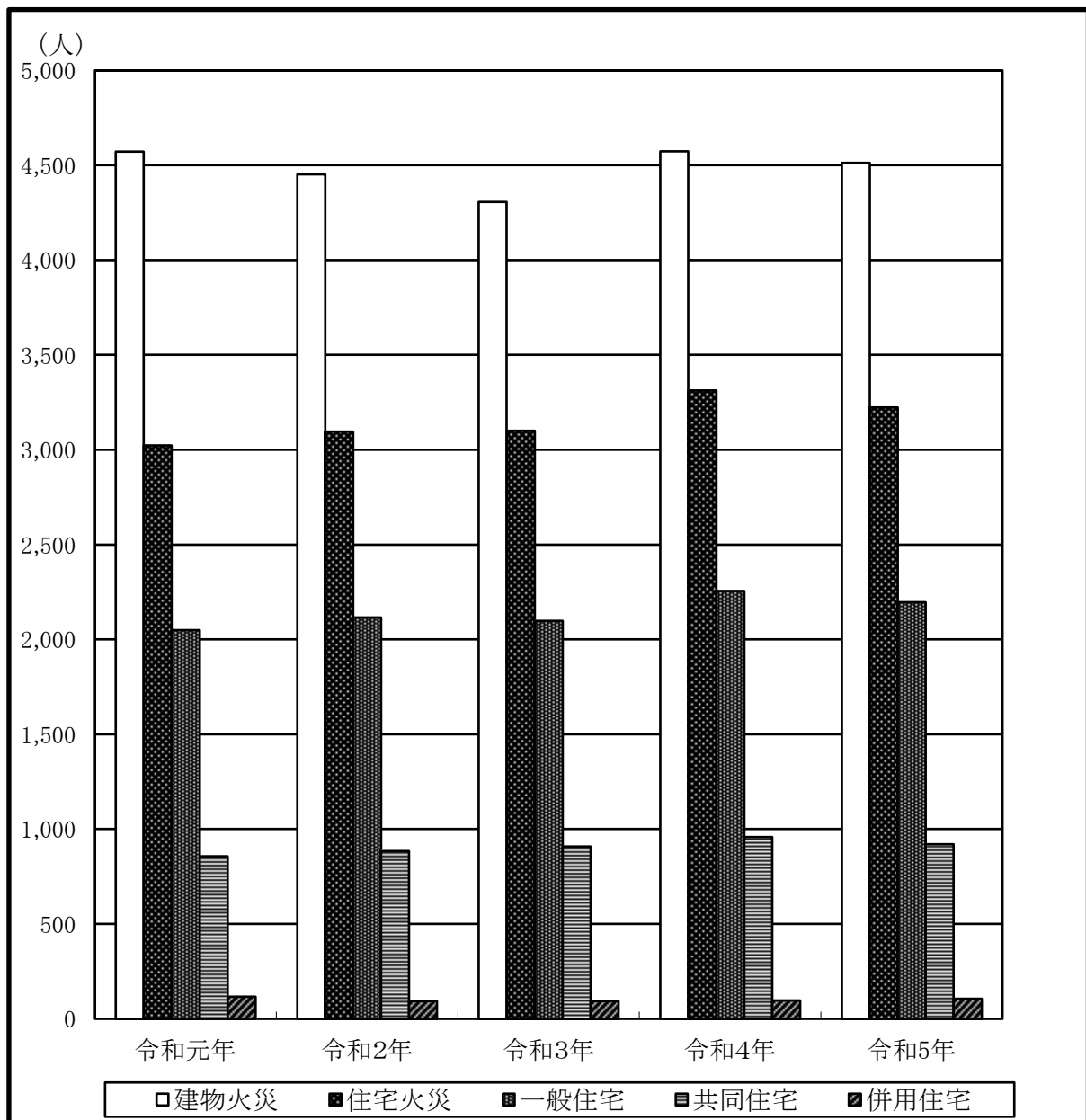
過去5年間の死者の推移(放火自殺者等を除く。)

種 別 \ 年		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
建 物 火 災	建 物 火 災	1,080	974	1,033	1,064	1,086
	住 宅 火 災	899	899	966	972	1,023
	一 般 住 宅	727	728	805	779	820
	共 同 住 宅	151	155	142	175	187
	併 用 住 宅	21	16	19	18	16



過去5年間の負傷者の推移(放火を除く。)

種 別 \ 年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
建 物 火 災	4,571	4,452	4,306	4,573	4,513
住 宅 火 災	3,023	3,096	3,101	3,313	3,223
一 般 住 宅	2,049	2,117	2,098	2,256	2,196
共 同 住 宅	857	885	909	959	921
併 用 住 宅	117	94	94	98	106



(参考資料 2)

本資料は、「火災報告取扱要領」(平成6年4月21日消防災第100号)の「別表第3 出火原因分類表」及び「別表第7 出火箇所分類表」のコード番号を用い、次により分類している。

(1) 発火源分類

住宅火災の発火源分類				出火原因分類表第1表の分類	
たばこ				たばこ(4201)	
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー				マッチ(4202),ライター(4203)	
こ ん ろ	電		気	電気こんろ(1101),電磁調理器(1127),電磁調理器(1206),電気クッキングヒータ(1209)	
	ガ ス	都 市 ガ ス		ガスこんろ(2101),ガステーブル(2102),大型こんろ(2302)	
		プロパンガス		ガスこんろ(2201),ガステーブル(2202),簡易型ガスこんろ(カセット型)(2203),大型こんろ(2402)	
	石 油		等	石油・ガソリンこんろ(2501)	
	そ の		他	アルコールこんろ(2526),七輪こんろ(3101),まきこんろ(3201),石炭こんろ(3301),こんろの火の粉(4306)	
ス ト ー ブ	電		気	電気ストーブ・火鉢(開放式)(1102),電気ストーブ・火鉢(半密閉式)(1103),電気ストーブ・火鉢(密閉式)(1104)	
	ガ ス	都 市 ガ ス		ガスストーブ(開放式)(2103),ガスストーブ(半密閉式)(2104),ガスストーブ(密閉式)(2105)	
		プロパンガス		ガスストーブ(開放式)(2204),ガスストーブ(半密閉式)(2205),ガスストーブ(密閉式)(2206)	
	石 油		等	石油・ガソリンストーブ(開放式)(2502),石油・ガソリンストーブ(半密閉式)(2503),石油・ガソリンストーブ(密閉式)(2504),油ストーブ(開放式)(2602),油ストーブ(半密閉式)(2603),油ストーブ(密閉式)(2604)	
	そ の		他	まきストーブ(3202),石炭ストーブ(3402),ストーブの火の粉(4310)	
こ た つ				電気こたつ(1105),炭たどん(練炭),こたつ(3106)	
ロ ー ソ ク ・ 灯 明				ローソク(2701),ちょうちん・灯ろう(2702),灯明(2703)	
電 気 器 具 類				電気機器(電池類,家庭電化製品,OA機器等)(1301～1366,1379～1382,1399) 電気装置(モータ,コンデンサー,制御盤,燃料電池等)(1401～1499) 電灯電話等の配線(送電線,配電線,引込線等)(1501～1517,1599) 配線器具(スイッチ,安全器,ソケット等)(1601～1699)	
風 呂 か ま ど	ガ ス	都 市 ガ ス		可動かまど・風呂かまど(2109),固定式風呂かまど(2306)	
		プロパンガス		可動かまど・風呂かまど(2210),固定式風呂かまど(2406)	
	石 油		等	可動油風呂かまど(2508),固定式油風呂かまど(2608)	
	そ の		他	まき風呂かまど(3206),石炭風呂かまど(3406),風呂かまどの火の粉(4311)	
不 明				不明(0009)	
そ の 他				上記以外	

(2) 着火物分類

住宅火災の着火物分類			出火原因分類表第3表の分類	
ふとん		類	ふとん・座布団・寝具(253)	
衣		類	衣類(252)	
繊維		類	繊維原料(251),繊維製品(254),わら及びわら製品(256),その他(259)	
紙		類	袋及び紙製品(255)	
内装・建具類	壁軸	組	合成樹脂壁(120),木づくり(121),板張ベニヤ(122),モルタル(123),しっくい(124),テックス(125),柱・けた・はり(128),その他(129)	
	床		合成樹脂床(130),畳(131),板張(132)	
	天井	井	小屋組材(141),板張(142),モルタル(143),しっくい(144),テックス(145)	
	建具	具	ドア(161),日除け(162),唐紙・フスマ(163),障子(164),雨戸(板戸)(165),アコーディオンカーテン(166),その他(169)	
家具		類	机(171),椅子・ソファ(172),戸棚・木箱(173),室内装飾品(175),その他(179),カウンター(180),炊事台(コンロ台含む)(181),実験台(183),裁縫台(184),棚(185),仏壇・神棚(186),敷板(187),その他(189)	
カーテン・じゅうたん		類	上敷(134),むしろ(135),カーペット(137),じゅうたん(固定)(138),すだれ・よしず(174),カーテン(176)	
ガス		類	都市ガス(221),水素(222),アセチレン(223),水と反応して発生したガス(224),プロパンガス(225),ブタンガス(226),LPG(カセット用)(227),LPG(スプレー用)(228),その他(229)	
屑		類	ごみ屑(280),木屑・かんな屑・のこぎり屑(281),紙屑・わら屑(282),繊維屑(283),ぼろ・油ぼろ(284),セルロイド屑(285),合成樹脂屑(286),金属屑(287),粉塵(288),その他(289)	
ガソリン・灯油		類	特殊引火物(231),第一石油類(232),アルコール類(233),第二石油類(234),第三石油類(235),第四石油類(236),可燃性液体類(238)	
天ぷら油		類	動植物油類(237)	
不明		明	不明(009)	
その他		他	上記以外	

(3) 出火箇所分類

住宅火災の出火箇所分類			出火箇所分類表の分類	
居		室	洋室・和室・応接間・勉強部屋・書斎・寝室(1010)	
台		所	台所(1140)	
浴	室	・洗面所	浴室・浴場・風呂場(1170), 洗面場(1180), 洗たく場(1210), 便所・トイレット(1220)	
玄	関	・ホール	玄関(1110), 広間・ホール(1120)	
廊	下	・階段	廊下・階段・縁側(1130), 階段室(1150)	
押	入	・納戸	押入・納戸(1020)	
食		事室	食事室(営業を目的としない。住宅、寮などの食事専用室)(1030)	
不		明	不明(9999)	
そ	の	他	上記以外	

第二章

火災による死者の実態について

1 序 説

令和5年中には全国で38,672件の火災が発生し、前年(36,314件)に比べ2,358件(6.5%)増加した。また、その火災により1,503人の死者が生じ、前年(1,452人)に比べ51人(3.5%)増加している。

全火災のうち建物火災による死者が、1,200人(全体の79.8%)を占め、そのうち93.9%に当たる1,127人が住宅(一般住宅、共同住宅及び併用住宅の総称。以下同じ。)火災によるものである。このため、住宅火災による死者を減らすために住宅防火対策のより一層の推進が強く望まれるところである。

火災による死者について特徴的なこととしては、高齢者(「65歳以上の者」をいう。以下同じ。)等の災害弱者が多く、令和5年中の放火自殺者を除く死者1,236人のうち、高齢者が910人(73.6%)、5歳以下の乳幼児が2人(0.2%)となっており、この両年齢層の死者は、放火自殺者を除く死者全体の73.8%を占めている。

2 火災による死者全体の実態について

(1) 出火件数と火災による死者数の推移

過去10年間の出火件数は平成26年の43,741件をピークに多少の増減をしながらも、全体として減少傾向にあったが、令和3年からは、増加が続いている。

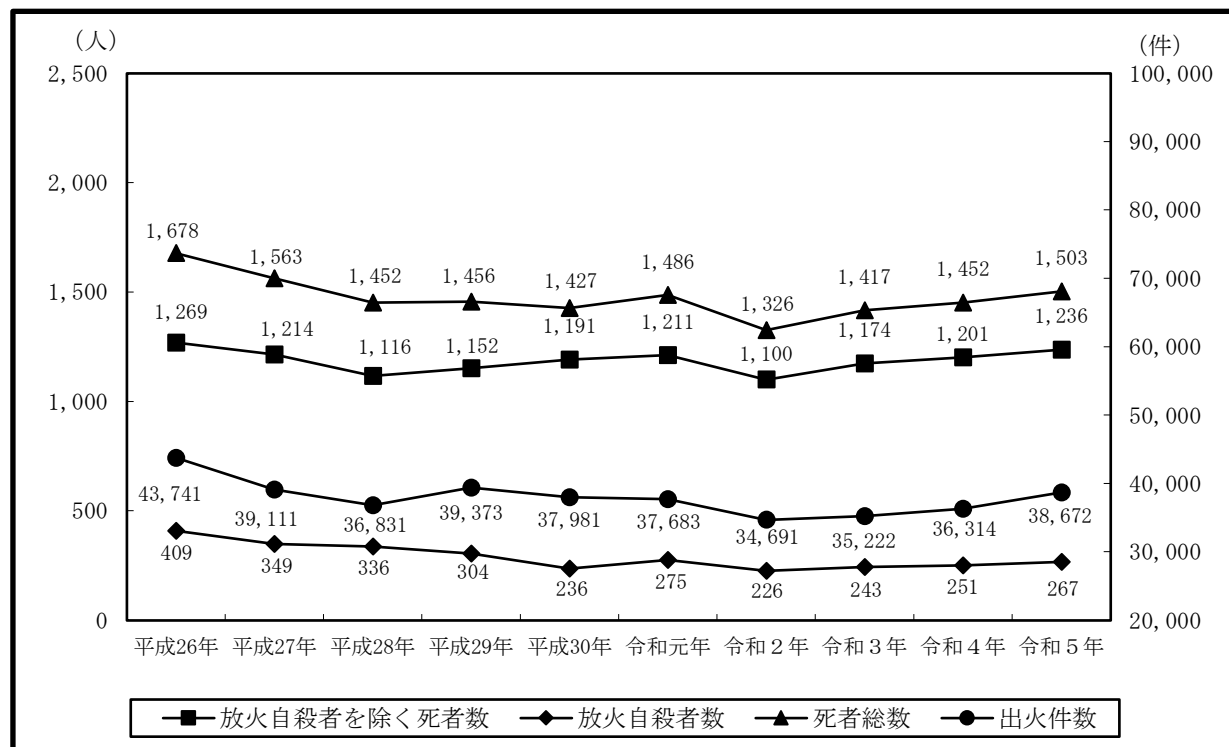
火災による死者数は、平成26年には過去10年間で最多の1,678人であったが、令和2年に過去10年間で最小の1,326人となった後増加傾向にある。10年間の平均は1,476人となっている。(第1表、第1図)

第1表 出火件数と火災による死者数の推移

(平成26年=100)

区分	年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	10年間平均
死者数	放火自殺者を除く死者数	1,269	1,214	1,116	1,152	1,191	1,211	1,100	1,174	1,201	1,236	1,186
	放火自殺者数	409	349	336	304	236	275	226	243	251	267	290
	(人) 死者総数	1,678	1,563	1,452	1,456	1,427	1,486	1,326	1,417	1,452	1,503	1,476
指数	放火自殺者を除く死者数	100.0	95.7	87.9	90.8	93.9	95.4	86.7	92.5	94.6	97.4	93.5
	放火自殺者数	100.0	85.3	82.2	74.3	57.7	67.2	55.3	59.4	61.4	65.3	70.8
	死者総数	100.0	93.1	86.5	86.8	85.0	88.6	79.0	84.4	86.5	89.6	88.0
出火件数(件)		43,741	39,111	36,831	39,373	37,981	37,683	34,691	35,222	36,314	38,672	37,962
指数		100.0	89.4	84.2	90.0	86.8	86.2	79.3	80.5	83.0	88.4	86.8

第1図 出火件数と死者の推移



(2) 都道府県別の死者発生状況

火災による死者の都道府県別の発生状況をみると、「東京都」が88人で最も多く、次いで「埼玉県」の83人、「愛知県」の72人となっている。一方、火災による死者の少ない県は、「高知県」が6人で最も少なく、次いで「滋賀県・徳島県」の8人、「島根県・鳥取県・佐賀県」の9人となっている(第2表、第2図)。これを人口10万人当たりの死者数で比較すると、全国平均は前年の1.15人より0.05人増加して1.20人である。この割合が最も高いのは第3表のとおり「青森県」の3.75人で、次いで「岩手県」の2.86人、「和歌山県」の2.49人となっている。一方、最も低いのは、「滋賀県」の0.57人で、次いで「神奈川県」の0.60人、「東京都」の0.64人となっている(第3表、第3図)。

第2表 都道府県別の死者発生状況

(令和5年中) (単位:人)

都道府県 区分		13	11	23	12	1	27	40	14	8	28	2	22
		東 京	埼 玉	愛 知	千 葉	北海道	大 阪	福 岡	神奈川	茨 城	兵 庫	青 森	静 岡
死 者 総 数		88	83	72	69	68	65	59	55	53	49	46	45
放火自殺者		17	16	10	16	10	9	15	9	11	6	5	10
死者総数	令和4年	90	69	75	64	81	53	55	50	43	65	30	31
	令和3年	86	73	58	74	72	85	46	58	34	56	32	36
	令和2年	87	61	60	60	83	65	39	52	35	53	27	42
	令和元年	108	88	65	54	91	72	40	71	54	53	37	33

都道府県 区分		33	7	34	9	15	3	20	4	10	35	46	21
		岡 山	福 島	広 島	栃 木	新 潟	岩 手	長 野	宮 城	群 馬	山 口	鹿児島	岐 阜
死 者 総 数		45	44	40	39	35	34	33	32	31	30	26	25
放火自殺者		6	14	6	9	2	6	5	8	4	7	6	2
死者総数	令和4年	26	37	43	28	35	27	32	29	28	17	22	34
	令和3年	29	40	33	24	25	26	35	30	23	16	29	37
	令和2年	28	24	30	31	31	18	55	26	28	22	17	26
	令和元年	21	53	32	31	43	25	40	28	34	27	14	19

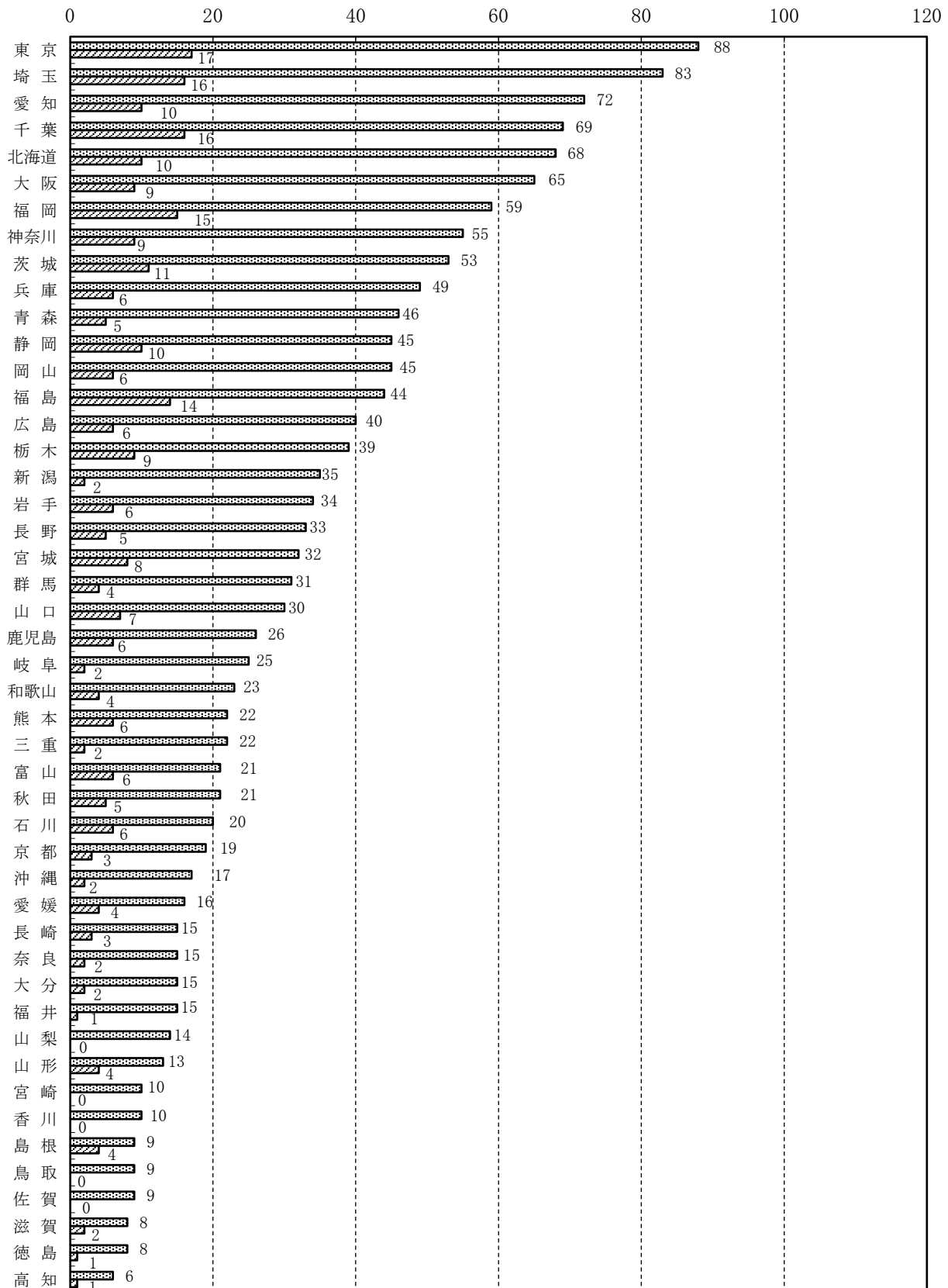
都道府県		30	43	24	16	5	17	26	47	38	42	29	44
区分		和歌山	熊 本	三 重	富 山	秋 田	石 川	京 都	沖 縄	愛 媛	長 崎	奈 良	大 分
死 者 総 数		23	22	22	21	21	20	19	17	16	15	15	15
放火自殺者		4	6	2	6	5	6	3	2	4	3	2	2
死者総数	令和4年	10	29	19	16	26	17	24	13	26	31	24	17
	令和3年	18	32	30	10	24	10	21	12	29	12	9	12
	令和2年	10	17	22	14	24	23	18	5	18	18	11	17
	令和元年	12	13	19	17	18	9	49	11	23	24	12	15

都道府県 区分		18	19	6	45	37	32	31	41	25	36	39	計
		福井	山梨	山形	宮崎	香川	島根	鳥取	佐賀	滋賀	徳島	高知	
死者総数		15	14	13	10	10	9	9	9	8	8	6	1,503
放火自殺者		1	0	4	0	0	4	0	0	2	1	1	267
死者総数	令和4年	10	11	20	16	15	11	15	6	14	8	10	1,452
	令和3年	5	11	21	15	18	18	10	9	10	11	13	1,417
	令和2年	11	13	20	15	11	7	8	11	13	11	9	1,326
	令和元年	10	12	16	13	20	10	8	11	12	8	11	1,486

第2図 都道府県別の死者発生状況

(令和5年中)

(人)



■ 死者総数

▨ 放火自殺者

第3表 都道府県別人口10万人当たりの死者数

(令和5年中) (単位：人)

都道府県	2	3	30	7	33	35	5	16	9	18
年	青森	岩手	和歌山	福島	岡山	山口	秋田	富山	栃木	福井
令和5年	3.75	2.86	2.49	2.42	2.41	2.26	2.23	2.04	2.02	1.97
令和4年	2.41	2.24	1.07	2.01	1.38	1.27	2.72	1.54	1.44	1.30
令和3年	2.54	2.13	1.91	2.15	1.53	1.18	2.47	0.95	1.23	0.65
令和2年	2.12	1.46	1.05	1.28	1.47	1.61	2.44	1.33	1.58	1.41
令和元年	2.86	2.00	1.24	2.79	1.10	1.95	1.80	1.60	1.57	1.27

都道府県	8	17	19	31	46	15	20	10	34	4
年	茨城	石川	山梨	鳥取	鹿児島	新潟	長野	群馬	広島	宮城
令和5年	1.84	1.79	1.72	1.65	1.63	1.62	1.61	1.61	1.44	1.42
令和4年	1.49	1.51	1.35	2.72	1.37	1.60	1.56	1.44	1.54	1.28
令和3年	1.17	0.88	1.34	1.80	1.79	1.13	1.69	1.17	1.17	1.31
令和2年	1.20	2.02	1.57	1.43	1.04	1.39	2.63	1.42	1.06	1.13
令和元年	1.84	0.79	1.44	1.41	0.85	1.90	1.90	1.72	1.13	1.22

都道府県	32	44	1	43	21	6	24	22	38	40
年	島根	大分	北海道	熊本	岐阜	山形	三重	静岡	愛媛	福岡
令和5年	1.37	1.34	1.32	1.27	1.26	1.25	1.24	1.24	1.21	1.16
令和4年	1.65	1.50	1.56	1.66	1.70	1.89	1.06	0.85	1.94	1.08
令和3年	2.67	1.05	1.38	1.82	1.83	1.96	1.67	0.98	2.14	0.90
令和2年	1.03	1.48	1.58	0.96	1.28	1.85	1.21	1.13	1.31	0.76
令和元年	1.46	1.29	1.72	0.73	0.93	1.46	1.04	0.89	1.66	0.78

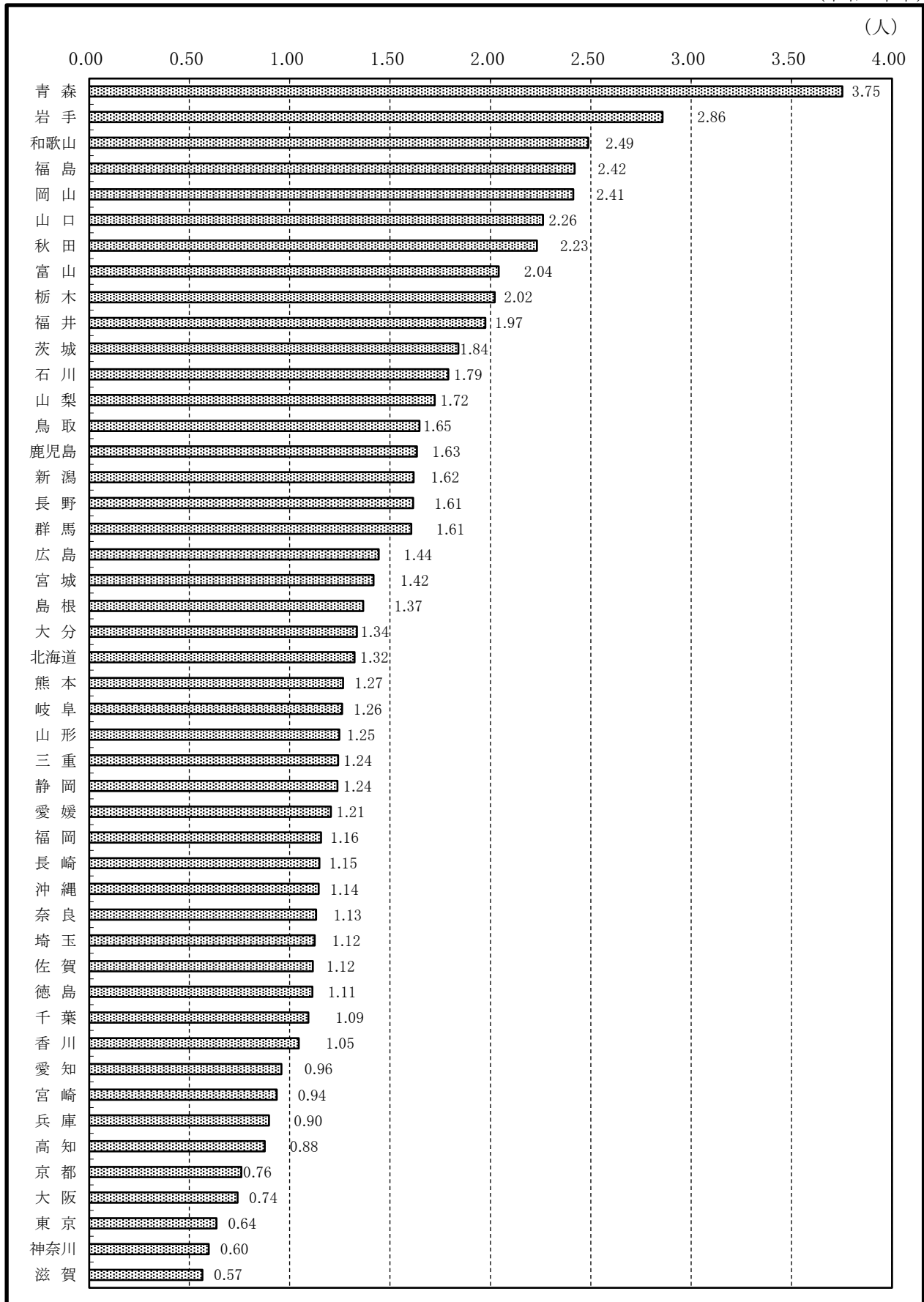
都道府県	42	47	29	11	41	36	12	37	23	45
年	長崎	沖縄	奈良	埼玉	佐賀	徳島	千葉	香川	愛知	宮崎
令和5年	1.15	1.14	1.13	1.12	1.12	1.11	1.09	1.05	0.96	0.94
令和4年	2.35	0.88	1.80	0.93	0.74	1.10	1.01	1.55	1.00	1.48
令和3年	0.90	0.81	0.67	0.99	1.10	1.50	1.17	1.85	0.77	1.38
令和2年	1.33	0.34	0.81	0.83	1.34	1.48	0.95	1.12	0.79	1.37
令和元年	1.76	0.75	0.88	1.19	1.33	1.07	0.86	2.03	0.86	1.18

都道府県	28	39	26	27	13	14	25	平均
年	兵庫	高知	京都	大阪	東京	神奈川	滋賀	
令和5年	0.90	0.88	0.76	0.74	0.64	0.60	0.57	1.20
令和4年	1.18	1.44	0.96	0.60	0.65	0.54	0.99	1.15
令和3年	1.01	1.85	0.83	0.96	0.62	0.63	0.70	1.12
令和2年	0.96	1.27	0.71	0.73	0.63	0.56	0.91	1.04
令和元年	0.95	1.53	1.92	0.81	0.79	0.77	0.85	1.17

(注) 人口は、1月1日現在の住民基本台帳(総務省自治行政局)による。

第3図 都道府県別人口10万人当たりの死者数

(令和5年中)



(3) 月別の死者発生状況

火災による死者の月別の発生状況をみると、例年火気を使用する機会が多い冬季から春先にかけて死者が多く発生しており、令和5年中においても「1月」から「3月」及び「12月」の4ヶ月の月ごとの平均死者数は184.8人（1年間の月平均125.3人）となっており、この4ヶ月間に死者総数の49.2%に当たる739人の死者が発生している。月別の火災件数と死者の発生状況との関連を火災100件当たりの死者数で比較すると、「1月」が6.0人で死者の発生割合が最も高く、次いで「12月」の4.8人となっている（第4表、第4図）。

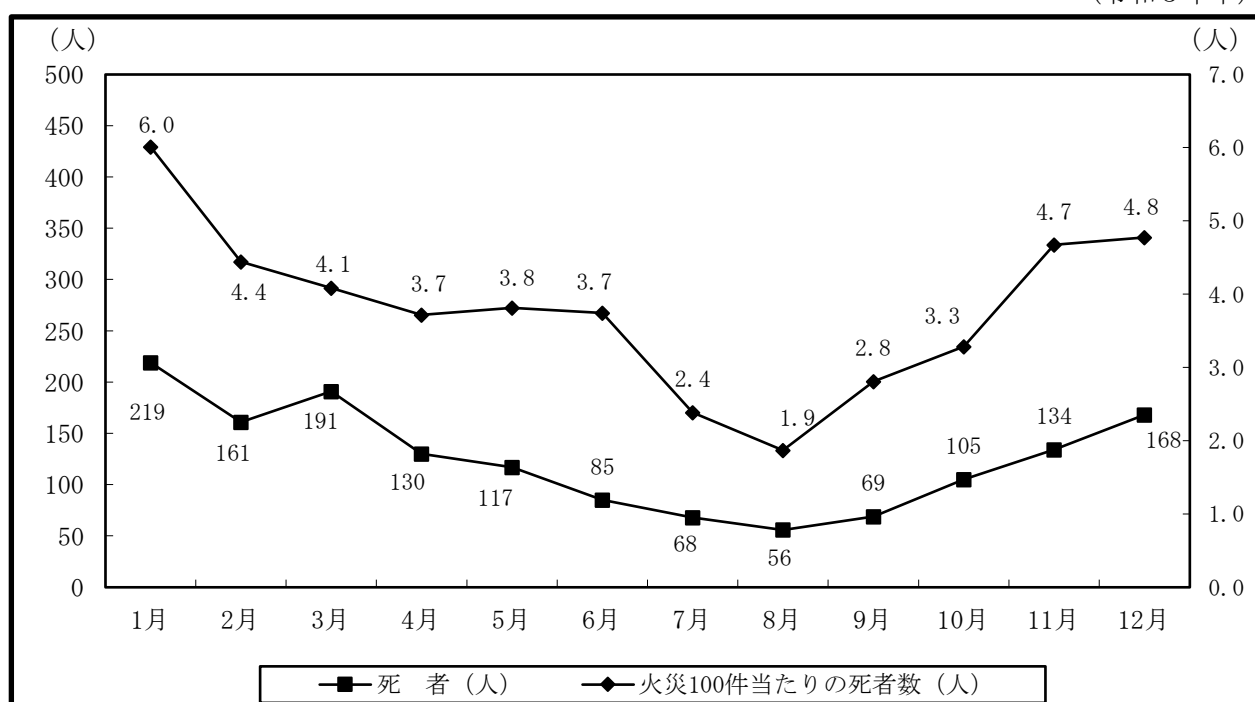
第4表 月別の死傷者の発生状況

（令和5年中）

区分 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
死者（人）	219	161	191	130	117	85	68	56	69	105	134	168	1,503
割合（%）	14.6	10.7	12.7	8.6	7.8	5.7	4.5	3.7	4.6	7.0	8.9	11.2	100.0
負傷者（人）	590	561	610	529	431	376	452	402	352	388	495	580	5,766
割合（%）	10.2	9.7	10.6	9.2	7.5	6.5	7.8	7.0	6.1	6.7	8.6	10.1	100.0
火災件数（件）	3,643	3,625	4,679	3,496	3,069	2,270	2,852	2,997	2,459	3,196	2,868	3,518	38,672
割合（%）	9.4	9.4	12.1	9.0	7.9	5.9	7.4	7.7	6.4	8.3	7.4	9.1	100.0
火災100件当たりの死者数（人）	6.0	4.4	4.1	3.7	3.8	3.7	2.4	1.9	2.8	3.3	4.7	4.8	3.9
過去5年間の死者数の平均（人）	199	184	164	120	95	73	70	64	62	95	119	175	1,422
割合（%）	14.0	12.9	11.5	8.5	6.7	5.1	4.9	4.5	4.4	6.7	8.3	12.3	100.0

第4図 月別の死者発生状況

（令和5年中）



(4) 時間帯別の死者発生状況

火災による死者の時間帯別発生状況をみると、「19時台」が75人と最も多く、次いで「1時台」が69人、「13時台」が68人となっている。一方、最も死者の少ないのは「8時台」が43人となっており、次いで「22時台」の46人、「7時台・17時台」の47人となっている。これを昼夜別にみると、夜間（「0時～6時台」及び「19時～23時台」をいう。以下同じ。）における死者は726人で48.3%、昼間（「7時～18時台」をいう。以下同じ。）における死者は671人で44.6%となっており、夜間に発生した火災により多くの死者が発生している（第5表、第5図）。

第5表 時間帯別の死者発生状況

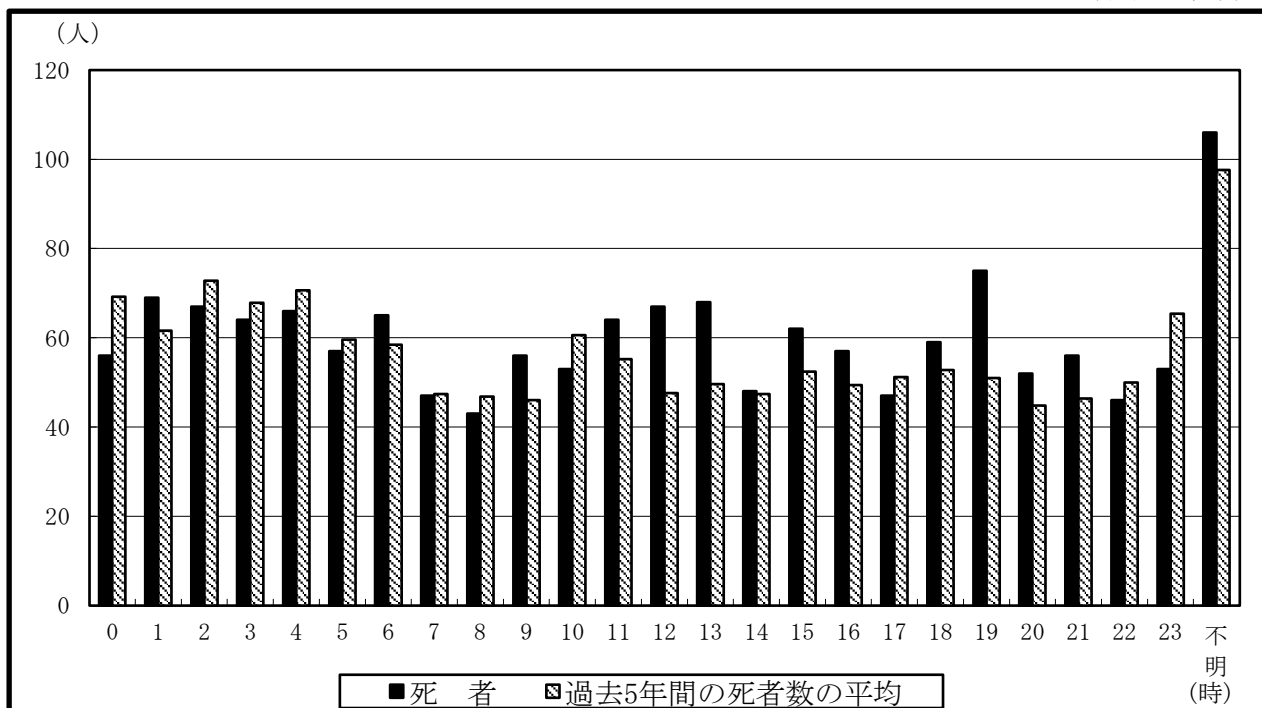
(令和5年中)

区分 \ 時間帯	0～	1～	2～	3～	4～	5～	6～	7～	8～	9～	10～	11～	12～
死者 (人)	56	69	67	64	66	57	65	47	43	56	53	64	67
割合 (%)	3.7	4.6	4.5	4.3	4.4	3.8	4.3	3.1	2.9	3.7	3.5	4.3	4.5
過去5年間の死者数の平均 (人)	69	62	73	68	71	60	58	47	47	46	61	55	48
割合 (%)	4.9	4.3	5.1	4.8	5.0	4.2	4.1	3.3	3.3	3.2	4.3	3.9	3.3

区分 \ 時間帯	13～	14～	15～	16～	17～	18～	19～	20～	21～	22～	23～	不明	計
死者 (人)	68	48	62	57	47	59	75	52	56	46	53	106	1,503
割合 (%)	4.5	3.2	4.1	3.8	3.1	3.9	5.0	3.5	3.7	3.1	3.5	7.1	100.0
過去5年間の死者数の平均 (人)	50	47	52	49	51	53	51	45	46	50	65	98	1,422
割合 (%)	3.5	3.3	3.7	3.5	3.6	3.7	3.6	3.2	3.3	3.5	4.6	6.9	100.0

第5図 時間帯別の死者発生状況

(令和5年中)



(5) 火災種別ごとの死者発生状況

火災種別ごとの死者発生状況をみると、「建物火災」によるものが1,200人で前年(1,173人)に比べ27人(2.3%)増加したが、死者総数に対する割合は79.8%(前年80.8%)で減少となった。また、「車両火災」による死者は、前年(91人)に比べ14人(15.4%)増加し、105人となっている。(第6表)。

第6表 火災種別ごとの死者発生状況

(令和5年中)

区 分	火災種別						
	計	建物火災	車両火災	林野火災	航空機火災	船舶火災	その他の火災
死 者 数 (人)	1,503	1,200	105	8	0	0	190
割合 (%)	(100.0%)	(79.8%)	(7.0%)	(0.5%)	－	－	(12.6%)
死者の発生した火災件数 (件)	1,385	1,092	96	8	0	0	189
割合 (%)	(100.0%)	(78.8%)	(6.9%)	(0.6%)	－	－	(13.6%)

(注) ここでは、火災が2種以上にわたった場合、火災報告取扱要領の取扱いにかかわらず、死者が発生した方の火災種別による。

(6)建物用途別、階層別の死者発生状況

建物用途別の死者発生状況をみると、住宅(「一般住宅、共同住宅及び併用住宅」をいう。以下同じ。)火災での死者が1,127人で93.9%を占めている。建物階層別の死者発生状況は、「1階」での死者が837人(69.8%)と最も多く、次いで「2階」が243人(20.3%)となっている(第7表)。

第7表 建物用途別、階層別の死者発生状況

(令和5年中) (単位:人)

建物用途 階層	小計	一般住宅	共同住宅	併用住宅	劇場	公会堂	キャバレー	遊技場	性風俗	カラオケボックス	料理店	飲食店	物品販売店舗	旅館・ホテル	病院・診療所	ホ－ムヘル	特別養護老人ホーム	セーラーズ	幼稚園
地下2階	1	1																	
地下1階	2	2																	
1階	837	705	85	11								2		1					
2階	243	170	51	2								1							
3階	42	2	29	1															
4階	13		13																
5階	7		7																
6階	8		8																
7階	6		6																
8階	4		3																
9階以上	6		5																
不明	31	23	1	2															
合計 (割合%)	1,200 (100.0)	903 (75.2)	208 (17.3)	16 (1.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (0.3)	0 (0.0)	1 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
令和4年 (割合%)	1,173 (100.0)	849 (72.4)	192 (16.4)	24 (2.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (0.4)	2 (0.2)	1 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.0)

建物用途 階層	学校	図書館	特殊浴場	公衆浴場	停車場	神社・寺院	工場・作業場	スタジオ	車庫・駐車場	航空機格納庫	倉庫・納屋	事務所	複合用途・特定	複合用途・非特定	地下街	準地下街	文化財	その他
地下2階																		
地下1階																		
1階						2	5		1		4	1	8	10				2
2階							3				1	3	2	9				1
3階							1						4	5				
4階																		
5階																		
6階																		
7階																		
8階													1					
9階以上													1					
不明						1	2						1	1				
合計 (割合%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (0.3)	11 (0.9)	0 (0.0)	1 (0.1)	0 (0.0)	5 (0.4)	4 (0.3)	17 (1.4)	25 (2.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (0.3)
令和4年 (割合%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.1)	0 (0.0)	3 (0.3)	12 (1.0)	0 (0.0)	1 (0.1)	0 (0.0)	2 (0.2)	2 (0.2)	26 (2.2)	39 (3.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	13 (1.1)

- (注) 1 この表は、放火自殺者等を含めた数である。
2 住宅における死者1,127人に含まれる放火自殺者等は104人。
3 「建物用途」は、消防法施行令別表第一による区分であり、施設の名称はその例示である。(一般住宅、併用住宅及びその他を除く。)
4 階層は死者の発生した場所の存する階を示す。

(7) 建物構造別の死者発生状況

建物構造別の死者発生状況をみると、「木造」での死者が765人(63.8%)と最も多く、そのうち603人(木造建物での死者の78.8%)が1階で発生している。また、建物構造別に出火件数100件当たりの死者数をみると、「木造」が9.9人、「防火造」が7.7人、「準耐火木造」が3.3人、「準耐火非木造」が2.6人の順となっている(第8、9表)

第8表 建物構造別、焼損程度別の死者発生状況

(令和5年中)

区分		構造	木 造	防 火 造	準 耐 火 木 造	準 耐 火 非 木 造	耐 火 造	そ の 他	計
死者数 (人)	計		765	132	11	63	159	70	1,200
	割合 (%)		63.8	11.0	0.9	5.3	13.3	5.8	100.0
	全 焼		594	70	4	27	9	45	749
	半 焼		79	34	3	11	10	8	145
	部分焼		48	15	4	19	124	11	221
	ぼや・不明		44	13	0	6	16	6	85
出火件数 (件)			7,762	1,722	335	2,398	6,299	2,458	20,974
火災100件当たりの死者数 (人)			9.9	7.7	3.3	2.6	2.5	2.8	5.7

第9表 建物構造別、焼損程度別、階層別の死者発生状況

(令和5年中)(単位:人)

焼損 程度	階層 構造	地 下		地 上									不明	計
		2階	1階	1階	2階	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階 以上		
全 焼	木 造	1		483	89								21	594
	防 火 造			57	12								1	70
	準 耐 火 木 造			3	1									4
	準 耐 火 非 木 造			18	8	1								27
	耐 火 造			8	1									9
	そ の 他			35	6								4	45
	計	1	0	604	117	1	0	0	0	0	0	0	26	749
半 焼	木 造			48	31									79
	防 火 造		1	16	16	1								34
	準 耐 火 木 造			1	2									3
	準 耐 火 非 木 造			6	5									11
	耐 火 造			7	1	1							1	10
	そ の 他			4	4									8
	計	0	1	82	59	2	0	0	0	0	0	0	1	145
部 分 焼	木 造			33	13	1							1	48
	防 火 造			8	7									15
	準 耐 火 木 造			3		1								4
	準 耐 火 非 木 造			9	6	3	1							19
	耐 火 造			33	23	29	9	6	8	5	4	6	1	124
	そ の 他			4	4	3								11
	計	0	0	90	53	37	10	6	8	5	4	6	2	221
ぼ や	木 造			39	4								1	44
	防 火 造			7	5								1	13
	準 耐 火 木 造													0
	準 耐 火 非 木 造			3	2									5
	耐 火 造			7	2	2	3	1		1				16
	そ の 他		1	4	1									6
	計	0	1	60	14	2	3	1	0	1	0	0	2	84
不 明	木 造													0
	防 火 造													0
	準 耐 火 木 造													0
	準 耐 火 非 木 造			1										1
	耐 火 造													0
	そ の 他													0
	計	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	木 造	1	0	603	137	1	0	0	0	0	0	0	23	765
	防 火 造	0	1	88	40	1	0	0	0	0	0	0	2	132
	準 耐 火 木 造	0	0	7	3	1	0	0	0	0	0	0	0	11
	準 耐 火 非 木 造	0	0	37	21	4	1	0	0	0	0	0	0	63
	耐 火 造	0	0	55	27	32	12	7	8	6	4	6	2	159
	そ の 他	0	1	47	15	3	0	0	0	0	0	0	4	70
	計	1	2	837	243	42	13	7	8	6	4	6	31	1,200

(注) 階層は死者の発生した場所の存する階を示す。

(8) 建物用途別、構造別の火災発生件数、死者発生状況

建物用途別、構造別の死者発生状況をみると、「木造」のうち「住宅」での死者が745人で「木造」での死者(765人)の97.4%を占めている。また、「防火造」のうち「住宅」での死者は124人で防火造での死者(132人)の93.9%となっている。また、火災100件当たりの「住宅」の死者数をみると、「木造の一般住宅」が12.1人と最も多く、次いで「準耐火非木造の一般住宅」が11.8人となっている(第10表)。

第10表 建物用途別、構造別の死者発生状況

(令和5年中)

建物用途 構造		計	住 宅			劇 場 等	公 会 堂	キ ャ バ レ ー	遊 技 場	性 風 俗	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス	料 理 店	飲 食 店
			一般住宅	共同住宅	併用住宅								
木 造	出火件数 (件)	7,762	5,842	380	182	0	12	0	2	0	0	5	259
	死者数 (人)	765	704	29	12	0	0	0	0	0	0	0	2
	100件当たりの死者数(人)	9.9	12.1	7.6	6.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8
防 火 造	出火件数 (件)	1,722	990	296	44	0	3	1	1	0	0	1	60
	死者数 (人)	132	98	25	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	100件当たりの死者数(人)	7.7	9.9	8.4	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7
準 耐 火 木 造	出火件数 (件)	335	166	80	4	0	0	0	2	0	0	0	11
	死者数 (人)	11	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100件当たりの死者数(人)	3.3	3.6	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
準 耐 火 非 木 造	出火件数 (件)	2,398	289	293	23	0	5	2	8	0	4	2	80
	死者数 (人)	63	34	16	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	100件当たりの死者数(人)	2.6	11.8	5.5	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
耐 火 造	出火件数 (件)	6,299	196	2,519	25	11	13	0	17	0	3	2	117
	死者数 (人)	159	16	124	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100件当たりの死者数(人)	2.5	8.2	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
そ の 他	出火件数 (件)	2,458	604	144	35	0	1	0	2	0	0	0	77
	死者数 (人)	70	45	10	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	100件当たりの死者数(人)	2.8	7.5	6.9	5.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	出火件数 (件)	20,974	8,087	3,712	313	11	34	3	32	0	7	10	604
	死者数 (人)	1,200	903	208	16	0	0	0	0	0	0	0	3
	100件当たりの死者数(人)	5.7	11.2	5.6	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5

(注) 「建物用途」は、消防法施行令別表第一による区分であり、施設の名称はその例示である(一般住宅、併用住宅を除く。)

建物用途 構造		物 品 販 売 店 舗	旅 館 ・ ホ テ ル	病 院 ・ 診 療 所	ホ テ ル ・ 養 護 老 人 等	セ ン ジ ー ビ ス 等	幼 稚 園	学 校	図 書 館	特 殊 浴 場	公 衆 浴 場	停 車 場	神 社 ・ 寺 院
木 造	出火件数（件）	43	43	3	18	21	0	2	0	2	1	1	51
	死者数（人）	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	100件当たりの死者数(人)	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9
防 火 造	出火件数（件）	11	8	0	0	5	0	6	0	0	0	1	1
	死者数（人）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100件当たりの死者数(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
準 耐 火 木 造	出火件数（件）	4	1	1	6	3	0	1	0	0	0	0	0
	死者数（人）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100件当たりの死者数(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
準 耐 火 非 木 造	出火件数（件）	72	8	3	8	12	0	10	1	0	1	2	4
	死者数（人）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100件当たりの死者数(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
耐 火 造	出火件数（件）	142	115	58	51	51	7	146	9	2	2	15	2
	死者数（人）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100件当たりの死者数(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
そ の 他	出火件数（件）	36	11	4	3	8	0	3	0	0	1	5	1
	死者数（人）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100件当たりの死者数(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	出火件数（件）	308	186	69	86	100	7	168	10	4	5	24	59
	死者数（人）	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	100件当たりの死者数(人)	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.1

建物用途 構造		工場・作業場	スタジオ	車庫・駐車場	航空機格納庫	倉庫・納屋	事務所	複合用途・特定	複合用途・非特定	地下街	準地下街	文化財	その他
木造	出火件数（件）	170	0	7	1	155	177	107	64	0	0	4	210
	死者数（人）	2	0	0	0	0	1	4	5	0	0	0	2
	100件当たりの死者数（人）	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	3.7	7.8	0.0	0.0	0.0	1.0
防火造	出火件数（件）	55	0	1	0	16	33	83	96	0	0	0	10
	死者数（人）	0	0	0	0	0	1	2	4	0	0	0	0
	100件当たりの死者数（人）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	2.4	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0
準耐火木造	出火件数（件）	14	0	0	0	2	4	19	17	0	0	0	0
	死者数（人）	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	100件当たりの死者数（人）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0
準耐火非木造	出火件数（件）	992	1	11	1	139	193	122	88	0	0	0	24
	死者数（人）	4	0	0	0	3	1	0	3	0	0	0	1
	100件当たりの死者数（人）	0.4	0.0	0.0	0.0	2.2	0.5	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	4.2
耐火造	出火件数（件）	226	1	18	0	41	308	1,748	408	14	0	0	32
	死者数（人）	1	0	1	0	0	0	11	6	0	0	0	0
	100件当たりの死者数（人）	0.4	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.6	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	出火件数（件）	448	1	14	0	252	197	60	51	0	0	0	500
	死者数（人）	4	0	0	0	2	1	0	6	0	0	0	0
	100件当たりの死者数（人）	0.9	0.0	0.0	0.0	0.8	0.5	0.0	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0
計	出火件数（件）	1,905	3	51	2	605	912	2,139	724	14	0	4	776
	死者数（人）	11	0	1	0	5	4	17	25	0	0	0	3
	100件当たりの死者数（人）	0.6	0.0	2.0	0.0	0.8	0.4	0.8	3.5	0.0	0.0	0.0	0.4

(9) 防火対象物政令用途区分別の死者発生状況

防火対象物(政令用途区分別)の火災発生件数は、(5)項ロ(共同住宅等)での3,712件、(16)項イ(複合用途防火対象物)での2,139件、(12)項イ(工場等)での1,905件の順に多く、死者数は(5)項ロ(共同住宅等)で208人、(16)項ロ((16)項イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物)で25人、(16)項イ(複合用途防火対象物)で17人となっている(第11表)。死者が発生した防火対象物を建物構造別、階層別、規模別(延べ面積)で分類すると第12表のとおりであり、さらに建物構造別、焼損程度別、発生階層別に分類すると、それぞれ第13表及び第14表のとおりとなっている。特に部分焼の場合においては、耐火造で7割以上の119人(72.6%)の死者が発生している。

次に死者が発生した防火対象物における防火管理状況をみると、消防法第8条第1項に該当する防火対象物(95件)のうち、防火管理者を選任しているものは87件(91.6%)、消防計画を作成しているものは78件(82.1%)となっている(第15表)。

第11表 防火対象物政令用途区分別の火災発生件数、死者発生状況

(令和5年中)

政令用途		区 分	火災発生 件数 (件)	死者を伴った 火災件数 (件)	死者発生数 (人)
(一)	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	11		
	ロ	公会堂又は集会場	34		
(二)	イ	キャバレー、カフェ、ナイトクラブその他これらに類するもの	3		
	ロ	遊技場又はダンスホール	32		
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗			
	ニ	カラオケボックス等	7		
(三)	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	10		
	ロ	飲食店	605	3	3
(四)		百貨店、マーケット、その他の物品販売店舗又は展示場	311		
(五)	イ	旅館、ホテル又は宿泊所	186	1	1
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	3,712	194	208
(六)	イ	病院、診療所又は助産所	69		
	ロ	グループホーム等	86		
	ハ	社会福祉施設等	100		
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	7		
(七)		小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学	168		
(八)		図書館、博物館、美術館	10		
(九)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場	4		
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	5		
(十)		車両の停車場、船舶又は航空機の発着場	24		
(十一)		神社、寺院、教会	59	3	3
(十二)	イ	工場、作業場	1,905	11	11
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ	3		
(十三)	イ	自動車車庫、駐車場	51	1	1
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫	2		
(十四)		倉庫	605	5	5
(十五)		前各項に該当しない事業所	916	4	4
(十六)	イ	(一)～(四)、(五)イ、(六)、(九)イを含む複合用途防火対象物	2,139	16	17
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	724	22	25
(十六)の2		地下街	14		
(十六)の3		準地下街			
(十七)		重要文化財、重要有形民俗文化財、史跡等の建造物	4		
(十八)		延長50メートル以上のアーケード			
(十九)		市町村長の指定する山林	34		
(二十)		自治省令で定める舟車			
計			11,840	260	278

(注) 死者の発生した対象物の用途にかかわらず、出火した火元の対象物の用途別の数を示す。

(令和5年中) (単位: 件)

(注)階層は死者の発生した階ではなく、単に建物の階層を表している。地階と地上階の数は重複する場合もある。

第13表 防火対象物区分別、建物構造別、焼損程度別の死者発生状況

(令和5年中) (単位：人)

用途 区分		公	飲	物	旅	共	病	ホ	セ	老	公	学	神	工	車	倉	事	複	複	文	計
		会	食	品	館	同	院	特	ン	人	衆	社	場	・	・	庫	庫	務	合	合	
		堂	店	舗	・	住	・	ム	タ	サ	浴	校	寺	作	駐	・	所	・	・	財	
全 焼	木造		1		1	6							3	2				4	2		19
	防火造					10												1	2		13
	準耐火木造					2															2
	準耐火非木造													1		2	1				4
	耐火造																				0
	その他の					2								2		2			2		8
計		0	1	0	1	20	0	0	0	0	0	0	3	5	0	4	1	5	6	0	46
半 焼	木造		1			10											1		2		14
	防火造		1			6											1				8
	準耐火木造					1															1
	準耐火非木造					5															5
	耐火造					7								1							8
	その他の					2													3		5
計		0	2	0	0	31	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	5	0	41
部 分 焼	木造					13															13
	防火造					5													2		7
	準耐火木造					1													1		2
	準耐火非木造					9								2		1			2		14
	耐火造					104												10	5		119
	その他の					6								2					1		9
計		0	0	0	0	138	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	0	10	11	0	164
ぼ や	木造																		1		1
	防火造					4												1			5
	準耐火木造																				0
	準耐火非木造					2								1					1		4
	耐火造					13									1			1	1		16
	その他の																1				1
計		0	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	2	3	0	27
計	木造	0	2	0	1	29	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	1	4	5	0	47
	防火造	0	1	0	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	4	0	33
	準耐火木造	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	5
	準耐火非木造	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	4	0	3	1	0	3	0	27
	耐火造	0	0	0	0	124	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	11	6	0	143
	その他の	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	4	0	2	1	0	6	0	23
計		0	3	0	1	208	0	0	0	0	0	0	3	11	1	5	4	17	25	0	278

第14表 防火対象物区分別、建物階層別の死者発生状況

(令和5年中) (単位：人)

政令用途	区分	地下 2階	地下 1階	1階	2階	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階 以上	不明	計
(三)	ロ			2	1											3
(五)	イ			1												1
	ロ			85	51	29	13	7	8	6	3	1	2	2	1	208
(十一)				2											1	3
(十二)	イ			5	3	1									2	11
(十三)	イ			1												1
(十四)				4	1											5
(十五)				1	3											4
(十六)	イ			8	2	4					1	1			1	17
	ロ			10	9	5									1	25
計		0	0	119	70	39	13	7	8	6	4	2	2	2	6	278

(注) 区分は建物の階層ではなく、死者の発生した場所の存する階を示している。

第15表 死者が発生した防火対象物の防火管理等の状況

(令和5年中) (単位：件)

政令用途	区分	防火対象物において 死者が発生した火災	消防法第8条第1項に該当する対象物		
				防火管理者選任済 対象物	消防計画内容適正 対象物
(三)	ロ	3			
(五)	イ	1			
	ロ	194	81	74	69
(十一)		3	1	1	
(十二)	イ	11	2	2	2
(十三)	イ	1			
(十四)		5			
(十五)		4			
(十六)	イ	16	10	9	6
	ロ	22	1	1	1
計		260	95 (100.0%)	87 (91.6%)	78 (82.1%)

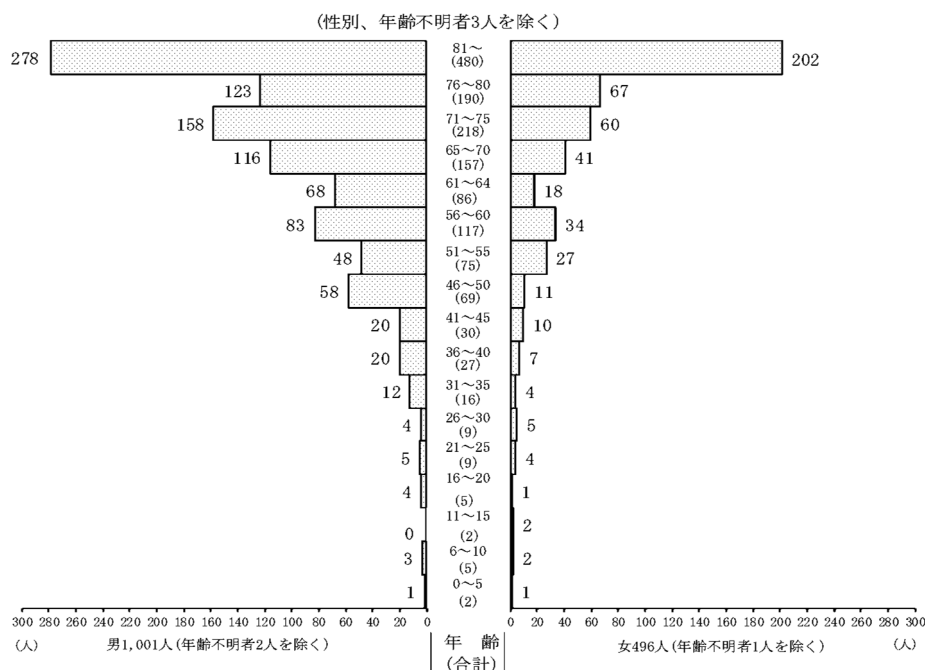
(注) 防火管理者選任済対象物は届出済の件数を示す。

(10) 年齢別、性別の死者発生状況

年齢別の火災による死者発生状況をみると、「81歳以上」が480人で最も多く、次いで「71～75歳」の218人となっており、65歳以上の高齢者は1,045人で全死者(1,503人)の69.5%を占めている。また、性別では、「0～5歳」、「11～15歳」、「26～30歳」を除く全年齢層で「男性」が上回っており、全死者の66.7%(1,003人)を占めている(第6図)。年齢別及び性別の人口10万人当たりの死者発生状況をみると、年齢層が高くなるにしたがって増加している(第7図)。

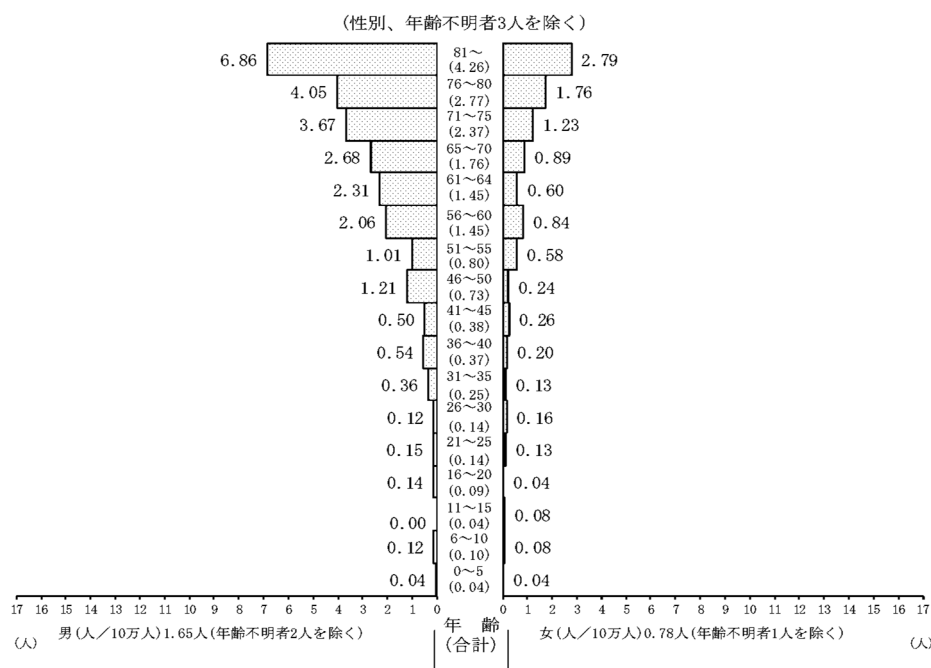
第6図 年齢別、性別の死者発生状況

(令和5年中)



第7図 年齢別の人口10万人当たりの死者数

(令和5年中)



(注)1 ()は、年齢別人口10万人当たりの死者数を示す。

2 人口は、令和5年10月1日現在の人口推計(総務省統計局)による。

(11) 1件で3人以上の死者を出した火災

1件で3人以上の死者を出した火災は11件で、前年(14件)より3件減少している。これによる死者は38人で、前年(50人)より12人(24.0%)減少している(第16表)。

第16表 1件で3人以上の死者を出した火災の都道府県別発生状況

(令和5年中)

区分 都道府県	死者数 (人)	火災件数 (件)	火災1件で発生した死者数別の火災件数(件)						計
			3人	4人	5人	6人	7人	8人以上	
北海道	68	1,587	1						1
青森	46	436			1				1
福島	44	703		1					1
茨城	53	1,385		1					1
埼玉	83	1,995	1						1
長野	33	847	1						1
愛知	72	2,038	1						1
三重	22	690	1						1
兵庫	49	1,548		1					1
鳥取	9	177	1						1
岡山	45	743	1						1
計	1,503	38,672	7	3	1	0	0	0	11
死者数(人)			21	12	5	0	0	0	38

ア 火災種別別発生状況

火災種別についてみると「建物火災」によるものが10件34人、次いで「車両火災」によるもの1件4人となっている(第17表)。

第17表 1件で3人以上の死者を出した火災の火災種別別発生状況

(令和5年中)(単位:件、人)

火災種別		3人	4人	5人	6人	7人	8人以上	計
建物火災	全 焼	6 (18)	1 (4)	1 (5)				8 (27)
	半 焼		1 (4)					1 (4)
	部 分 焼	1 (3)						1 (3)
	ぼ や							0 (0)
航空機火災								0 (0)
車両火災			1 (4)					1 (4)
その他の火災								0 (0)
合 計		7 (21)	3 (12)	1 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (38)

(注) ()は、死者数を表す。

イ 時間帯別発生状況

時間帯別にみると、「1時台」が最も多く9人、次いで「4時台」が7人となっており、これを昼夜別にみると、夜間における死者は35人で死者の92.1%を占め、就寝時間帯に多くの死者が発生している(第18表)。

第18表 1件で3人以上の死者を出した火災の時間帯別発生状況

(令和5年中)

区分	0～	1～	2～	3～	4～	5～	6～
出火件数 (件)	1	2		1	2	1	
死者数 (人)	3	9		3	7	3	

区分	7～	8～	9～	10～	11～	12～	13～
出火件数 (件)							1
死者数 (人)							3

区分	14～	15～	16～	17～	18～	19～	20～
出火件数 (件)							1
死者数 (人)							4

区分	21～	22～	23～	不 明	計
出火件数 (件)			2		11
死者数 (人)			6		38

ウ 建物用途別、階層別発生状況

建物用途別にみると、建物火災による死者34人のうち、すべてが「住宅」で発生している。死者の発生した階層別にみると、1階における死者が73.5%(25人)を占めている(第19表)。

第19表 1件で3人以上の死者を出した建物火災の建物用途別、階層別の死者発生状況

(令和5年中)(単位:件、人)

区 分	出火件数 (件)	死 者 数 (人)								
		合 計	一般 住宅	共同 住宅	併用 住宅	工場 作業所	倉庫	事務所	複合 用途 特定	複合 用途 非特定
			住 宅							
屋外		0								
地下3階以下		0								
地下2階		0								
地下1階		0								
地上1階	8	25	15	10						
2階	2	9	9							
3階		0								
4階		0								
5階以上		0								
不明		0								
合計	10	34	24	10	0	0	0	0	0	0
			34							

(注) 出火件数の階は出火階を示す。

(12) 出火原因別の死者発生状況

出火原因別の死者発生状況をみると、最も多いのは「放火」で267人、次いで「たばこ」の157人、「ストーブ」の99人となっている。なお、死者発生状況を年齢層別でみると、「たき火」、「火入れ」、「マッチ・ライター」等を原因とする火災による死者は、高齢者層の割合が高くなる傾向にある(第20表)。

第20表 出火原因別の死者発生状況

(令和5年中)

区分 \ 年齢	0～	6～	11～	16～	21～	26～	31～	36～	41～	46～	51～	56～	61～	65～	71～	76～	81～	不明	計
放 火			1	1	5	4	5	9	12	19	21	36	18	32	45	29	28	2	267
た ば こ								4	1	8	9	13	13	25	32	28	24		157
ス ト ー ブ							2	1		4	3	6	3	7	13	16	44		99
放 火 疑 い	1	1						2	3	8	5	10	8	5	6	6	15	1	71
電 灯 ・ 電 話 線										6	2	1	4	7	11	4	16		51
こ ん ろ					1		1	1			2	4	1	4	9	9	15		47
た き 火												1		1	4	1	23		30
火 入 れ						1							1	2	3	7	15		29
配 線 器 具										1		2		5	3	5	12		28
灯 火										1		1	2	1	2	5	12		24
マッチ・ライター											1			1	2	2	7		13
こ た つ											1			1	1		5		8
電 気 機 器														1	2	2	2		7
排 気 管								1			1		2			1			5
火 花				2				1	1										4
焼 却 炉																	2		2
溶 接 機											1						1		2
風 呂 か ま ど																	1		1
か ま ど																	1		1
ボ イ ラ ー																	1		1
内 燃 機 関							1												1
火 あ そ び		1																	1
そ の 他			1	2	3	2	1	2	4	4	2	4	3	4	6	9	35		82
不 明 ・ 調 査 中	1	3				2	6	6	9	18	27	39	31	61	79	66	221	3	572
計	2	5	2	5	9	9	16	27	30	69	75	117	86	157	218	190	480	6	1,503

3 放火自殺者を除いた死者の実態について

令和5年中の放火自殺者(心中の道づれを含む。以下同じ。)を除いた火災による死者は、前年の1,201人に比べ35人増加して1,236人発生している(第1表、第1図)。

(1) 放火自殺者を除いた月別の死者発生状況

放火自殺者を除いた月別の死者発生状況をみると、「1月」から「3月」、「12月」の4ヶ月の月平均159.8人は、年間の月平均103.0人を大きく上回っており、この期間で51.7%に当たる639人の死者が発生している。一般的にこの時季は、暖房器具等の火気を使用する機会が多く、空気も乾燥しているため火災が発生しやすく、それに伴って死者も多いものと考えられる(第21表、第8図)。

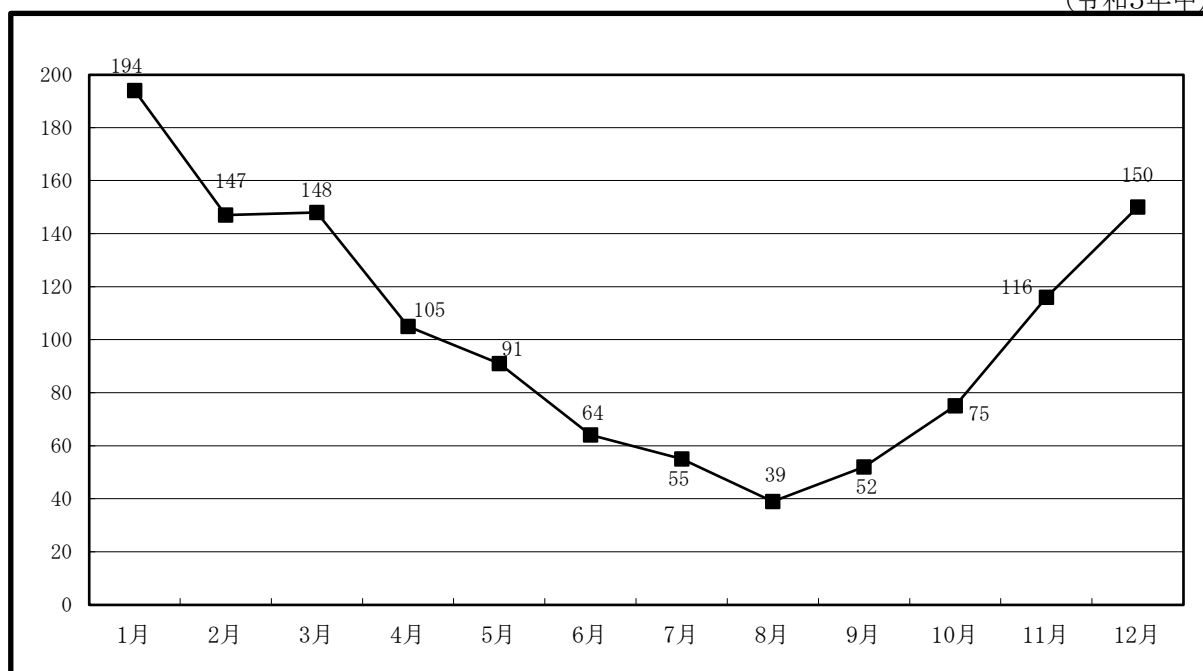
第21表 放火自殺者を除いた月別の死者発生状況

(令和5年中)

区分 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
死者数(人)	194	147	148	105	91	64	55	39	52	75	116	150	1,236
割合(%)	15.7	11.9	12.0	8.5	7.4	5.2	4.4	3.2	4.2	6.1	9.4	12.1	100.0

第8図 放火自殺者を除いた月別の死者発生状況

(令和5年中)



(2)放火自殺者を除いた時間帯別の死者発生状況

放火自殺者を除いた時間帯別の死者発生状況をみると、「19時台」が67人と最も多く、次いで「4時台」が60人、「1時台・12時台」が59人となっている。一方、死者の発生が少ないのは、「8時台」の35人、「7時台・22時台」の38人、「9時台」の39人となっている(第22表、第9図)。

第22表 放火自殺者を除いた時間帯別の死者発生状況

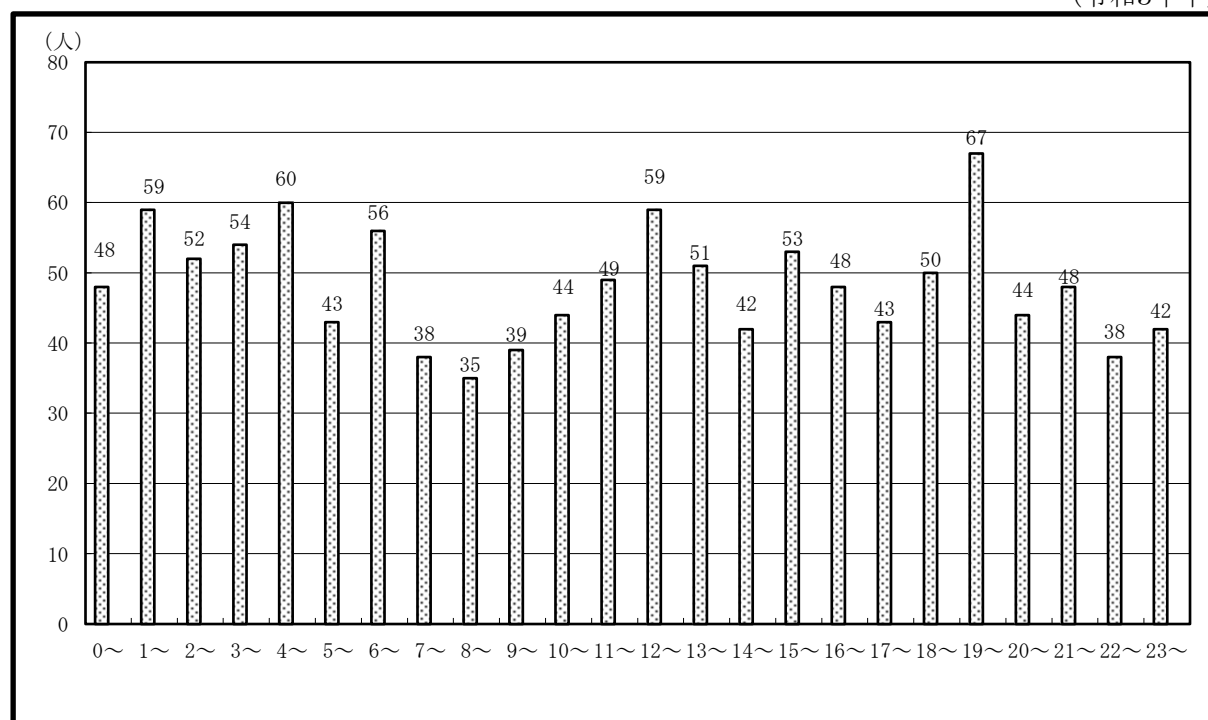
(令和5年中)

時間帯 区 分	0～	1～	2～	3～	4～	5～	6～	7～	8～	9～	10～	11～	12～
死者数(人)	48	59	52	54	60	43	56	38	35	39	44	49	59
割合(%)	3.9	4.8	4.2	4.4	4.9	3.5	4.5	3.1	2.8	3.2	3.6	4.0	4.8

時間帯 区 分	13～	14～	15～	16～	17～	18～	19～	20～	21～	22～	23～	不明	計
死者数(人)	51	42	53	48	43	50	67	44	48	38	42	74	1,236
割合(%)	4.1	3.4	4.3	3.9	3.5	4.0	5.4	3.6	3.9	3.1	3.4	6.0	100.0

第9図 放火自殺者を除いた時間帯別の死者発生状況

(令和5年中)



(注) 死亡時刻不明74名を除く。

(3) 放火自殺者を除いた火災種別ごとの死者発生状況

放火自殺者を除いた火災種別ごとの死者発生状況をみると、「建物火災」による死者が1,092人で死者総数のほぼ9割を占めている。(第23表)。

第23表 放火自殺者を除いた死者の火災種別ごとの発生状況

(令和5年中)

区分	火災種別	計	建 物 火 災					車両 火災	林野 火災	航空機 火災	船舶 火災	その他 の火災
			全焼	半焼	部分焼	ぼや	不明					
死者数 (人)		1,236	708	128	193	62	1	42	8	0	0	94
割 合 (%)		(100.0%)	1,092 (88.3%)					(3.4%)	(0.6%)	(0.0%)	(0.0%)	(7.6%)
死者の出た火災件数 (件)		1,126	627	113	185	62	1	37	8	0	0	93
割 合 (%)		(100.0%)	988 (87.7%)					(3.3%)	(0.7%)	(0.0%)	(0.0%)	(8.3%)

(4) 放火自殺者を除いた建物用途別、階層別の死者発生状況

放火自殺者を除いた建物用途別の死者発生状況をみると、「住宅」での死者が1,029人で全体の94.2%を占めていることから、住宅防火対策を一層推進していくことが重要である。放火自殺者を除いた建物階層別の死者発生状況をみると、「1階」での死者が762人(69.8%)、「2階」が222人(20.3%)と「1階」と「2階」で全体の90.1%を占めている。また、「3階」以上での死者(76人)のうち、共同住宅での死者が64人、「複合用途特定」及び「複合用途非特定」での死者が9人で合わせて96.1%を占めている(第24表)。

第24表 放火自殺者を除いた建物用途別、階層別の死者発生状況
(令和5年中)(単位:人)

建物用途 階層	計	一般住宅	共同住宅	併用住宅	劇場	公会堂	キャバレー	遊技場	性風俗	カラオケボックス	料理店	飲食店	物品販売店舗	旅館ホテル	病院診療所	特別養護老人ホーム等	老人デイサービスセンター等	幼稚園
地下2階	1	1																
地下1階	1	1																
1階	762	644	77	11								1		1				
2階	222	154	48	2								1						
3階	34	1	24	1														
4階	13		13															
5階	6		6															
6階	7		7															
7階	6		6															
8階以上	10		8															
不 明	30	22	1	2														
合計	1,092 (割合%)	823 (100.0)	190 (94.2)	16	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.2)	0 (0.0)	1 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
令和4年 (割合%)	1,068 (100.0)	780 (91.3)	176 (91.3)	19	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (0.5)	2 (0.2)	1 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

建物用途 階層	学校	図書館	特殊浴場	公衆浴場	停車場	神社寺院	工場作業場	スタジオ	車庫駐車場	航空機格納庫	倉庫	事務所	複合用途特定	複合用途非特定	地下街	準地下街	文化財	その他
地下2階																		
地下1階																		
1階						2	4				3		8	9				2
2階							3				1	1	2	9				1
3階							1						3	4				
4階																		
5階																		
6階																		
7階																		
8階以上													2					
不 明						1	2						1	1				
合計	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (0.3)	10 (0.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (0.4)	1 (0.1)	16 (1.5)	23 (2.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (0.3)
令和4年 (割合%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.1)	0 (0.0)	3 (0.3)	11 (1.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.1)	0 (0.0)	24 (2.2)	38 (3.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	7 (0.7)

(注) 1 「建物用途」は、消防法施行令別表第一による区分であり、施設の名称はその例示である(一般住宅、併用住宅及びその他を除く。)。

2 階層は死者の発生した場所の存する階を示す。

(5) 放火自殺者を除いた建物構造別の死者発生状況

放火自殺者を除いた建物構造別の死者発生状況をみると、「木造」での死者が最も多く705人で64.6%を占め、次いで「耐火造」での死者が144人(13.2%)となっている。また、火災件数と死者数を建物構造別に火災件数100件当たりの割合でみると、「木造」が8.1件(9.1人)と最も多く、次いで「防火造」が6.3件(6.7人)、「準耐火木造」2.7件(2.7人)となっている(第25、26表)。

第25表 放火自殺者を除いた建物構造別、焼損程度別、階層別の死者発生状況
(令和5年中)(単位:人)

焼損程度	階層別 構造	地下 2階 以下	地下 1階	1階	2階	3階	4階	5階	6階	7階	8階 以上	不明	計
全焼	木造	1		459	84							21	565
	防火造			55	11							1	67
	準耐火木造			3	1								4
	準耐火非木造			15	8	1							24
	耐火造			7	1								8
	その他			30	6							4	40
	計	1	0	569	111	1	0	0	0	0	0	26	708
半焼	木造			44	28								72
	防火造		1	13	12	1							27
	準耐火木造				2								2
	準耐火非木造			5	5								10
	耐火造			7	1	1						1	10
	その他			3	4								7
	計	0	1	72	52	2	0	0	0	0	0	1	128
部分焼	木造			29	7	1						1	38
	防火造			4	7								11
	準耐火木造			2		1							3
	準耐火非木造			8	6	2	1						17
	耐火造			30	23	23	9	5	7	5	10	1	113
	その他			4	4	3							11
	計	0	0	77	47	30	10	5	7	5	10	2	193
ぼや・不明	木造			25	4							1	30
	防火造			6	5								11
	準耐火木造												0
	準耐火非木造			4	2								6
	耐火造			6	1	1	3	1		1			13
	その他			3									3
	計	0	0	44	12	1	3	1	0	1	0	1	63
計	木造	1	0	557	123	1	0	0	0	0	0	23	705
	防火造	0	1	78	35	1	0	0	0	0	0	1	116
	準耐火木造	0	0	5	3	1	0	0	0	0	0	0	9
	準耐火非木造	0	0	32	21	3	1	0	0	0	0	0	57
	耐火造	0	0	50	26	25	12	6	7	6	10	2	144
	その他	0	0	40	14	3	0	0	0	0	0	4	61
	計	1	1	762	222	34	13	6	7	6	10	30	1,092

第26表 放火自殺者を除いた死者の建物構造別による火災100件当たりの
火災発生及び死者の状況

(令和5年中)(単位:件、人)

区分 \ 構造別		木造	防火造	準耐火木造	準耐火非木造	耐火造	その他	計
火災件数	出火件数	7,762	1,722	335	2,398	6,299	2,458	20,974
	放火自殺者を除いた死者を伴った火災件数	629	109	9	51	135	55	988
	火災100件当たりの割合	8.1	6.3	2.7	2.1	2.1	2.2	4.7
死者数	放火自殺者を除いた死者数	705	116	9	57	144	61	1,092
	火災100件当たりの割合	9.1	6.7	2.7	2.4	2.3	2.5	5.2

(6) 放火自殺者を除いた建物用途別、構造別の死者発生状況

放火自殺者を除いた建物用途別、構造別の死者発生状況をみると、「木造」のうち「住宅」での死者が686人（一般住宅647人、共同住宅27人、併用住宅12人）で97.3%を占めている。また、「耐火造」のうち「住宅」での死者は127人（一般住宅13人、共同住宅114人、併用住宅0人）で88.2%となっている。

「住宅」における火災100件当たりの死者の割合を構造別にみると、「木造」、「防火造」において、ともに高い割合となっている（第27表）。

第27表 放火自殺者を除いた建物用途別、構造別の死者状況

（令和5年中）

建物用途 構造		計	住 宅			劇 場	公 会 堂	キ ャ パ レ ー ー	遊 技 場	性 風 俗	ホカ ッラ クオ スケ	料 理 店	飲 食 店	物 品 販 売 店 舗	旅 館 ・ ホ テ ル	病 院 ・ 診 療 所	ホ ー ム メ ン バ ー 等	特 別 養 護 老 人 等	セ ン ジ ー サ ー ビ ス 等	幼 稚 園
			一般 住宅	共同 住宅	併用 住宅															
木 造	出火件数 (件)	7,705	5,788	378	182		12		2			5	258	43	43	3	18	21		
	死者 (人)	705	647	27	12							1		1						
	100件当たりの死者 (人)	9.1	11.2	7.1	6.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
防火造	出火件数 (件)	1,707	980	293	44		3	1	1			1	60	11	8			5		
	死者 (人)	116	88	21	1								1							
	100件当たりの死者 (人)	6.8	9.0	7.2	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
準耐火木造	出火件数 (件)	333	165	79	4				2				11	4	1	1	6	3		
	死者 (人)	9	5	3	1								3							
	100件当たりの死者 (人)	2.7	3.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
準耐火非木造	出火件数 (件)	2,392	287	293	23		5	2	8		4	2	80	72	8	3	8	12		
	死者 (人)	57	32	16	1								1							
	100件当たりの死者 (人)	2.4	11.1	5.5	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
耐火造	出火件数 (件)	6,284	193	2,509	25	11	13		17		3	2	117	142	115	58	51	51	7	
	死者 (人)	144	13	114																
	100件当たりの死者 (人)	2.3	6.7	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	出火件数 (件)	2,449	597	143	35		1		2				77	36	11	4	3	8		
	死者 (人)	61	38	9	2															
	100件当たりの死者 (人)	2.5	6.4	6.3	5.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	出火件数 (件)	20,870	8,010	3,695	313	11	34	3	32	0	7	10	603	308	186	69	86	100	7	
	死者 (人)	1,092	823	190	16	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	
	100件当たりの死者 (人)	5.2	10.3	5.1	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

建物用途 構造		学 校	図 書 館	特 殊 浴 場	公 衆 浴 場	停 車 場	神 社 ・ 寺 院	工 場 ・ 作 業 場	ス タ ジ オ	車 庫 ・ 駐 車 場	航 空 機 格 納 庫	倉 庫 ・ 納 屋	事 務 所	複 合 用 途 ・ 特 定	複 合 用 途 ・ 非 特 定	地 下 街	準 地 下 街	文 化 財	そ の 他
木 造	出火件数（件）	2		2	1	1	51	170		7	1	155	177	107	64			4	210
	死者（人）						9	2					1	4	5				2
	100件当たりの死者（人）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	3.7	7.8	0.0	0.0	0.0	1.0
防火造	出火件数（件）	6				1	1	55		1		16	32	83	95				10
	死者（人）														3				
	100件当たりの死者（人）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0
準耐火木造	出火件数（件）	1						14				2	4	19	17				
	死者（人）														1				
	100件当たりの死者（人）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0
準耐火非木造	出火件数（件）	10	1		1	2	4	991	1	11	1	138	192	122	87				24
	死者（人）							3				2			2				1
	100件当たりの死者（人）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	4.2
耐火造	出火件数（件）	146	9	2	2	15	2	226	1	17		41	308	1747	408	14			32
	死者（人）							1						10	6				
	100件当たりの死者（人）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	出火件数（件）	3			1	5	1	448	1	14		252	196	60	51				500
	死者（人）							4				2			6				
	100件当たりの死者（人）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0
計	出火件数（件）	168	10	4	5	24	59	1,904	3	50	2	604	909	2,138	722	14	0	4	776
	死者（人）	0	0	0	0	0	3	10	0	0	0	4	1	16	23	0	0	0	3
	100件当たりの死者（人）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.1	0.5	0.0	0.0	0.0	0.7	0.1	0.7	3.2	0.0	0.0	0.0	0.4

（注） 1 出火件数とは、建物火災件数から放火自殺者出火件数を除いたものをいう。

2 「建物用途」は、消防法施行令別表第一による区分であり、施設の名称はその例示である（一般住宅、併用住宅及びその他を除く。）。

(7) 死因別の死者発生状況

放火自殺者を除いた死因別の死者発生状況をみると、「火傷」による死者が523人で放火自殺者を除いた死者(1,236人)の42.3%を占め、次いで「一酸化炭素中毒・窒息」による死者が452人で36.6%となっている。(第28表)

第28表 放火自殺者を除く死因別の死者及び放火自殺者の発生状況

(単位:人、%)

区分 年	一酸化炭素 中毒・窒息	火傷	打撲 骨折等	その他	不明	小計	放火 自殺	合計
平成22年	559 (42.8)	531 (40.7)	3 (0.2)	63 (4.8)	149 (11.4)	1,305 (100.0)	433 [24.9]	1,738
平成23年	563 (41.8)	544 (40.4)	5 (0.4)	60 (4.5)	176 (13.1)	1,348 (100.0)	418 [23.7]	1,766
平成24年	535 (40.1)	581 (43.6)	4 (0.3)	67 (5.0)	147 (11.0)	1,334 (100.0)	387 [22.5]	1,721
平成25年	493 (38.3)	573 (44.5)	2 (0.2)	65 (5.0)	155 (12.0)	1,288 (100.0)	337 [20.7]	1,625
平成26年	473 (37.3)	596 (47.0)	10 (0.8)	47 (3.7)	143 (11.3)	1,269 (100.0)	409 [24.4]	1,678
平成27年	501 (41.3)	487 (40.1)	3 (0.2)	76 (6.3)	147 (12.1)	1,214 (100.0)	349 [22.3]	1,563
平成28年	431 (38.6)	479 (42.9)	2 (0.2)	66 (5.9)	138 (12.4)	1,116 (100.0)	336 [23.1]	1,452
平成29年	435 (37.8)	474 (41.1)	2 (0.2)	77 (6.7)	164 (14.2)	1,152 (100.0)	304 [20.9]	1,456
平成30年	441 (37.0)	497 (41.7)	4 (0.3)	83 (7.0)	166 (13.9)	1,191 (100.0)	236 [16.5]	1,427
令和元年	466 (38.5)	482 (39.8)	3 (0.2)	91 (7.5)	169 (14.0)	1,211 (100.0)	275 [18.5]	1,486
令和2年	404 (36.7)	484 (44.0)	2 (0.2)	75 (6.8)	135 (12.3)	1,100 (100.0)	226 [17.0]	1,326
令和3年	439 (37.4)	500 (42.6)	4 (0.3)	90 (7.7)	141 (12.0)	1,174 (100.0)	243 [17.1]	1,417
令和4年	446 (37.1)	501 (41.7)	6 (0.5)	92 (7.7)	156 (13.0)	1,201 (100.0)	251 [17.3]	1,452
令和5年	452 (36.6)	523 (42.3)	3 (0.2)	86 (7.0)	172 (13.9)	1,236 (100.0)	267 [17.8]	1,503

(注) ()内は構成比を示す。また、[]は火災による死者総数に対する放火自殺者の割合を示す。

第29表 建物構造別、焼損程度別、死因別の死者及び放火自殺者の発生状況

(令和5年中)(単位:人)

区分		全 焼								半 焼								部 分 焼							
		一酸化炭素中毒・窒息	火傷	打撲・骨折	その他	不明	小計	放火自殺者	合計	一酸化炭素中毒・窒息	火傷	打撲・骨折	その他	不明	小計	放火自殺者	合計	一酸化炭素中毒・窒息	火傷	打撲・骨折	その他	不明	小計	放火自殺者	合計
死者数	木造	196	225	1	39	104	565	29	594	30	25		5	12	72	7	79	20	12		2	4	38	10	48
	防火造	24	34		2	7	67	3	70	10	17				27	7	34	6	2		1	2	11	4	15
	準耐火木造	3	1				4		4	2					2	1	3	2	1				3	1	4
	準耐火非木造	12	7		2	3	24	3	27	8	2				10	1	11	10	5		2		17	2	19
	耐火造	4				4	8	1	9	7	1			2	10		10	65	35		8	5	113	11	124
	その他	15	13		3	9	40	5	45	3	4				7	1	8	4	4		3		11		11
	計	254	280	1	46	127	708	41	749	60	49	0	5	14	128	17	145	107	59	0	16	11	193	28	221

区分		ぼ や								不 明								合 計							
		一酸化炭素中毒・窒息	火傷	打撲・骨折	その他	不明	小計	放火自殺者	合計	一酸化炭素中毒・窒息	火傷	打撲・骨折	その他	不明	小計	放火自殺者	合計	一酸化炭素中毒・窒息	火傷	打撲・骨折	その他	不明	小計	放火自殺者	合計
死者数	木造	3	26		1		30	14	44									249	288	1	47	120	705	60	765
	防火造	3	7		1		11	2	13									43	60	0	4	9	116	16	132
	準耐火木造																	7	2	0	0	0	9	2	11
	準耐火非木造	4			1		5		5			1			1		1	34	14	1	5	3	57	6	63
	耐火造	6	6		1		13	3	16									82	42	0	9	11	144	15	159
	その他	1	2				3	3	6									23	23	0	6	9	61	9	70
	計	17	41	0	4	0	62	22	84	0	0	1	0	0	1	0	1	438	429	2	71	152	1,092	108	1,200

(8) 死に至った経過と年齢別の死者発生状況

死に至った経過別の死者発生状況をみると、「逃げ遅れ」が475人で放火自殺者を除く死者総数(1,236人)の38.4%を占め、次いで「着衣着火」が97人で7.8%、「出火後再進入」が19人で1.5%となっている。「逃げ遅れ」の死者を詳しくみると、「病気・身体不自由」が121人で「逃げ遅れ」による死者(475人)の25.5%を占め、次いで「熟睡」が71人で14.9%と高い割合を示している(第30表)。次に、放火自殺者を除いた年齢別の死者発生状況をみると、高齢者の死者が多く、「81歳以上」が451人、次いで「71歳～75歳」が170人となっており、65歳以上の高齢者の死者(910人)が放火自殺者を除く死者総数(1,236人)の73.6%を占めている(第10図、第31表)。また、放火自殺者を除いた死者の年齢別の人口10万人当たりの死者発生状況をみても同様に、高齢者の死者発生の割合が非常に高くなっている(第11図)。高齢者人口は今後更に増加すると予想されるので、高齢者に対する火災予防対策をより一層推進することが必要である。

第30表 死に至った経過と年齢別の死者発生状況

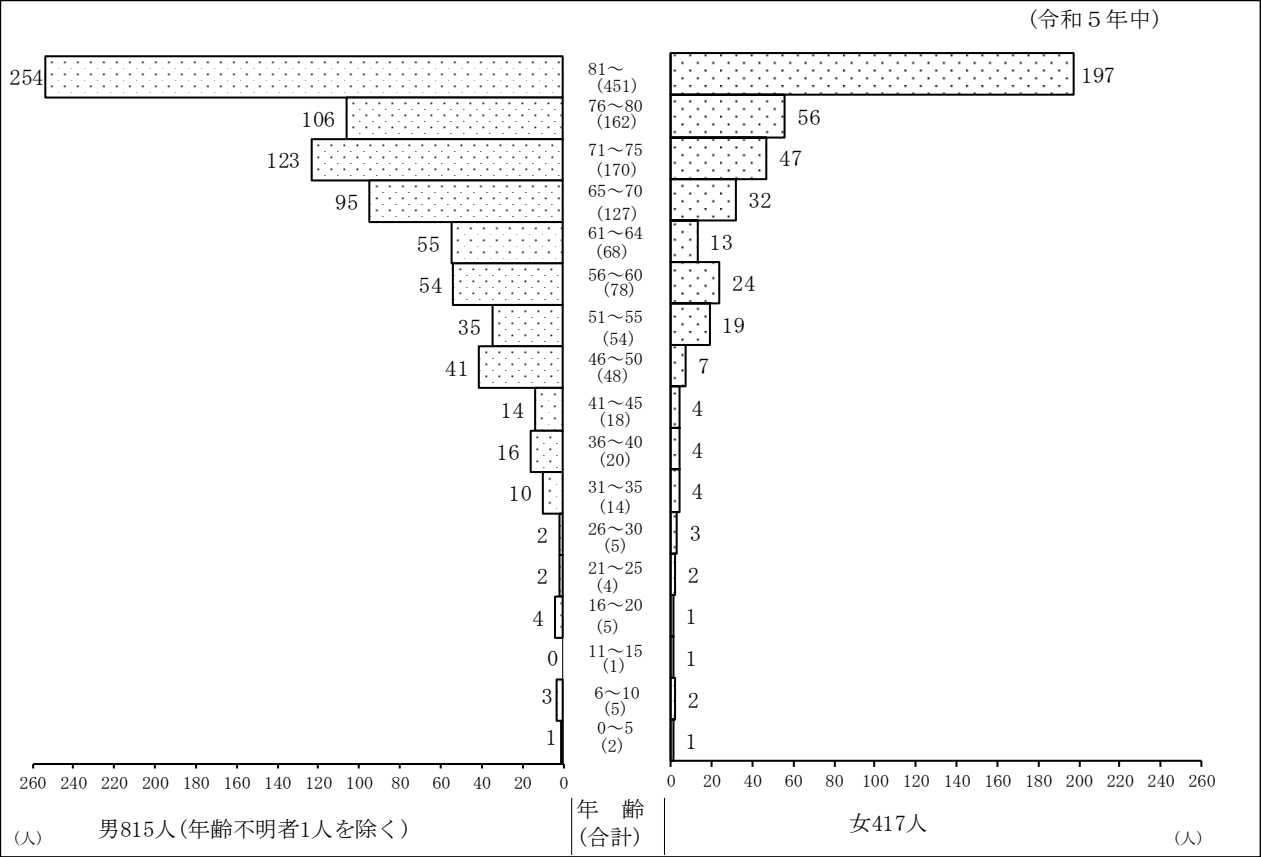
年 齢 区 分 等	逃 げ 遅 れ																							
	発見が遅れ、気づいた時は、火煙が回り、すでに逃げ道がなかったものと思われるもの。 （全く気づかなかった場合を含む）				判断力に欠け、あるいは体力的条件が悪く、ほとんど避難できなかったと思われるもの。				延焼拡大が早かった等のため、ほとんど避難ができなかったと思われるもの。				逃げれば逃げられたが、逃げる機会を失ったと思われるもの。				避難行動を起こしているが、逃げ切れなかったと思われるもの。 （一応自力避難したが、避難中火傷、ガス吸引し病院等で死亡した場合を含む）							
	熟 睡	泥 酔	病 気 ・ 身 体 不 自 由	そ の 他	乳 児	泥 酔	病 気 ・ 身 体 不 自 由	老 衰	そ の 他	ガ ス 爆 発 の た め	危 険 物 燃 焼 の た め	そ の 他	狼 狽 し て	持 出 品 ・ 服 装 に 気 を と ら れ	火 災 を ふ れ ま わ つ て い る う ち に	消 火 し よ う と し て	人 を 救 助 し よ う と し て い て	そ の 他	身 体 不 自 由 の た め	延 焼 拡 大 が 早 く	逃 げ 道 を 間 違 え て	出 入 口 施 錠 の た め	そ の 他	
0～5	1																							
6～10	2								1															
11～15																					1			
16～20	1										2										1			
21～25												1												
26～30									1							1								
31～35	1	1							1									1						
36～40							1				2													1
41～45				1			1				1										1			
46～50	3	1		3					1	1		1				2		2	4	2	1			1
51～55				1			3			1		1				3		1	2	6				3
56～60	7	1	1	3								1		1		3				1				6
61～64	1	2	1	4			2		1			1				1			2	1				5
65～70	16	1	3	4			5		1		1	2				4			6	6	1			6
71～75	13	1	8	6		1	7	1				1			1	7		1	7	9				11
76～80	12	2	2	6			9				1	1				5		3	7	7	1			9
81～	14		12	24			9	4	4		2	4	1	1	1	16		6	29	22			2	17
不明																								
合計	71	9	27	52	0	1	37	5	10	2	9	13	1	2	2	42	0	14	57	57	3	2		59
(割合%)	159 (12.9)				53 (4.3)				24 (1.9)				61 (4.9)				178 (14.4)							
	475 (38.4)																							
令和4年	72	6	23	48	0	2	45	13	12	4	4	16	3	2	4	53	6	15	54	61	4	5		50
(割合%)	149 (12.4)				72 (6.0)				24 (2.0)				83 (6.9)				174 (14.5)							
	502 (41.8)																							

(注) () 内は構成比を示す。また、〔 〕は火災による死者総数に対する放火自殺者の割合を示す。

(令和5年中) (単位:人)

出火後再進入			着 衣 着 火								自 損 ・ 殺 人		そ の 他		小 計	放 火 自 殺 者 （ 心 中 の 道 づ れ を 含 む ）	合 計
一旦屋外避難後、再進入したと思われるものの。 出火時屋外にいて、出火後再進入したと思われるものの。			着衣着火し、火傷（熱傷）あるいはガス中毒により死亡したと思われるもの。														
救 助 ・ 物 品 搬 出 の た め	消 火 の た め	そ の 他	喫 煙 中	炊 事 中	採 暖 中（たき火を除く）	た き 火 中	火 あ そ び 中	そ の 他 火 気 取 扱 い 中	そ の 他	放 火 自 殺 の 巻 き 添 え 者	放 火 自 殺 人 の 犠 牲 者	左 記 以 外 の 経 過 等	不 明 ・ 調 査 中				
													1	2		2	
													2	5		5	
														1	1	2	
											1			5		5	
								1	1			1		4	5	9	
												1	2	5	4	9	
												2	8	14	2	16	
					1					1		1	13	20	7	27	
1												1	12	18	12	30	
									1			4	21	48	21	69	
				1					2	1		3	26	54	21	75	
	1		1	1					2	1		1	47	78	39	117	
1				1								3	42	68	18	86	
1		1			1			1	2		1	1	63	127	30	157	
1	1	2	1	1		2		2	1			3	82	170	48	218	
2	2	1	2	1		2		9	1	1	1	4	71	162	28	190	
2	1	2	2	10	1	23		15	8	1		8	210	451	29	480	
													4	4	2	6	
8	5	6	6	15	3	27	0	28	18	5	3	33	604	1,236	267	1,503	
19 (1.5)			97 (7.8)								8 (0.6)		637 (51.5)		100.0	[17.8]	100.0
5	8	7	6	13	2	26	0	36	18	4	2	23	549	1,201	251	1,452	
20 (1.7)			101 (8.4)								6 (0.5)		572 (47.6)		100.0	[17.3]	100.0

第10図 放火自殺者を除いた年齢別、性別の死者発生状況



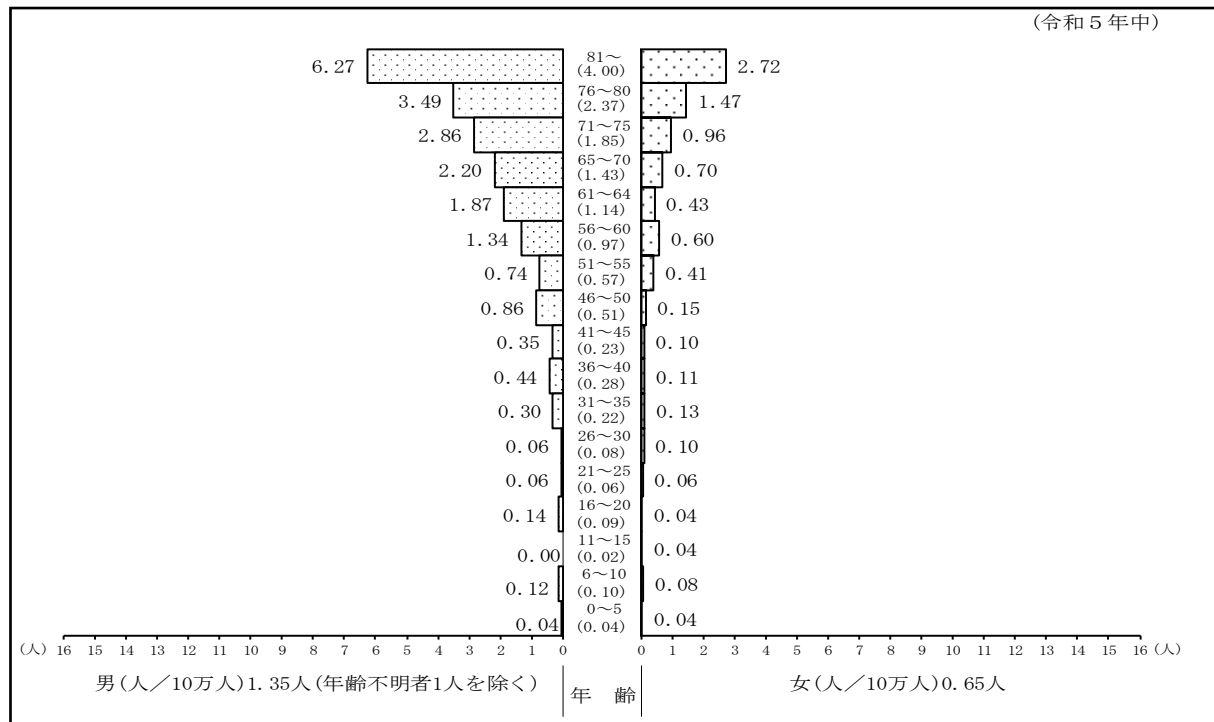
(注) 1 年齢性別不明者3名を除く。
2 () は、放火自殺者を除いた年齢別の死者数を示す。

第31表 放火自殺者を除いた乳幼児、高齢者の死者数の推移

区分 年	放火自殺者 を除いた 死者数(人)	乳幼児（5歳以下）			高齢者（65歳以上）		
		人 口 (千人)	死者数 (人)	人口10万人 当たりの 死者数(人)	人 口 (千人)	死者数 (人)	人口10万人 当たりの 死者数(人)
5年	1,194	7,395	51	0.69	16,897	537	3.18
6年	1,274	7,308	67	0.92	17,586	556	3.16
7年	1,820	7,224	70	0.97	18,260	918	5.03
8年	1,267	7,183	64	0.89	19,017	657	3.45
9年	1,321	7,165	50	0.70	19,760	649	3.28
10年	1,206	7,155	66	0.92	20,510	572	2.79
11年	1,346	7,148	41	0.57	21,187	691	3.26
12年	1,302	7,108	44	0.62	22,005	645	2.93
13年	1,390	7,088	44	0.62	22,867	670	2.93
14年	1,372	7,067	32	0.45	23,629	683	2.89
15年	1,433	6,997	36	0.51	24,310	744	3.06
16年	1,380	6,904	39	0.56	24,878	726	2.92
17年	1,559	6,761	57	0.84	25,672	839	3.27
18年	1,475	6,671	41	0.84	26,601	826	3.27
19年	1,430	6,585	57	0.87	27,465	814	2.96
20年	1,434	6,520	17	0.26	28,217	864	3.06
21年	1,313	6,464	24	0.37	29,006	781	2.69
22年	1,305	6,464	27	0.42	29,006	783	2.70
23年	1,348	6,364	16	0.25	29,750	866	2.91
24年	1,334	6,342	12	0.19	30,792	839	2.72
25年	1,288	6,312	8	0.13	31,899	881	2.76
26年	1,269	6,258	16	0.26	32,999	866	2.62
27年	1,214	6,032	12	0.20	33,465	784	2.34
28年	1,116	6,009	8	0.13	34,590	755	2.18
29年	1,152	5,926	7	0.12	35,151	823	2.34
30年	1,191	5,850	12	0.21	35,580	839	2.36
令和 元年	1,211	5,734	4	0.07	35,884	849	2.37
令和 2年	1,100	5,515	3	0.05	35,336	767	2.17
令和 3年	1,174	5,368	1	0.02	36,213	851	2.35
令和 4年	1,201	5,185	2	0.04	36,236	877	2.42
令和 5年	1,236	5,003	2	0.04	36,224	910	2.51

(注) 1 平成3年以降は高齢者を65歳以上としたデータである。
2 人口は、令和5年10月1日現在の人口推計（総務省統計局）による。

第11図 放火自殺者を除いた年齢別の人口10万人当たりの死者数



(9) 高齢者、身体不自由者等の建物用途別、階層別の死者発生状況

建物火災で発生した死者のうち、高齢者、身体不自由者及び病人であった886人について、建物用途別、階層別にみると、一般住宅における死者(発生階層不明を除く653人)の発生割合は、2階以上(102人)で15.6%であるが、共同住宅における死者の2階以上(89人)の発生割合は58.2%と多くなっている(第32表)。

第32表 高齢者、身体不自由者等の建物用途別、階層別の死者発生状況

(令和5年中)(単位:人、%)

建物用途 階層	計	一般住宅	共同住宅	併用住宅	劇場	公会堂	キャバレー	遊技場	性風俗	ボカッラクオ	料理店	飲食店	物品販売店舗	旅館・ホテル	病院・診療所	特別養護老人ホーム	老人デイサービス等
地下2階	0																
地下1階	1	1															
1階	649	550	64	11								1		1			
2階	155	102	40	2								1					
3階	21		17														
4階	10		10														
5階	6		6														
6階	5		5														
7階	5		5														
8階以上	8		6														
不明	26	20	1	2													
計	886	673	154	15	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0
(割合%)	100.0	(95.0)	(17.3)	(1.5)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.2)	(0.0)	(0.1)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
令和4年	883	658	142	15	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	0	0
(割合%)	100.0	(92.3)	(16.1)	(1.7)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.3)	(0.2)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)

建物用途 階層	幼稚園	学校	図書館	特殊浴場	公衆浴場	停車場	神社・寺院	工場・作業場	スタジオ	車庫・駐車場	航空機格納庫	倉庫・納屋	事務所	複合用途・特定	複合用途・非特定	文化財	その他
地下2階																	
地下1階																	
1階							1	2				1		8	8		2
2階								3						2	5		
3階														1	3		
4階																	
5階																	
6階																	
7階																	
8階以上														2			
不明								2						1			
計	0	0	0	0	0	0	1	7	0	0	0	1	0	14	16	0	2
(割合%)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.1)	(0.8)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.1)	(0.0)	(1.6)	(1.8)	(0.0)	(0.2)
令和4年	0	0	0	0	1	0	3	1	0	0	0	1	0	23	30	0	4
(割合%)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.1)	(0.0)	(0.3)	(0.1)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.1)	(0.0)	(2.6)	(3.4)	(0.0)	(0.5)

(注) 1 「建物用途」は、消防法施行令別表第一による区分であり、施設の名称はその例示である(一般住宅、併用住宅及びその他を除く。)

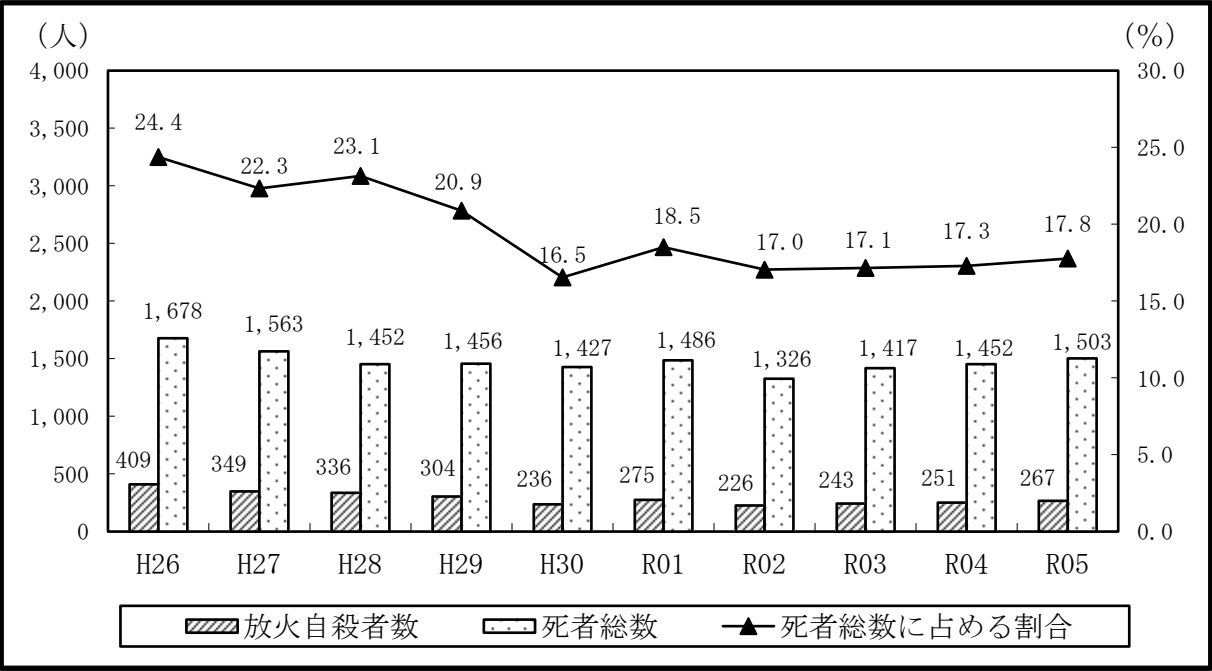
2 階層は死者の発生した場所の存する階を示す。

4 放火自殺者の実態について

令和5年中の放火自殺者は267人で前年(251人)より16人増加している。また、死者総数(1,503人)に占める割合は、17.8%を占めている。過去10年間の傾向をみると平成26年をピークに減少傾向を示していたが、令和2年以後は微増に転じている。(第12図)。都道府県別の放火自殺者は「東京都」が17人と最も多く、次いで「埼玉県・千葉県」の16人、「福岡県」の15人となっている。(第2表、第2図)

第12図 過去10年間における放火自殺者の推移

(平成26年～令和5年中)



(1) 放火自殺者の火災種別ごとの死者発生状況

放火自殺者を火災種別ごとにみると、「建物火災」が108人(40.4%)で最も多く、次いで「車両火災」が63人(23.6%)となっている(第33表)。

第33表 火災種別ごとの放火自殺者数

(令和5年中)(単位:人)

建 物 火 災		車両火災	林野火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災	計
全 焼	41	63	0	0	0	96	267
半 焼	17						
部 分 焼	28						
ぼ や	22						
不 明	0						
小 計	108						
割合 (%)	40.4	23.6	0.0	0.0	0.0	36.0	100.0

(2) 放火自殺者の月別、時間帯別の死者発生状況

放火自殺者の発生状況を月別にみると、「3月」が43人で最も多く、次いで「10月」が30人、「5月」が26人となっている(第34表、第13図)。また、時間帯別にみると、「9時台・13時台」が17人で最も多く、次いで「2時台・11時台」が15人となっている(第35表、第14図)。

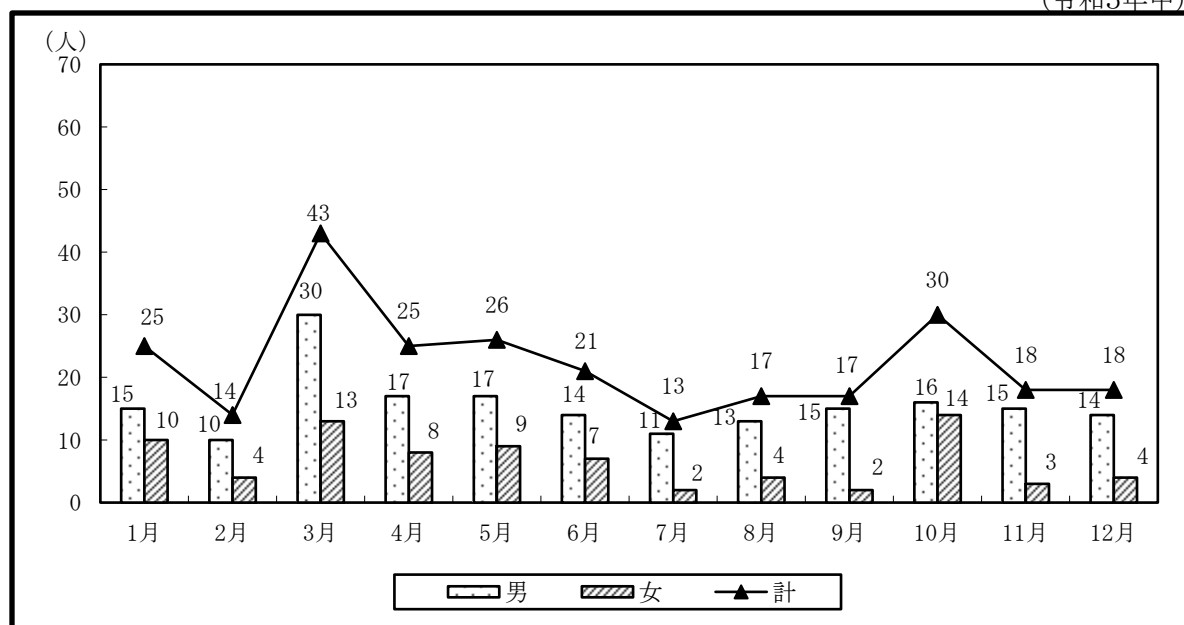
第34表 月別、年齢別、性別の放火自殺者数

(令和5年中)

年令 \ 月	性別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
0～5	男													0	0
	女													0	
6～10	男													0	0
	女													0	
11～15	男													0	1
	女			1										1	
16～20	男													0	0
	女													0	
21～25	男				2	1								3	5
	女		1										1	2	
26～30	男			1									1	2	4
	女				1				1					2	
31～35	男			1									1	2	2
	女													0	
36～40	男		1	2									1	4	7
	女		1								2			3	
41～45	男		1	4									1	6	12
	女	1		1		1	2		1					6	
46～50	男	1	1	2	1	2	2	2	1	1	1		3	17	21
	女			3	1									4	
51～55	男		1	2	1	1	1		3	2		2		13	21
	女	3	1	2			1	1						8	
56～60	男	3	1	3	3	4	5	2	1	2		4	1	29	39
	女		1		1	1		1	1	1	1	2	1	10	
61～64	男	1		2	2				1	2	2	1	2	13	18
	女	3									2			5	
65～70	男	3			1	4	1	2	1	2	4	3		21	30
	女	1		1	1	2					1	1	2	9	
71～75	男	5	3	6	1	1	5	1	2	6	4		1	35	48
	女	2		2	1	2	2			1	3			13	
76～80	男		1	4	2	2			4		2	1	1	17	28
	女			2	1	2	1		1		4			11	
81～	男	2	1	3	4	2		4			3	4	1	24	29
	女			1	1	1	1				1			5	
不 明	男												1	1	2
	女				1									1	
計	男	15	10	30	17	17	14	11	13	15	16	15	14	187	
	女	10	4	13	8	9	7	2	4	2	14	3	4	80	
	性別不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	25	14	43	25	26	21	13	17	17	30	18	18	267	

第13図 月別の放火自殺者発生状況

(令和5年中)



第35表 時間帯別の放火自殺者発生状況

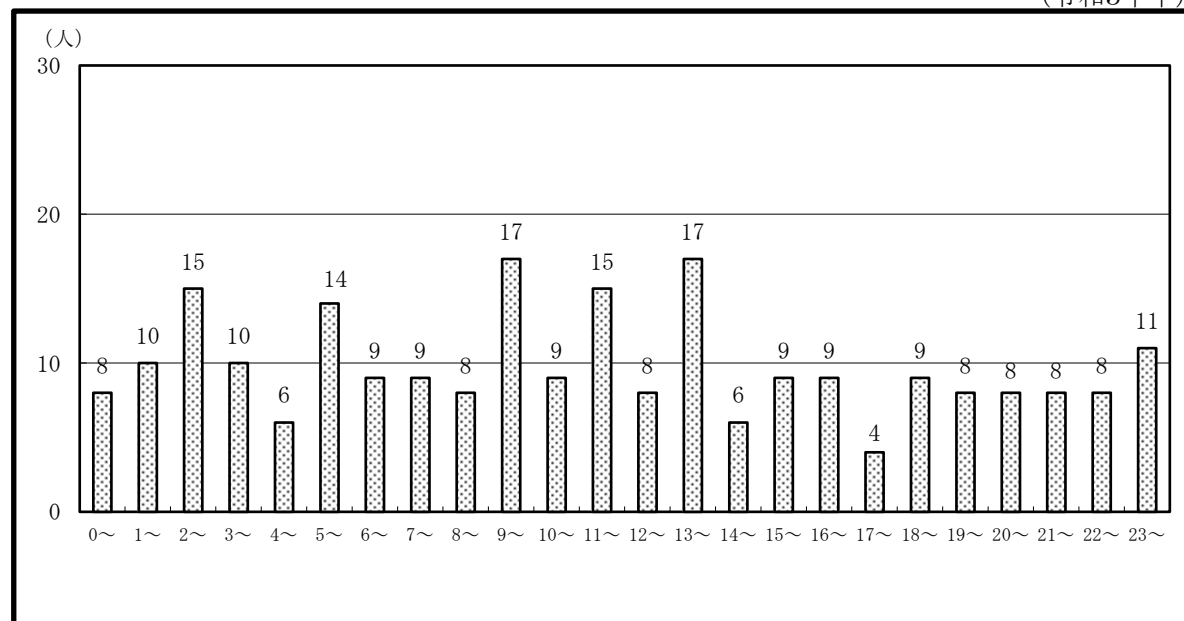
(令和5年中)

区分	時間帯	0～	1～	2～	3～	4～	5～	6～	7～	8～	9～	10～	11～	12～
死者数 (人)		8	10	15	10	6	14	9	9	8	17	9	15	8
割合 (%)		3.0	3.7	5.6	3.7	2.2	5.2	3.4	3.4	3.0	6.4	3.4	5.6	3.0

時間帯	13～	14～	15～	16～	17～	18～	19～	20～	21～	22～	23～	不明	計
死者数 (人)	17	6	9	9	4	9	8	8	8	8	11	32	267
割合 (%)	6.4	2.2	3.4	3.4	1.5	3.4	3.0	3.0	3.0	3.0	4.1	12.0	100.0

第14図 時間帯別の放火自殺者発生状況

(令和5年中)



(注) 時間帯不明の32名を除く。

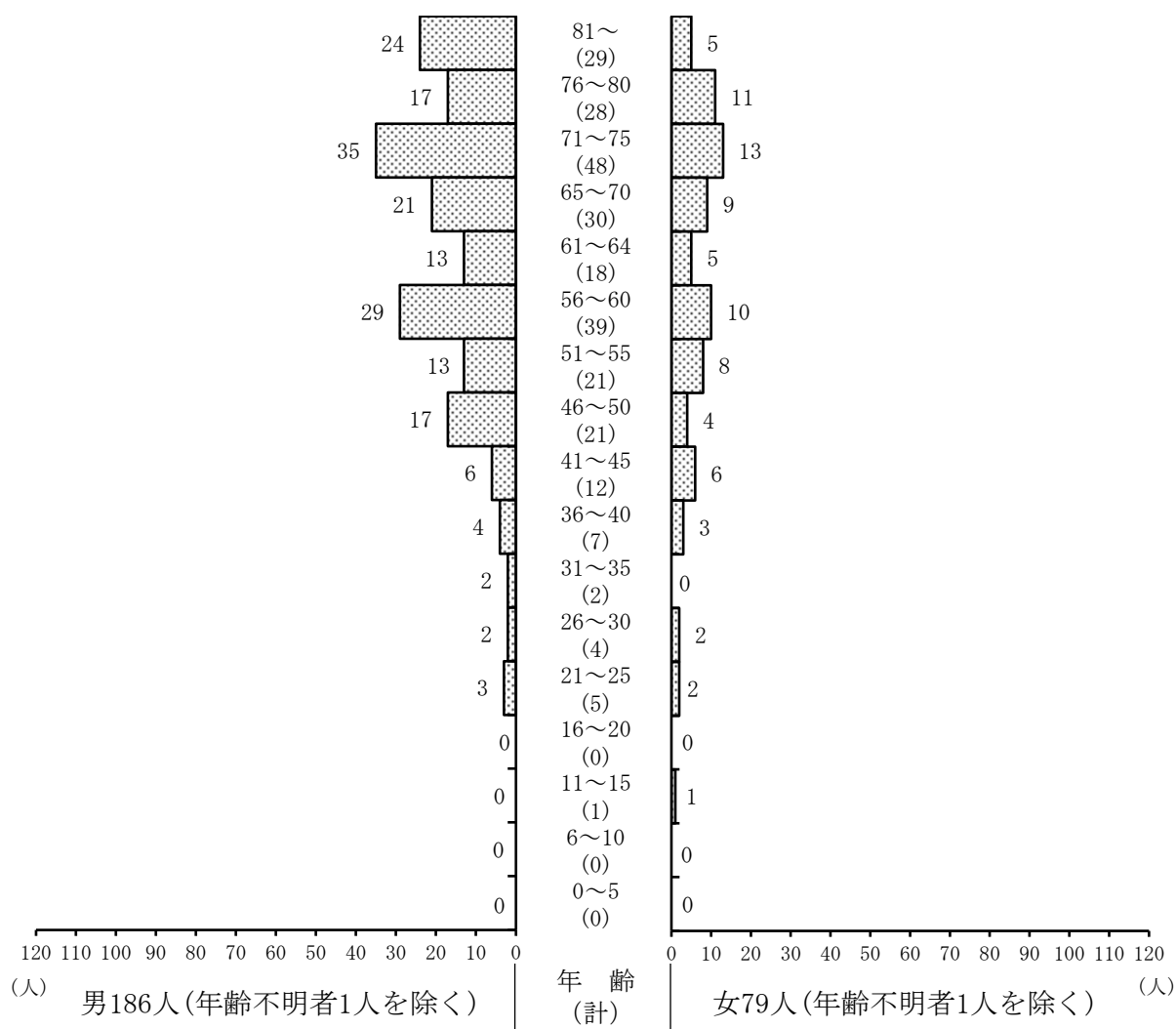
(3)放火自殺者の年齢別、性別の死者発生状況

放火自殺者の発生状況を年齢別にみると、「71～75歳」が48人(18.0%)、「56～60歳」が39人(14.6%)、「65～70歳」が30人(11.2%)となっており、性別では「男性」が187人(70.0%)、「女性」が80人(30.0%)と男性が女性を大きく上回っている。

年齢別、性別を併せてみると「71～75歳の男性」が35人で最も多く、次いで「56～60歳の男性」が29人、「81歳以上の男性」の24人となっている(第15図)。

第15図 放火自殺者の年齢別、性別の死者発生状況

(令和5年中)



付表1 過去5年間の死者発生状況

区 分		年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
全 火 災	火 災 件 数 （ 件 ）		37,981	37,683	34,691	35,222	36,314	38,672
	死 者 数 （ 人 ）		1,427	1,486	1,326	1,417	1,452	1,503
	火災100件当たり の死者数（人）		3.76	3.94	3.82	4.02	4.00	3.89
		指数	100.0	105.0	101.7	107.1	106.4	103.4
	人口10万人当たり の死者数（人）		1.14	1.17	1.05	1.12	1.15	1.20
		指数	100.0	102.6	92.1	98.2	100.9	105.3
建 物 火 災	火 災 件 数 （ 件 ）		20,764	21,003	19,365	19,549	20,167	20,974
	死 者 数 （ 人 ）		1,146	1,197	1,056	1,165	1,173	1,200
	火災100件当たり の死者数（人）		5.52	5.70	5.45	5.96	5.82	5.72
		指数	100.0	103.3	98.8	108.0	105.4	103.7

（注）平成7年1月1日から火災の定義が改められ、「爆発現象」も含まれることとされた。

付表2 過去5年間の時間帯別の死者発生状況

区分 時間帯	死 者 数 (人)						割 合 (%)					
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	平 均	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	平 均
0～	72	64	58	82	56	66.4	4.8	4.8	4.1	5.6	3.7	4.6
1～	84	43	69	48	69	62.6	5.7	3.2	4.9	3.3	4.6	4.4
2～	68	75	72	65	67	69.4	4.6	5.7	5.1	4.5	4.5	4.8
3～	75	46	61	82	64	65.6	5.0	3.5	4.3	5.6	4.3	4.6
4～	89	62	61	79	66	71.4	6.0	4.7	4.3	5.4	4.4	5.0
5～	43	50	76	62	57	57.6	2.9	3.8	5.4	4.3	3.8	4.0
6～	51	68	57	69	65	62.0	3.4	5.1	4.0	4.8	4.3	4.3
7～	61	34	40	47	47	45.8	4.1	2.6	2.8	3.2	3.1	3.2
8～	56	38	52	50	43	47.8	3.8	2.9	3.7	3.4	2.9	3.3
9～	35	49	51	46	56	47.4	2.4	3.7	3.6	3.2	3.7	3.3
10～	87	52	79	35	53	61.2	5.9	3.9	5.6	2.4	3.5	4.3
11～	56	56	51	63	64	58.0	3.8	4.2	3.6	4.3	4.3	4.0
12～	47	54	37	48	67	50.6	3.2	4.1	2.6	3.3	4.5	3.5
13～	45	41	54	66	68	54.8	3.0	3.1	3.8	4.5	4.5	3.8
14～	52	51	48	50	48	49.8	3.5	3.8	3.4	3.4	3.2	3.5
15～	55	41	62	42	62	52.4	3.7	3.1	4.4	2.9	4.1	3.6
16～	53	49	46	49	57	50.8	3.6	3.7	3.2	3.4	3.8	3.5
17～	43	44	47	59	47	48.0	2.9	3.3	3.3	4.1	3.1	3.3
18～	55	41	56	60	59	54.2	3.7	3.1	4.0	4.1	3.9	3.8
19～	44	68	45	55	75	57.4	3.0	5.1	3.2	3.8	5.0	4.0
20～	49	52	36	41	52	46.0	3.3	3.9	2.5	2.8	3.5	3.2
21～	51	45	56	45	56	50.6	3.4	3.4	4.0	3.1	3.7	3.5
22～	48	48	45	55	46	48.4	3.2	3.6	3.2	3.8	3.1	3.4
23～	71	45	55	71	53	59.0	4.8	3.4	3.9	4.9	3.5	4.1
不 明	96	110	103	83	106	99.6	6.5	8.3	7.3	5.7	7.1	6.9
計	1,486	1,326	1,417	1,452	1,503	1436.8	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

付表3 曜日別、時間帯別の死者発生状況

(令和5年中)(単位：人)

曜日 時間	日	月	火	水	木	金	土	不明	計
0～	10 (0)	9 (1)	8 (2)	4 (1)	10 (0)	5 (0)	10 (4)	0	56 (8)
1～	10 (1)	7 (0)	11 (1)	8 (0)	11 (3)	11 (2)	11 (3)	0	69 (10)
2～	8 (2)	10 (2)	9 (4)	10 (1)	9 (1)	11 (3)	10 (2)	0	67 (15)
3～	10 (0)	10 (5)	10 (1)	9 (1)	7 (1)	6 (1)	12 (1)	0	64 (10)
4～	7 (0)	11 (2)	13 (0)	9 (1)	12 (0)	8 (2)	6 (1)	0	66 (6)
5～	12 (2)	2 (0)	6 (0)	9 (6)	9 (2)	8 (2)	11 (2)	0	57 (14)
6～	11 (2)	13 (2)	9 (1)	8 (1)	9 (3)	9 (0)	6 (0)	0	65 (9)
7～	7 (0)	8 (1)	8 (2)	10 (1)	4 (1)	5 (1)	5 (3)	0	47 (9)
8～	6 (1)	11 (2)	3 (0)	7 (1)	8 (2)	6 (2)	2 (0)	0	43 (8)
9～	11 (2)	6 (2)	5 (3)	7 (2)	10 (2)	10 (4)	7 (2)	0	56 (17)
10～	6 (1)	10 (2)	10 (0)	5 (2)	7 (1)	10 (2)	5 (1)	0	53 (9)
11～	5 (0)	10 (2)	6 (2)	12 (4)	14 (3)	9 (4)	8 (0)	0	64 (15)
12～	6 (2)	15 (3)	12 (2)	9 (0)	11 (1)	8 (0)	6 (0)	0	67 (8)
13～	7 (3)	16 (4)	14 (5)	12 (2)	7 (1)	7 (1)	5 (1)	0	68 (17)
14～	5 (0)	8 (1)	6 (1)	10 (1)	7 (0)	10 (2)	2 (1)	0	48 (6)
15～	8 (1)	13 (0)	9 (2)	7 (1)	9 (4)	8 (1)	8 (0)	0	62 (9)
16～	9 (1)	8 (1)	10 (2)	14 (3)	2 (1)	7 (0)	7 (1)	0	57 (9)
17～	5 (1)	4 (0)	6 (1)	7 (0)	11 (0)	3 (1)	11 (1)	0	47 (4)
18～	12 (2)	8 (1)	6 (2)	11 (0)	7 (0)	10 (3)	5 (1)	0	59 (9)
19～	15 (4)	8 (0)	12 (1)	6 (1)	13 (1)	9 (0)	12 (1)	0	75 (8)
20～	12 (2)	14 (1)	5 (0)	7 (2)	8 (2)	4 (0)	2 (1)	0	52 (8)
21～	5 (0)	7 (2)	9 (2)	10 (1)	9 (2)	4 (1)	12 (0)	0	56 (8)
22～	14 (0)	7 (1)	8 (1)	3 (1)	6 (2)	3 (1)	5 (2)	0	46 (8)
23～	12 (1)	8 (1)	5 (2)	6 (2)	3 (3)	8 (1)	11 (1)	0	53 (11)
不明	12 (0)	13 (5)	10 (3)	15 (6)	15 (4)	13 (3)	8 (2)	20 (9)	106 (32)
計	225 (28)	236 (41)	210 (40)	215 (41)	218 (40)	192 (37)	187 (31)	20 (9)	1,503 (267)

(注) ()は放火自殺者の数を内数で示す。

付表4 月別、年齢別、性別の死者発生状況

(令和5年中)(単位:人)

年齢\月	性別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
0～5	男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
6～10	男	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	5
	女	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
11～15	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	女	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	
16～20	男	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4	5
	女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
21～25	男	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	1	5	9
	女	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	4	
26～30	男	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	4	9
	女	0	0	0	1	1	1	0	2	0	0	0	0	5	
31～35	男	1	0	1	1	2	1	2	1	1	0	0	2	12	16
	女	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	4	
36～40	男	3	3	2	3	3	0	0	0	0	2	1	3	20	27
	女	1	1	0	1	0	0	0	1	0	2	0	1	7	
41～45	男	4	1	6	1	0	3	1	0	1	1	0	2	20	30
	女	1	0	1	0	2	2	1	1	0	0	2	0	10	
46～50	男	5	6	4	6	4	3	6	2	7	3	4	8	58	69
	女	3	1	3	2	1	0	0	0	0	1	0	0	11	
51～55	男	2	6	8	2	3	5	1	4	4	4	2	7	48	75
	女	5	1	4	1	3	3	2	1	1	1	0	5	27	
56～60	男	13	10	9	6	7	12	7	3	5	2	6	3	83	117
	女	4	5	2	2	4	1	1	4	1	3	4	3	34	
61～64	男	7	8	9	5	2	3	0	4	8	5	5	12	68	86
	女	4	1	2	1	2	1	0	0	2	2	2	1	18	
65～70	男	22	14	12	11	12	9	5	4	4	7	11	5	116	157
	女	6	4	11	3	3	1	1	0	0	2	3	7	41	
71～75	男	29	22	20	8	7	11	5	4	8	10	15	19	158	218
	女	5	5	9	1	11	5	2	2	4	7	6	3	60	
76～80	男	21	12	18	12	11	1	6	5	6	8	9	14	123	190
	女	7	7	9	9	6	3	2	2	2	6	5	9	67	
81～	男	45	26	31	31	18	9	14	8	8	24	37	27	278	480
	女	22	26	28	16	12	10	12	8	5	15	18	30	202	
不明	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	3
	女	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
計	男	157	108	121	89	71	57	47	35	52	66	94	106	1,003	
	女	62	52	70	41	46	28	21	21	16	39	40	61	497	
	性別不明	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3	
	計	219	161	191	130	117	85	68	56	69	105	134	168	1,503	

付表5 年齢別の死者発生状況

(令和5年中)

区 分 年齢・性別		人口（千人）	死者数（人）	10万人当たりの 死者数（人）
0～	男	2,561	1	0.04
	女	2,441	1	0.04
6～	男	2,535	3	0.12
	女	2,415	2	0.08
11～	男	2,721	0	0.00
	女	2,589	2	0.08
16～	男	2,865	4	0.14
	女	2,713	1	0.04
21～	男	3,273	5	0.15
	女	3,086	4	0.13
26～	男	3,315	4	0.12
	女	3,126	5	0.16
31～	男	3,311	12	0.36
	女	3,149	4	0.13
36～	男	3,673	20	0.54
	女	3,543	7	0.20
41～	男	4,027	20	0.50
	女	3,916	10	0.26
46～	男	4,787	58	1.21
	女	4,665	11	0.24
51～	男	4,746	48	1.01
	女	4,671	27	0.58
56～	男	4,020	83	2.06
	女	4,026	34	0.84
61～	男	2,943	68	2.31
	女	3,007	18	0.60
65～	男	4,324	116	2.68
	女	4,588	41	0.89
71～	男	4,305	158	3.67
	女	4,884	60	1.23
76～	男	3,036	123	4.05
	女	3,814	67	1.76
81～	男	4,051	278	6.86
	女	7,230	202	2.79
年齢不明	男	0	2	—
	女	0	1	—
計	男	60,492	1,003	1.66
	女	63,859	497	0.78
	性別不明		3	—
	計	124,352	1,503	1.21

(注) 人口は、令和5年10月1日現在の人口推計(総務省統計局)による。